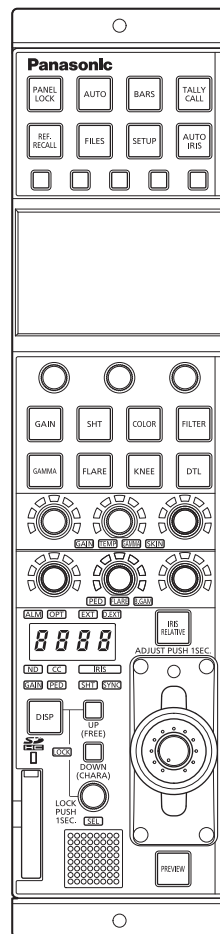


取扱説明書

リモートオペレーションパネル

品番 **AK-HRP1005G**



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に、「安全上のご注意」（4～6ページ）を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

目次

安全上のご注意（必ずお守りください。）	4	ホワイトバランス、色温度、ガンマ、肌色ディテール、ペDESTAL、フレア、ブラックガンマ	41
はじめに	7	調整のしかた	41
本書の見かた	7	ステータス画面	43
商標および登録商標について	7	ステータス画面の表示と操作	43
著作権について	7	ステータス画面に表示される項目	45
本書内のイラストや画面表示について	7	OPT LEVEL	45
個人情報の保護について	7	CAM INFO	45
略称について	7	SCENE	45
概要	8	ASSIGN	46
おしらせ	9	ROPメニュー	47
必要なパーソナルコンピューター環境	9	メニュー表示のしかた	47
免責について	9	基本的なメニュー操作のしかた	48
ネットワークに関するお願い	9	その他のメニュー操作のしかた	49
ユーザー認証について	9	ROPメニュー一覧	50
使用時の制約事項	10	01 PAINT SWITCH	64
メモリーカードについて	10	02 SCENE	66
アップグレード用ソフトウェアについて	10	03 SHUTTER SPEED	67
周辺機器のソフトウェアについて	10	04 FILTER	68
各種ファイルについて	10	05 BLACK SHADING	69
特長	11	06 PEDESTAL	70
付属品	12	07 HD CHROMA	71
使用上のお願い	13	08 UHD CHROMA	72
設置上のお願い	14	09 RGB GAIN	73
ラックマウント用金具の取り付け/取り外し	15	10 COLOR TEMP	74
ラックへの取り付け（ラックマウント）	15	11 ECC	75
接続	16	12 CAM USER SW TEMP	76
動作モード	16	13 WHITE SHADING	77
動作モードの設定手順について	16	14 FLARE	78
シリアル接続とIP接続の切り替えについて	16	15 GAMMA	79
システム接続構成	17	16 BLACK GAMMA	81
CCUとの接続	17	17 KNEE	82
各部の名前とはたらき	19	18 WHITE CLIP	83
前面パネル1	19	19 DRS	84
前面パネル2	22	20 HD DETAIL	85
前面パネル3	23	21 UHD DETAIL	87
前面パネル4	27	22 SD DETAIL	89
前面パネル5	28	23 HD SKIN TONE DTL	90
前面パネル6	30	24 UHD SKIN TONE DTL	92
コネクター	31	25 LINEAR MATRIX	94
調整と設定	32	26 COLOR CORRECTION	96
オートセットアップ	32	27 SKIN CORRECTION	99
オートセットアップのしかた	32	28 DNR	100
シーンファイル	33	29 IRIS RELATIVE	101
シーンファイルの呼び出しかた	33	30 SHUTTER SELECT	102
NDフィルター	34	31 LENS FILE/EDIT	103
NDフィルターの表示と設定のしかた	34	32 MONITOR	106
CCフィルター	35	33 SYSTEM CAM	107
CCフィルター表示、設定のしかた	35	34 SYSTEM CCU	109
マスターゲイン（GAIN）	36	35 CAMERA MENU CONTROL	111
マスターゲイン（GAIN）の表示と設定のしかた	36	36 CCU MENU CONTROL	112
シャッター（SHT）	37	37 ROP SETTING	113
シャッター（SHT）の表示と設定のしかた	37		
マスターペDESTAL（M.PED）	38		
マスターペDESTAL（M.PED）の表示、設定のしかた	38		
アイリス（IRIS）	39		
アイリス（IRIS）の表示、設定のしかた	39		

38 CONNECT SETTING	116
39 ROP IP SETTING	117
40 CAMERA IP SETTING	119
41 SD CARD STORE	120
42 SD CARD LOAD	121
43 REFERENCE	122
44 AUTO IRIS SETTING	123
45 HDR-PAINT	124
46 LENS CONTROL	126
ソフトウェア	127
IP接続	127
IP接続の手順について	127
パーソナルコンピューターの接続、設定	127
機器のIPアドレスの設定	128
ROPの各種設定	128
IP簡単設定ソフトウェア	129
ソフトウェアのインストールと起動	129
機器のIPアドレスを設定する	129
ROPセットアップソフトウェア	131
ROPセットアップソフトウェアのご使用に関するお 知らせ	131
ROPセットアップソフトウェアへ本機を登録する [ROP List]	131
本機の機器設定を行う[Configuration]	133
カメラとの接続設定をする[Camera List]	133
ユーザー認証の設定を行う[UserAuth.]	136
資料	138
コネクターピンアサイン表	138
1 〈CCU〉 コネクター	138
2 〈LAN〉 コネクター	138
3 〈PREVIEW〉 コネクター	138
外形寸法図	139
保証とアフターサービス（よくお読みください）	140
修理を依頼される時	140
定格	141
総合	141
索引	142

安全上のご注意（必ずお守りください。）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

警告



■本機の設置や接続工事は販売店に依頼する

（設置や接続工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。）
⇒必ず販売店に依頼してください。



■電源を入れたまま設置や接続工事、配線をしてはいけない

（火災や感電の原因となります。）

異常、故障時には直ちに使用を中止する



電源プラグを抜く

■異常があったときは、ROPケーブルとPoE給電のLANケーブルを抜く

〔内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき、落下などで外装ケースが破損したとき、煙や異臭、異音などが出たとき〕

（そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。）

⇒本機を電源から完全に遮断するには、ROPケーブルとPoE給電のLANケーブルを抜く必要があります。
⇒お買い上げの販売店にご相談ください。



■ROPケーブルとPoE給電のLANケーブルは、根元まで確実に差し込む

（差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。）

⇒傷んだケーブルやゆるんだケーブルのまま使用しないでください。

（ROPケーブルとPoE給電のLANケーブルは本機に付属しておりませんが、安全にご使用いただくために、お守りください。）

■ROPケーブルとPoE給電のLANケーブルのほこりなどは、定期的にとる

（本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こす原因になります。）

■付属品・オプションは、指定の製品を使用する

（本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こす原因になります。）



■ROPケーブルとPoE給電のLANケーブルが破損するようなことはしない

〔傷つける、加工する、高温部や熱機器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねるなど〕

（傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。）

（ROPケーブルとPoE給電のLANケーブルは本機に付属しておりませんが、安全にご使用いただくために、お守りください。）







■内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない





（ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。）

⇒機器の上や近くに液体の入った花瓶などの容器や金属物を置かないでください。

■不安定な場所に置かない

（落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。）

 警告	
 分解 禁止	<p>■分解や改造をしない （内部には電圧の高い部分があり、感電や火災の原因になります。また、使用機器を損傷することがあります。） ⇒ 内部の点検や修理などは、お買い上げの販売店にご相談ください。</p>
 接触 禁止	<p>■雷が鳴り出したら、本機やROPケーブル、PoE給電のLANケーブルには触れない （感電の原因になります。）</p>
 水場使 用禁止	<p>■水場で使用しない （火災や感電の原因になります。）</p>
 ぬれ手 禁止	<p>■ぬれた手でROPケーブル、PoE給電のLANケーブルやコネクタに触れない （感電の原因になります。）</p>
	<p>■振動や強い衝撃を与えない （火災や感電の原因となります。）</p>
	<p>■開口部に手を入れない （けがや感電の原因となります。）</p>
	<p>■メモリーカード（別売品）は乳幼児の手の届くところに置かない （誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。） ⇒ 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。</p>

 注意	
	<p>■本機の放熱を妨げない [押し入れや本箱など狭いところに入れない、テーブルクロスを掛けたりじゅうたんや布団の上に置かない、横倒し、逆さまにしない] （内部に熱がこもり、火災の原因になります。）</p>
	<p>■油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない （電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。たばこの煙なども製品の故障の原因になることがあります。）</p>
	<p>■直射日光の当たる場所や異常に温度が高くなる場所に置かない （特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温（約60℃以上）になりますので、外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になります。） ⇒ 本機を絶対に放置しないでください。</p>
	<p>■ROPケーブルやPoE給電のLANケーブル、コネクタを抜くときは、コードを引っ張らない （コードが傷つき、火災や感電の原因になります。） ⇒ 必ずプラグやコネクタを持って抜いてください。</p>
	<p>■本機の上に重いものを置いたり、乗ったりしない （落下したり倒れたりして壊れ、けがの原因になります。また、重さで外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になります。）</p>
	<p>■コードを接続した状態で移動しない （コードが傷つき、火災や感電の原因になります。また、コードが引っかかって、けがの原因になります。）</p>
	<p>■落としたり、破損させたりしない （本機を落としたり、破損させたりしたまま使用すると、火災や感電の原因となります。） ⇒ 直ちに電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。</p>
 電源プラグを抜く	<p>■長期間使用しないときや、お手入れのときは、ROPケーブルとPoE給電のLANケーブルを本機から抜く （火災や感電の原因になります。）</p>
	<p>■1年に1度ぐらいは、販売店に内部の掃除の相談をする （本機の内部にほこりがたまったまま使用すると、火災や故障の原因になります。）</p>

はじめに

本書の見かた

商標および登録商標について

- Microsoft®、Windows®、Windows® 7、Windows® 8、Windows® 8.1、Internet Explorer®は、米国Microsoft Corporationの、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- Intel® Core™は、アメリカ合衆国およびその他の国におけるインテルコーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
- SDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

著作権について

本機に含まれるソフトウェアの譲渡、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング、並びに輸出法令に違反した輸出行為には禁じられています。

本書内のイラストや画面表示について

- イラストや画面表示は、実際と異なる場合があります。
- Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。

個人情報の保護について

本機を使用したシステムで撮影された本人が判別できる映像情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた個人情報に該当しません。^{*1}

法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。

*1：経済産業省「個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン」における【個人情報に該当する事例】を参照してください。

略称について

本書では、以下の略称を使用しています。

- SDメモリーカードとSDHCメモリーカードは、いずれも「メモリーカード」と記載しています。それぞれを分けて説明する場合は、個別に記載しています。
- スタジオハンディカメラを「カメラ」と記載しています。
- カメラコントロールユニットを「CCU」と記載しています。
- リモートオペレーションパネルを「ROP」と記載しています。

また本書では、機器の品番を次のように記載しています。

機器の品番	本書での記載
AK-HC5000G	AK-HC5000
AK-HC5000GS	
AK-UC3000G	AK-UC3000
AK-UC3000GS	
AK-UC4000	AK-UC4000
AK-UC4000S	
AK-HRP1005G	AK-HRP1005
AK-UCU500	AK-UCU500
AK-UCU500S	
AK-UCU600	AK-UCU600
AK-UCU600S	

概要

本機はスタジオハンディカメラ（AK-HC5000：別売品、AK-UC3000/AK-UC4000：別売品）およびカメラコントロールユニット（AK-UCU500/AK-UCU600：別売品）を制御するリモートオペレーションパネルです。

スタジオハンディカメラとカメラコントロールユニット間は、専用の光ファイバermalチケーブルで接続し、本機とカメラコントロールユニット間は、ROPケーブルまたはIPで接続します。

IP接続時は、カメラコントロールユニットを最大99台制御することができます。

おしらせ

必要なパーソナルコンピューター環境

本機に付属するソフトウェアは、下記のWebサイトに示すパーソナルコンピューターでご使用ください。

<https://panasonic.biz/cns/sav/>

免責について

当社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。

- 本機に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
- お客様の誤使用や不注意による障害または本機の破損など
- お客様による本機の分解、修理または改造が行われた場合
- 本機の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、映像が表示できないことによる不便・損害・被害
- 第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
- 取り付け方法の不備など、本商品の不良によるもの以外の事故に対する不便・損害・被害
- 登録した情報内容が何らかの原因により、消失してしまうこと
- 本体やメモリーカードまたはパーソナルコンピューターに保存された画像データ、設定データの消失あるいは漏えいなどによるいかなる損害、クレームなど

ネットワークに関するお願い

本機はネットワークへ接続して使用する機能もあります。

ネットワークへ接続して使用する際には、以下のような被害を受けることが考えられます。

- 本機を経由した情報の漏えいや流出
- 悪意を持った第三者による本機の不正操作
- 悪意を持った第三者による本機の妨害や停止

このような被害を防ぐため、お客様の責任の下、下記のような対策も含め、ネットワークセキュリティ対策を十分に行ってください。

- ファイアーウォールなどを使用し、安全性の確保されたネットワーク上で本機を使用する。
- パーソナルコンピューターが接続されているシステムで本機を使用する場合、コンピューターウイルスや不正プログラムの感染に対するチェックや駆除が定期的に行われていることを確認する。

また、以下の点にもご注意ください。

- 本機やケーブルなどが容易に破壊されるような場所には設置しない。

ユーザー認証について

ネットワークに接続する場合、本機内の設定情報をネットワーク上に漏えいさせないためには、ユーザー認証を有効にしてアクセスを制限するなどの対策を実施してください。

使用時の制約事項

接続する機器のネットワーク環境は、本機のネットワーク設定と同一のセグメントを推奨します。

セグメントが異なる接続を行う場合は、ネットワーク機器固有の設定などに依存した事象が起きる可能性がありますので、運用開始前に十分確認を行ってください。

メモリーカードについて

本機で使用するメモリーカードは、SD規格/SDHC規格に準拠したものをお使いください。

また、メモリーカードのフォーマットは、必ず本機で行ってください。

本機では、下記の容量のメモリーカードが使用できます。

SD:	8 MB ~ 2 GBまで
SDHC:	4 GB ~ 32 GBまで

なお、SDXCメモリーカードには対応していません。

取扱説明書に記載された情報以外の最新情報は、下記のWebサイトをご参照ください。

(日本語) <https://panasonic.biz/cns/sav/>

(英語) <https://pro-av.panasonic.net/>

使用時、保管時は次の点にお気をつけください。

- 高温・多湿を避ける。
- 水滴を付けない。
- 帯電を避ける。

アップグレード用ソフトウェアについて

アップグレード用ソフトウェアは、下記のWebサイトの「サポート&ダウンロード」から入手することができます。

<https://panasonic.biz/cns/sav/>

アップグレードの手順は、ダウンロードファイルに含まれている手順書に従って行ってください。

周辺機器のソフトウェアについて

本機に接続する周辺機器（カメラ、CCU）は、ソフトウェアのアップデートが必要な場合があります。

詳細については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

各種ファイルについて

シーンファイル	絵作り用のデータです。
リファレンスファイル	ユーザーファイルとファクトリーファイルを総称してリファレンスファイルと呼びます。
ユーザーファイル	シーンファイルとオペレーションデータで構成されるシステムセッティング用のデータです。ユーザーによる登録が可能です。
ファクトリーファイル	工場でのカメラ設定を記憶したリファレンスファイルです。
レンズファイル	レンズ固有の特性を補正するデータです。
ROP設定ファイル	ROP固有の設定データです。

特長

- 本機はスタジオハンディカメラ（AK-HC5000/AK-UC3000/AK-UC4000）およびカメラコントロールユニット（AK-UCU500/AK-UCU600）を制御するリモートオペレーションパネルです。
- メモリーカードへシーンファイルやユーザーファイル、レンズファイルを保存できます。
- シリアル接続で、CCU（AK-UCU500/AK-UCU600）を1台接続することができます。
- ネットワークハブ（スイッチングハブ）（100base-TX）を介して最大99台までのCCUを接続することによって、専用のROPケーブルが不要となります。
- 本機は、PoE*1 搭載です。PoE規格対応のネットワーク機器（IEEE802.3af準拠）*2 に接続できます。
- 付属のIP簡単設定ソフトウェアを使って、本機およびCCUのIPアドレスを設定できます。
- 付属のROPセットアップソフトウェアを使って、カメラ接続の設定ができます。

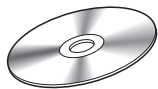
*1：Power over Ethernetの略です。以降「PoE」と表記いたします。

*2：動作確認済みのPoE給電装置については、販売店もしくは当社のサービス窓口にお尋ねください。

付属品

- 包装材料は、商品を取り出したあと、適切に処理してください。

CD-ROM……………1



- IP簡単設定ソフトウェア
- ROPセットアップソフトウェア

使用上のお願い

「安全上のご注意」に記載されている内容とともに、以下の事項をお守りください。

■ 取り扱いはていねいに

- 落としたり、強い衝撃や振動を与えないでください。また、アイリスレバーを持って持ち運びや移動はしないでください。故障や事故の原因になります。

■ 使用温度範囲は、0℃～40℃でお使いください

- 0℃を下回る寒いところや、40℃を超える暑いところでは内部の部品に悪影響を与えるおそれがあります。

■ ケーブルの抜き差しは電源を切ってから

- ケーブルの抜き差しは、本機の電源が切れている状態で行ってください。

■ 湿気、ほこりの少ないところで

- 湿気、ほこりの多いところは、内部の部品がいたみやすくなりますので避けてください。

■ お手入れは

- 電源を切って乾いた布で拭いてください。
汚れが取れにくいときは、うすめた台所用洗剤（中性）を布にしみ込ませ、よく絞り、軽く拭いた後、水拭きしてから、乾いた布で拭いてください。



NOTE

- ベンジンやシンナーなど揮発性のものは使用しないでください。
- 化学ぞうきんを使用するときは、その注意事項をよくお読みください。

■ 火を近づけないでください

- ろうそく等の炎を機器の近くに置かないでください。

■ 水をかけないでください

- 直接水をかけないでください。故障の原因になります。

■ 廃棄のときは

- 本機のご使用を終え、廃棄されるときは環境保全のため、専門の業者に廃棄を依頼してください。

■ 液晶パネルについて

- 液晶パネルのドットについては有効画素の99.99%以上の高精度管理をしていますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがあります。これは故障ではなく、映像に何ら影響を与えるものではありません。
- 表示映像によっては、画面にムラが発生する場合があります。
- 液晶部を固い布で拭いたり、強くこすったりすると、表面に傷がつく原因となります。
- 液晶の応答速度や輝度は使用温度によって変化します。
- 本機を、温度や湿度の高いところに長時間放置すると、液晶パネルの特性が変化し、ムラの原因となります。
- 液晶パネルはその特性上、明るい静止画などの長時間連続表示や、高温多湿環境下での連続使用をすると、残像、輝度低下、焼きつき、すじなどが発生したり、パネルの一部分の明るさが、しみのように恒久的に変化したままになる場合があります。また、次のような環境での連続使用は避けてください。
 - 高温多湿になる密閉された場所
 - 空調設備の吹き出し口近くなど
 上記のような映像や環境での長時間使用は液晶パネルの経年変化を早めます。経年変化の現象を未然に防ぐため、次のことをお勧めします。
 - 明るい静止画などは長時間連続して表示しない
 - 輝度を下げる
 - 使用しない場合は本体（CCUまたはハブの電源）の電源を切る
 残像現象は、画面表示を変えることで徐々に解消される場合もあります。

設置上のお願い

「安全上のご注意」に記載されている内容とともに、以下の事項をお守りください。

本機を設置するときや接続工事を行うときは、必ず、販売店に依頼してください。

■ ケーブルの接続について

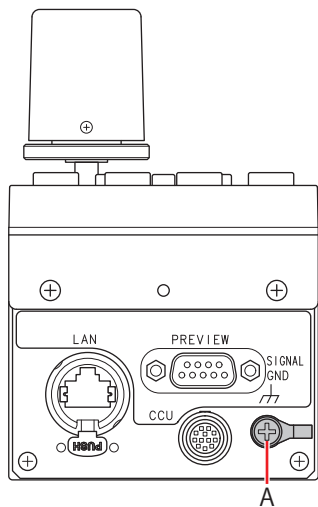
- 必ず専用のROPケーブル（平河ヒューテック製ケーブル20379-FG-SV-10相当品）を使用してください。
- 長時間使用しないときは、節電のためROPケーブルを本機から抜いてください。

■ PoE給電について

- 本機は、IEEE802.3afに準拠しています。PoE給電時には、対応したイーサネットハブ、およびPoEインジェクターをご使用ください。
動作確認済みイーサネットハブ、およびPoEインジェクターについては、販売店にお問い合わせください。

■ 接地について

- 本体の〈SIGNAL GND〉端子から設置を行ってください。



A. 〈SIGNAL GND〉端子

■ 取り扱いはいないに

- 落としたり、強い衝撃や振動を与えたりすると、故障や事故の原因になります。

■ 内部に異物を入れないでください。

- 水や金属、飲食物などの異物が内部に入ると、火災や感電の原因になります。

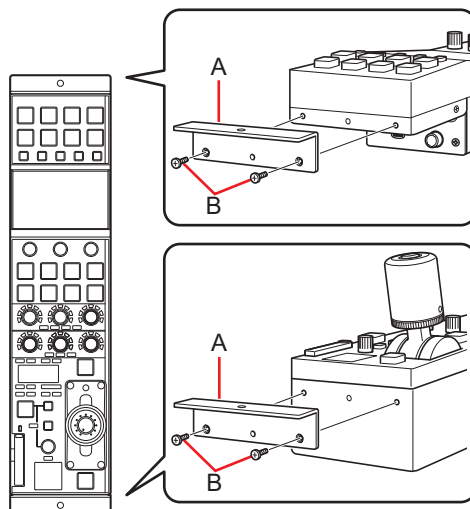
■ 設置場所について

- 本機は、屋内専用の機器です。
- 十分な強度があり、安定した水平な場所に置いて使用してください。
- パネルやテーブルに埋め込んで使用する場合は、通気と配線の空間を十分に確保してください。
- 本機、ケーブルなどが容易に破壊されるような場所には設置しないでください。
- 0℃以下の寒いところや、40℃以上の暑いところに設置しないでください。
- 直射日光の当たるところや温風の吹き出し口付近への設置は避けてください。
- 湿気やほこり、振動の多い場所に設置すると、故障の原因となります。

ラックマウント用金具の取り付け/取り外し

ラックマウント用金具は、工場出荷時にあらかじめ本機に取り付けられています。

ラックマウント用金具をお客様にて取り外される場合は、取り付けねじ（4本）をプラスドライバーで取り外してください。



A. ラックマウント用金具

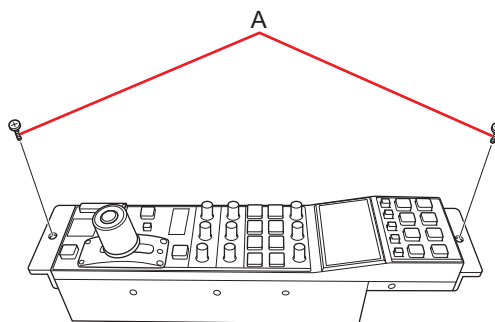
B. 取り付けねじ

- 取り外したラックマウント用金具と取り付けねじは、大切に保管してください。
- 再度、ラックマウント用金具を取り付ける場合は、取り付けねじ（4本）で、締め付けトルク: 50 N・cm以上を目安として取り付けてください。

ラックへの取り付け（ラックマウント）

本機を固定ねじ（2本）でラックに取り付けてください。

- 固定ねじは本機に付属していません。φ5の穴に適用するねじをあらかじめご準備ください。
- ラック内の温度は0℃～40℃に保ってください。



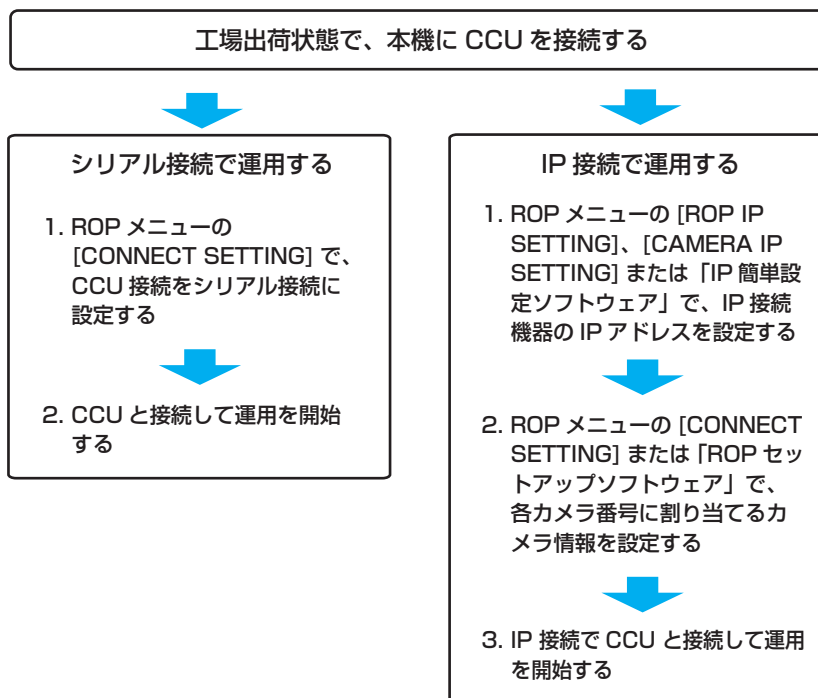
A. 固定ねじ（市販品）

接続

動作モード

動作モードの設定手順について

工場出荷状態で本機にCCUを接続して、動作モードの設定を行ってください。



NOTE

- 運用中にIP簡単設定ソフトウェア、ROPセットアップソフトウェアを起動させないでください。ROPの接続が切れ、運用に支障をきたすおそれがあります。

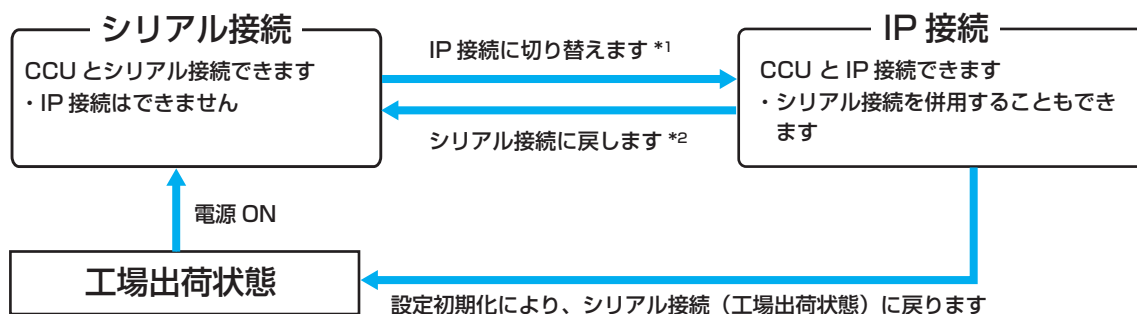
シリアル接続とIP接続の切り替えについて

シリアル接続とIP接続の切り替えは、ROPメニューの[CONNECT SETTING]またはROPセットアップソフトウェアでSerial/LANの設定を行います。

- ➡ 「38 CONNECT SETTING」 (116ページ参照)
- ➡ 「ROPセットアップソフトウェア」 (131ページ参照)

設定の初期化を行うと、シリアル接続（工場出荷状態）に戻ります。

- ➡ 「INITIAL with NW」 (115ページ参照)



*1：シリアル接続のときは、IP接続でメモリーカードに保存した「ROP設定ファイル」を読み込むと、IP接続になります。

*2：IP接続のときは、シリアル接続でメモリーカードに保存した「ROP設定ファイル」を読み込むと、シリアル接続になります。

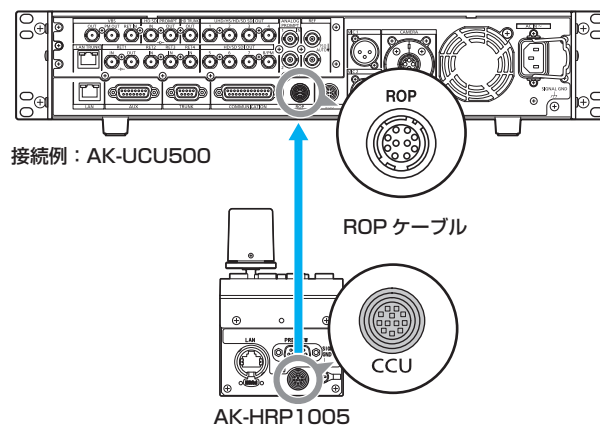
システム接続構成

本機は、CCUをシリアル接続もしくはIP接続することができます。

- CCUを最大99台まで制御可能です。
- シリアル接続は、CCU1台のみ可能です。
- シリアル接続1台とIP接続98台の構成も可能です。

CCUとの接続

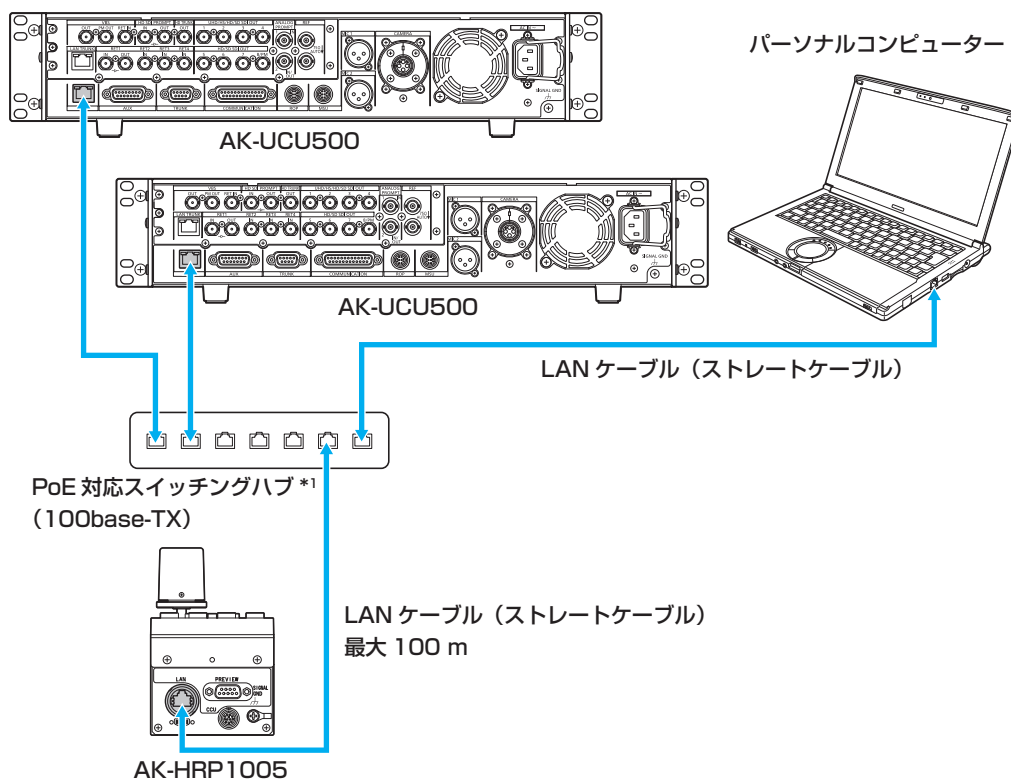
シリアル接続



1. 本機の〈CCU〉コネクタと、CCUの〈ROP〉コネクタを専用のROPケーブル（別売品）で接続する
2. 接続が完了したら、CCUの主電源をONにする

- カメラが接続されていない場合は、本機からCCUへの制御機能は一部制限されます。
- ROPケーブルを外す前に、必ずCCUの電源をOFFにしてください。

IP接続



*1 : CCUはPoEには対応していません。

1. 本機の〈LAN〉コネクタと、CCU背面の〈LAN〉コネクタをLANケーブル（別売品）で接続する

- 本機はPoE給電で動作いたします。PoE対応スイッチングハブをご使用ください。
- LANケーブル*2は、ストレートケーブル（カテゴリ5e以上）をご使用ください。（最大100 m）

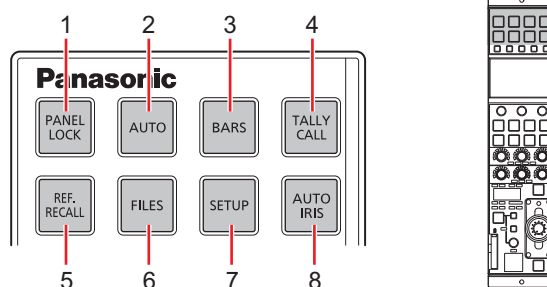
*2 : STP (Shielded Twisted Pair)

2. 接続が完了したら、CCUの電源をONにする

- カメラが接続されていない場合は、本機からCCUへの制御機能は一部制限されます。
- 本機から最大99台までのCCU（AK-UCU500/AK-UCU600）を制御可能です。
- CCUとIP接続で使用する場合は、ROPメニューの[CONNECT SETTING]またはROPセットアップソフトウェア（付属品）による設定が必要です。ROPセットアップソフトウェア使用時は、LANケーブルでパーソナルコンピューターを接続してください。
 - ➡ 「38 CONNECT SETTING」（116ページ参照）
 - ➡ 「ROPセットアップソフトウェア」（131ページ参照）

各部の名前とはたらき

前面パネル1

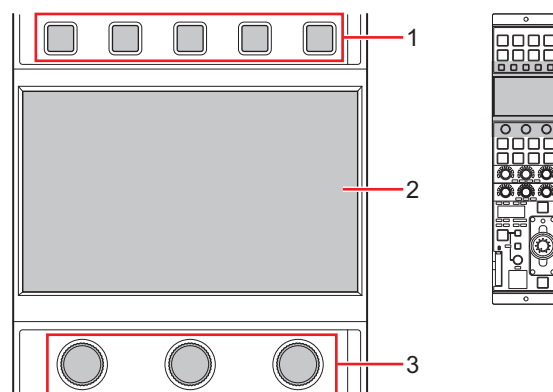


1	[PANEL LOCK]ボタン	<p>パネルの操作をロック（無効）にします。 また、[UP (FREE)]ボタンと組み合わせることで、部分ロックを行います。 パネルロックを実行/解除するには、[PANEL LOCK]ボタンを長押しします。 部分ロックを実行/解除するには、[PANEL LOCK]ボタンと[UP (FREE)]ボタンを同時に長押しします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 部分ロックは、ROPメニューの[ROP SETTING] > [FREE+LOCK]で設定できます。 ➔ 「FREE+LOCK」（114ページ参照） <p>状態表示</p> <hr/> <p>点灯（赤）： パネルロック中 点灯（緑）： パネルロック解除中 消灯： 部分ロック中</p> <p>[FREE+LOCK]メニューの設定内容（部分ロックの範囲）</p> <hr/> <p>SETUP： Aの部分ロックします。</p> <p>PAINT： Bの部分ロックします。</p> <p>IRIS LV： Cの部分ロックします。</p>
---	-----------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2	[AUTO]ボタン	<p>オートホワイトバランス調整、オートブラックバランス調整、またはオートセットアップを実行します。 調整する機能は、ROPメニューの[ROP SETTING] > [AUTO BUTTON]で設定してください。</p> <p>➡ 「AUTO BUTTON」 (114ページ参照)</p> <p>オートホワイトバランス調整の状態表示</p> <p>点灯： オートホワイトバランス調整の起動を受け付けたことを示します。 点滅： オートホワイトバランス調整の終了後、ホワイトバランスが十分に取れていないことを警告しています。 ハイライト、ローライトでNGの場合は、元のホワイトバランスに戻します。その他の理由で十分にホワイトバランスが取れない場合には、収束された最後の状態で終了します。 消灯： オートホワイトバランス調整が良好に終了したことを示します。</p> <p>■ ホワイトバランス調整中（点灯中）に[AUTO]ボタンを長押しすると、調整を中止して消灯します。（CCUのピクチャーモニター（PM）に「BREAK」が表示されます。） このときホワイトバランス値は、オートホワイトバランス実行前の状態に戻ります。</p> <p>オートブラックバランス調整の状態表示</p> <p>点灯： オートブラックバランス調整の起動を受け付けたことを示します。 点滅： オートブラックバランス調整の終了後、ブラックバランスが十分に取れていないことを警告しています。オートブラックバランスを起動する前の状態に戻ります。 消灯： オートブラックバランス調整が良好に終了したことを示します。</p> <p>■ ブラックバランス調整中（点灯中）に[AUTO]ボタンを長押しすると、調整を中止して消灯します。（CCUのピクチャーモニター（PM）に「BREAK」が表示されます。） このときブラックバランス値は、オートブラックバランス実行前の状態に戻ります。</p> <p>オートセットアップの状態表示</p> <p>セットアップの状況は、ピクチャーモニター（PM）に出力されます。</p> <p>➡ 「オートセットアップ」 (32ページ参照)</p>
3	[BARS]ボタン	<p>CCU背面のカメラ映像出力からCCUカラーバー信号を出力できます。 信号がカメラ映像またはカラーバー信号のとき[BARS]ボタンを長押しすると、TEST信号に切り替わります。TEST信号のとき[BARS]ボタンを押すと、カメラ映像に切り替わります。</p> <p>CCUカラーバーの種類は、ROPメニューの[SYSTEM CCU] > [BARS HD]および[BARS SD]で選択することができます。</p> <p>➡ 「BARS HD」 (110ページ参照) ➡ 「BARS SD」 (110ページ参照)</p> <p>状態表示</p> <p>点灯： CCUカラーバーおよびON 点滅： TEST信号ON 消灯： カメラ映像</p>
4	[TALLY/CALL]ランプ/ボタン	<p>タリー信号の入力を示します。 また、カメラマンを呼び出す場合に押します。</p> <p>タリーランプの状態表示</p> <p>点灯（赤）： CCUの〈COMMUNICATION〉コネクタにレッドタリー、またはレッドタリーとグリーントアリーが両方入力されていることを示しています。 点灯（緑）： CCUの〈COMMUNICATION〉コネクタにグリーントアリーが入力されていることを示しています。 消灯： タリー点灯中にCCU、カメラからコールがあった場合は消灯します。</p>
5	[REF. RECALL]ボタン	<p>ボタンを長押しすると、カメラの基準設定情報（リファレンスファイル）を呼び出します。 ROPメニューの[SYSTEM CAM] > [REF.RECALL]でユーザーファイル、ファクトリーファイルを割り当てておきます。</p> <p>➡ 「REF.RECALL」 (108ページ参照)</p> <p>状態表示</p> <p>点灯： 呼び出し中 消灯： 設定が変更されたとき</p>

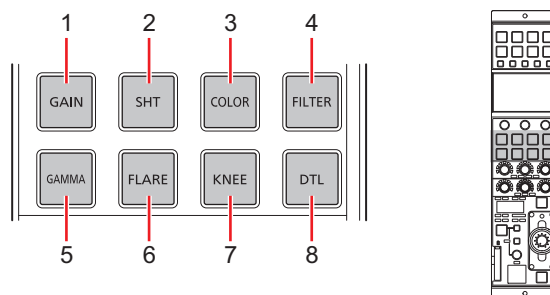
6	[FILES]ボタン	<p>前回選択したシーンファイル呼び出します。 また、シーンファイルを選ぶメニューを表示します。 短押し： シーンファイルの呼び出し 長押し： メニュー表示 ➡ 「シーンファイル」 (33ページ参照) 短押しでメニュー表示、長押しでシーンファイルの呼び出しに変更することができます。 ➡ 「BUTTON SEL MODE」 (66ページ参照)</p> <p>状態表示</p> <hr/> 点灯： シーンファイルON 消灯： シーンファイルOFF
7	[SETUP]ボタン	<p>液晶パネルにメニュー画面を表示します。</p> <p>状態表示</p> <hr/> 点灯： メニュー画面表示 消灯： メニュー画面非表示 (ステータス画面表示)
8	[AUTO IRIS]ボタン	<p>オートアイリス機能を有効にします。 オートアイリス機能の詳細は、下記のページをご覧ください。 ➡ 「アイリス (IRIS)」 (39ページ参照) 長押しすることで、[AUTO IRIS SETTING]メニューを呼び出すことができます。 ➡ 「44 AUTO IRIS SETTING」 (123ページ参照)</p> <p>状態表示</p> <hr/> 点灯： オートアイリス機能が有効 消灯： 手動 (マニュアル) 調整が有効

前面パネル2



1	操作ボタン	<p>ボタンの下に表示されている内容を実行します。 ステータス画面のときは、ページの切り替えや表示の選択を行います。 ➡ 「ステータス画面」 (43ページ参照) メニュー画面のときは、カーソルの移動やメニューの実行を行います。 ➡ 「ROPメニュー」 (47ページ参照)</p>
2	液晶パネル	<p>メニュー画面やステータス画面が表示されます。</p>
3	メニュー操作ダイヤル	<p>液晶パネルに表示されたメニューの内容に従って操作します。 ➡ 「ROPメニュー」 (47ページ参照)</p>

前面パネル3



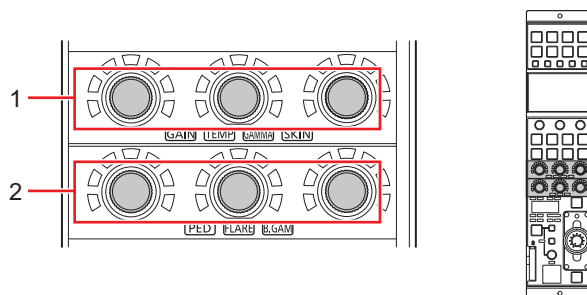
1	[GAIN]ボタン	<p>ホワイトバランスのメニューを表示します。 ➡ 「09 RGB GAIN」 (73ページ参照)</p> <p>状態表示</p> <p>緑点 リファレンスファイルに設定されている値と一致している。 灯： 赤点 リファレンスファイルに設定している値と一致しない設定がある。 灯： 消灯 リファレンスファイルの読み込みが行えず、リファレンスファイルの内容との比較 ： ができていない。 リファレンスファイルを読み込むには 以下の2つの方法があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ [REF.RECALL]ボタンでリファレンスファイルを読み込む。 CCUの設定がリファレンスファイルの設定になります。 ■ ROPメニューの[REFERENCE] > [REF.DL EXEC]を実行する。 ROPにリファレンスファイルのデータを読み込みます。ただしカメラとCCU は、リファレンスファイルの設定が反映されません。
2	[SHT]ボタン	<p>シャッターのメニューを表示します。 ➡ 「03 SHUTTER SPEED」 (67ページ参照)</p> <p>状態表示</p> <p>緑点 リファレンスファイルに設定されている値と一致している。 灯： 赤点 リファレンスファイルに設定している値と一致しない設定がある。 灯： 消灯 リファレンスファイルの読み込みが行えず、リファレンスファイルの内容との比較 ： ができていない。 リファレンスファイルを読み込むには 以下の2つの方法があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ [REF.RECALL]ボタンでリファレンスファイルを読み込む。 CCUの設定がリファレンスファイルの設定になります。 ■ ROPメニューの[REFERENCE] > [REF.DL EXEC]を実行する。 ROPにリファレンスファイルのデータを読み込みます。ただしカメラとCCU は、リファレンスファイルの設定が反映されません。

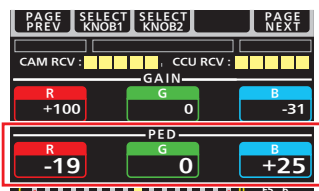
3	[COLOR]ボタン	<p>カラー関連のメニューを表示します。 ボタンを押すごとにメニューが切り替わります。 [COLOR TEMP] → [UHD CHROMA] → [HD CHROMA] → [LINEAR MATRIX] → [COLOR CORRECTION] → [SKIN CORRECTION] → メニューOFF (ステータス画面)</p> <p>➡ 「10 COLOR TEMP」 (74ページ参照) ➡ 「08 UHD CHROMA」 (72ページ参照) ➡ 「07 HD CHROMA」 (71ページ参照) ➡ 「25 LINEAR MATRIX」 (94ページ参照) ➡ 「26 COLOR CORRECTION」 (96ページ参照) ➡ 「27 SKIN CORRECTION」 (99ページ参照)</p> <p>状態表示</p> <hr/> <p>緑点灯 : リファレンスファイルに設定されている値と一致している。 赤点灯 : リファレンスファイルに設定している値と一致しない設定がある。 消灯 : リファレンスファイルの読み込みが行えず、リファレンスファイルの内容との比較ができていない。</p> <p>リファレンスファイルを読み込むには 以下の2つの方法があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ [REF.RECALL]ボタンでリファレンスファイルを読み込む。 CCUの設定がリファレンスファイルの設定になります。 ■ ROPメニューの[REFERENCE] > [REF.DL EXEC]を実行する。 ROPにリファレンスファイルのデータを読み込みます。ただしカメラとCCUは、リファレンスファイルの設定が反映されません。 <ul style="list-style-type: none"> ● [COLOR CORRECTION]の[SAT]と[PHASE]は、リファレンスファイルとの比較の対象外です。
4	[FILTER]ボタン	<p>フィルターのメニューを表示します。 ➡ 「04 FILTER」 (68ページ参照)</p> <p>状態表示</p> <hr/> <p>緑点灯 : リファレンスファイルに設定されている値と一致している。 赤点灯 : リファレンスファイルに設定している値と一致しない設定がある。 消灯 : リファレンスファイルの読み込みが行えず、リファレンスファイルの内容との比較ができていない。</p> <p>リファレンスファイルを読み込むには 以下の2つの方法があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ [REF.RECALL]ボタンでリファレンスファイルを読み込む。 CCUの設定がリファレンスファイルの設定になります。 ■ ROPメニューの[REFERENCE] > [REF.DL EXEC]を実行する。 ROPにリファレンスファイルのデータを読み込みます。ただしカメラとCCUは、リファレンスファイルの設定が反映されません。

5	[GAMMA]ボタン	<p>ガンマ関連のメニューを表示します。 ボタンを押すごとにメニューが切り替わります。 [GAMMA] → [BLACK GAMMA] → [HDR-PAINT] → メニュー-OFF (ステータス画面)</p> <p>➡ 「15 GAMMA」 (79ページ参照) ➡ 「16 BLACK GAMMA」 (81ページ参照) ➡ 「45 HDR-PAINT」 (124ページ参照)</p> <p>状態表示</p> <hr/> <p>緑点 リファレンスファイルに設定されている値と一致している。 灯： 赤点 リファレンスファイルに設定している値と一致しない設定がある。 灯： 消灯 リファレンスファイルの読み込みが行えず、リファレンスファイルの内容との比較 ： ができていない。 リファレンスファイルを読み込むには 以下の2つの方法があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ [REF.RECALL]ボタンでリファレンスファイルを読み込む。 CCUの設定がリファレンスファイルの設定になります。 ■ ROPメニューの[REFERENCE] > [REF.DL EXEC]を実行する。 ROPにリファレンスファイルのデータを読み込みます。ただしカメラとCCU は、リファレンスファイルの設定が反映されません。 <p>● リファレンスファイルの[HDR-PAINT]の[HLG MODE]、[SDR CNVRT MD]を 「FIX」に設定時は、該当するメニュー項目のリファレンスファイルとの比較は行われま せん。</p> <p>[HLG MODE]が「FIX」の場合のメニュー項目：</p> <ul style="list-style-type: none"> ● HLG BLACK GAMMA R、HLG BLACK GAMMA B、HLG BLACK GAMMA MASTER ● HLG B.GAMMA ● HLG KNEE POINT、HLG KNEE SLOPE ● HLG KNEE SW、HLG TYPE <p>[SDR CNVRT MD]が「FIX」の場合のメニュー項目：</p> <ul style="list-style-type: none"> ● SDR CONVERT GAIN、SDR CONVERT CLIP、SDR CONVERT POINT、 SDR CONVERT SLOPE
6	[FLARE]ボタン	<p>フレアのメニューを表示します。 ➡ 「14 FLARE」 (78ページ参照)</p> <p>状態表示</p> <hr/> <p>緑点 リファレンスファイルに設定されている値と一致している。 灯： 赤点 リファレンスファイルに設定している値と一致しない設定がある。 灯： 消灯 リファレンスファイルの読み込みが行えず、リファレンスファイルの内容との比較 ： ができていない。 リファレンスファイルを読み込むには 以下の2つの方法があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ [REF.RECALL]ボタンでリファレンスファイルを読み込む。 CCUの設定がリファレンスファイルの設定になります。 ■ ROPメニューの[REFERENCE] > [REF.DL EXEC]を実行する。 ROPにリファレンスファイルのデータを読み込みます。ただしカメラとCCU は、リファレンスファイルの設定が反映されません。

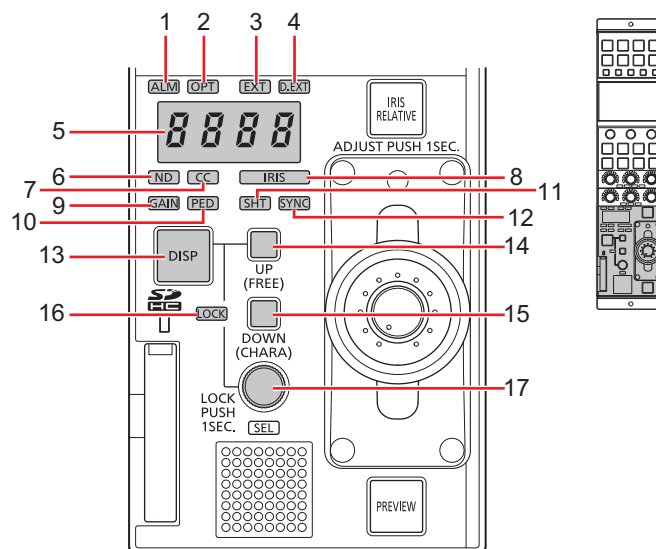
7	[KNEE]ボタン	<p>二ー関連のメニューを表示します。 ボタンを押すごとにメニューが切り替わります。 [KNEE] → [WHITE CLIP] → メニューOFF (ステータス画面) ➔ 「17 KNEE」 (82ページ参照) ➔ 「18 WHITE CLIP」 (83ページ参照)</p> <p>状態表示</p> <hr/> <p>緑点 リファレンスファイルに設定されている値と一致している。 灯 :</p> <p>赤点 リファレンスファイルに設定している値と一致しない設定がある。 灯 :</p> <p>消灯 リファレンスファイルの読み込みが行えず、リファレンスファイルの内容との比較 : ができていない。 リファレンスファイルを読み込むには 以下の2つの方法があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ [REF.RECALL]ボタンでリファレンスファイルを読み込む。 CCUの設定がリファレンスファイルの設定になります。 ■ ROPメニューの[REFERENCE] > [REF.DL EXEC]を実行する。 ROPにリファレンスファイルのデータを読み込みます。ただしカメラとCCU は、リファレンスファイルの設定が反映されません。
8	[DTL]ボタン	<p>HDディテールまたはUHDディテール関連のメニューを表示します。 ROPメニューの設定によってボタンの機能が切り替わります。 [ROP SETTING] > [DTL BUTTON]の設定が「HD」の場合： HDディテール関連のメニューを表示します。 ボタンを押すごとに以下のように切り替わります。 [HD DETAIL] → [HD SKIN TONE DTL] → [DNR] → メニューOFF (ステータス画面) ➔ 「20 HD DETAIL」 (85ページ参照) ➔ 「23 HD SKIN TONE DTL」 (90ページ参照) ➔ 「28 DNR」 (100ページ参照)</p> <p>[ROP SETTING] > [DTL BUTTON]の設定が「UHD」の場合： UHDディテール関連のメニューを表示します。 ボタンを押すごとに以下のように切り替わります。 [UHD DETAIL] → [UHD SKIN TONE DTL] → [DNR] → メニューOFF (ステータス画面) ➔ 「21 UHD DETAIL」 (87ページ参照) ➔ 「24 UHD SKIN TONE DTL」 (92ページ参照) ➔ 「28 DNR」 (100ページ参照)</p> <p>[ROP SETTING] > [DTL BUTTON]の設定が「SD」の場合： SDディテール関連のメニューを表示します。 ボタンを押すごとに以下のように切り替わります。 [SD DETAIL] → [DNR] → メニューOFF (ステータス画面) ➔ 「22 SD DETAIL」 (89ページ参照) ➔ 「28 DNR」 (100ページ参照)</p> <p>状態表示</p> <hr/> <p>緑点 リファレンスファイルに設定されている値と一致している。 灯 :</p> <p>赤点 リファレンスファイルに設定している値と一致しない設定がある。 灯 :</p> <p>消灯 リファレンスファイルの読み込みが行えず、リファレンスファイルの内容との比較 : ができていない。 リファレンスファイルを読み込むには 以下の2つの方法があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ [REF.RECALL]ボタンでリファレンスファイルを読み込む。 CCUの設定がリファレンスファイルの設定になります。 ■ ROPメニューの[REFERENCE] > [REF.DL EXEC]を実行する。 ROPにリファレンスファイルのデータを読み込みます。ただしカメラとCCU は、リファレンスファイルの設定が反映されません。

前面パネル4




1	<p>[GAIN]、[TEMP]、 [GAMMA]、[SKIN]調整部</p>	<p>ホワイトバランス、色温度、ガンマ、肌色ディテールを、赤 (R)、緑 (G)、青 (B) 調整用のダイヤルとレベルインジケータで調整します。 設定値は、液晶パネル (ステータス画面) の下記のエリアで確認できます。調整項目によって、[GAIN]、[TEMP]、[GAMMA]、[SKIN]の表示に切り替わります。</p>  <p>操作方法については、下記のページをご覧ください。 ➡ 「ホワイトバランス、色温度、ガンマ、肌色ディテール、ペダスタル、フレア、ブラックガンマ」 (41ページ参照)</p>
2	<p>[PED]、[FLARE]、[B.GAM]調整部</p>	<p>ペダスタル、フレア、ブラックガンマを、赤 (R)、緑 (G)、青 (B) 調整用のダイヤルとレベルインジケータで調整します。 設定値は、液晶パネル (ステータス画面) の下記のエリアで確認できます。調整項目によって、[PED]、[FLARE]、[B.GAM]の表示に切り替わります。</p>  <p>操作方法については、下記のページをご覧ください。 ➡ 「ホワイトバランス、色温度、ガンマ、肌色ディテール、ペダスタル、フレア、ブラックガンマ」 (41ページ参照)</p>

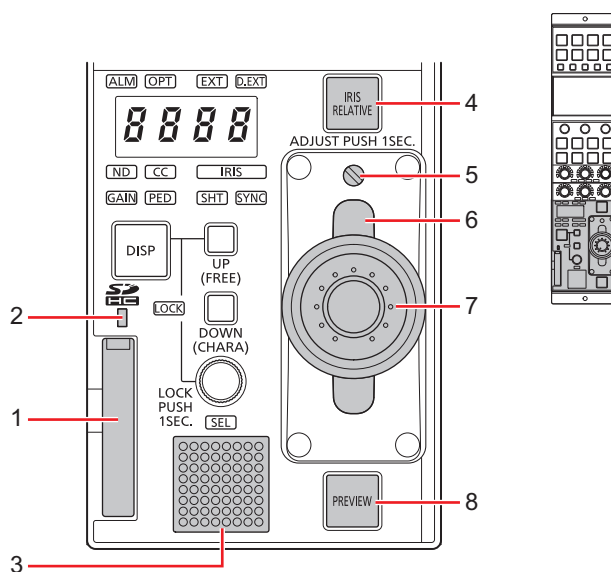
前面パネル5



1	[ALM]インジケータ	カメラ、CCUの警告表示灯です。 異常の場合は、販売店にご相談ください。 カメラ/CCUの光受信強度レベルの不足、あるいはCCU光伝送受信部のデータエラーが発生した場合や、カメラ、CCUのファンの異常や温度異常の場合に点灯色が変わります。
2	[OPT]インジケータ	カメラケーブルの警告表示灯です。 状態表示 ----- 橙点灯： 光伝送に問題があることを警告しています。 赤点灯： カメラ/CCU間が未接続です。 消灯： カメラケーブル正常接続状態
3	[EXT]インジケータ	レンズエクステンダーが1倍以外の設定にあることを警告します。 状態表示 ----- 点灯： レンズエクステンダーが1倍以外の設定です。 消灯： レンズエクステンダーを使用していないか、機能が無効です。
4	[D.EXT]インジケータ	デジタルエクステンダーが1倍以外の設定にあることを警告します。 状態表示 ----- 点灯： デジタルエクステンダーが1倍以外の設定です。 消灯： デジタルエクステンダーを使用していないか、機能が無効です。
5	調整値表示部	[DISP]ボタンで選択した項目に従って、NDフィルター/CCフィルター/アイリス/マスターゲイン/マスターペダスタル/シャッター/シンクロシャッターの調整値を表示します。
6	[ND]インジケータ	[DISP]ボタンでNDフィルターを選択したときに点灯します。 状態表示 ----- 緑点灯： ROPメニューで設定したスタンダードポジションです。 橙点灯： ROPメニューで設定したスタンダードポジションから変更されています。 ■ NDフィルターのスタンダードポジションは、ROPメニューの[ROP SETTING] > [STD POSITION ND]で設定できます。 ➡ 「STD POSITION ND」 (115ページ参照)
7	[CC]インジケータ	[DISP]ボタンでCCフィルターを選択したときに点灯します。 状態表示 ----- 緑点灯： ROPメニューで設定したスタンダードポジションです。 橙点灯： ROPメニューで設定したスタンダードポジションから変更されています。 ■ CCフィルターのスタンダードポジションは、ROPメニューの[ROP SETTING] > [STD POSITION CC]で設定できます。 ➡ 「STD POSITION CC」 (115ページ参照)

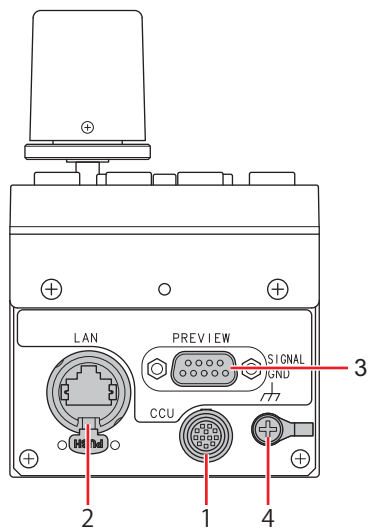
8	[IRIS]インジケータ	<p>[DISP]ボタンでアイリスを選択したときに点灯します。</p> <p>状態表示</p> <p>消灯：アイリス、マスターペダスタルが制御できます。</p> <p>赤点滅 他の機器からアイリスが操作され、調整値とアイリスレバーの位置が不一致の状態です。</p> <ul style="list-style-type: none"> 液晶パネル（ステータス画面）の下部に表示されるアイリスのゲージを見ながらアイリスレバーを、カメラのアイリスの位置に合わせて、消灯して通常の制御が可能になります。  <p>A. カメラのアイリスの位置 B. アイリスレバーの位置</p> <ul style="list-style-type: none"> 制御対象のカメラを切り替えたときに、カメラの調整値と、アイリスレバーの位置がずれている場合も点滅します。アイリスレバーを動かして、カメラの調整値と一致した時点で消灯して通常の制御が可能になります。
9	[GAIN]インジケータ	<p>[DISP]ボタンでマスターゲインを選択したときに点灯します。</p> <p>状態表示</p> <p>緑点灯：ROPメニューで設定したスタンダードポジションです。</p> <p>橙点灯：ROPメニューで設定したスタンダードポジションから変更されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> マスターゲインのスタンダードポジションは、ROPメニューの[ROP SETTING] > [STD POSITION M.GAIN]で設定できます。 <p>➡ 「STD POSITION M.GAIN」（115ページ参照）</p>
10	[PED]インジケータ	<p>[DISP]ボタンでマスターペダスタルを選択したときに点灯します。</p> <p>状態表示</p> <p>緑点灯 マスターペダスタルを制御できます。</p> <p>赤点滅 カメラの調整値とマスターペダスタルダイヤルの位置がずれています。</p> <p>マスターペダスタルダイヤルを動かしてカメラの調整値と一致したときに消灯し、通常の制御が可能になります。</p>
11	[SHT]インジケータ	<p>[DISP]ボタンでシャッターを選択したときに点灯します。</p>
12	[SYNC]インジケータ	<p>[DISP]ボタンでシンクロシャッターを選択したときに点灯します。</p> <p>➡ 「03 SHUTTER SPEED」（67ページ参照）</p>
13	[DISP]ボタン	<p>NDフィルター/CCフィルター/アイリス/マスターゲイン/マスターペダスタル/シャッター/シンクロシャッターから調整する項目を選択します。</p>
14	[UP (FREE)]ボタン	<p>ボタンの点灯中は、[DISP]ボタンで選択した機能を増加方向に調整します。</p> <p>[IRIS]インジケータ点灯時には、アイリスレバーのロック/解除をします。</p> <p>ボタンの消灯中は、[PANEL LOCK]ボタンと組み合わせることで部分ロックを行います。</p> <p>[UP (FREE)]ボタンと[SEL]ダイヤルを同時に押し、カメラ選択の状態となり、調整値表示部にカメラ番号が表示されます。</p> <p>この状態のときに、[SEL]ダイヤルでカメラ番号選択を行なうことができます。</p> <p>ボタンの点滅中は選択状態で[SEL]ダイヤルを押すと選択確定となります。</p>
15	[DOWN (CHARA)]ボタン	<p>ボタンの点灯中は、[DISP]ボタンで選択した機能を減少方向に調整します。</p> <p>ボタンの消灯中は、CCUのピクチャーモニター（PM）のステータス画面のON/OFF、またはページ送りができます。</p>
16	[LOCK]インジケータ	<p>[SEL]ダイヤルで機能のロックをしているときに点灯します。</p>
17	[SEL]ダイヤル	<p>[DISP]ボタンで選択した項目を調整します。</p> <p>GAINのときには、VARの値を調整します。</p> <p>また、ROPメニューの[ROP SETTING] > [LOCK SELECT]で設定した機能をロックします。</p> <p>➡ 「LOCK SELECT」（114ページ参照）</p> <p>[LOCK SETTING]の設定内容</p> <p>LOCK [DISP]ボタンで制御する機能を常にロックします。</p> <p>FREE [SEL]ダイヤルを長押ししても、[DISP]ボタンで制御する機能をロックしません。（常に制御可能）</p> <p>PUSH [SEL]ダイヤルを長押しすると、[DISP]ボタンで制御する機能をロックします。再度長押しするとロックを解除します。</p> <p>M.PED マスターペダスタルの操作をロックします。</p>

前面パネル6



1	メモリーカードスロット	メモリーカードを挿入します。本機の設定およびシーンファイルやユーザーファイルなどを、メモリーカードに保存することができます。 ➡ 「メモリーカードについて」 (10ページ参照)
2	メモリーカードアクセスインジケータ	メモリーカードの読み出し中、書き込み中に点灯します。
3	カメラナンバー/タリーディスプレイ	カメラ番号情報とタリー情報を表示します。
4	[IRIS RELATIVE]ボタン	アイリスレバーの可変範囲を切り替えます。 また、[IRIS RELATIVE]メニューを液晶パネルに表示します。 状態表示 点灯 : RELATIVE 消灯 : IRIS FULL
5	トルク調整ねじ	マイナスドライバーでアイリスレバーのトルクを調整します。
6	アイリスレバー	アイリスのレベル調整器です。 アイリスの手動調整ができます。 アイリスの調整についての詳細は、下記のページをご覧ください。 ➡ 「アイリス (IRIS)」 (39ページ参照) レバー位置 手前 : CLOSE (閉) 方向に調整します。 奥 : OPEN (開) 方向に調整します。
7	マスターペDESTALダイヤル	マスターペDESTALのレベル調整ダイヤルです。 マスターペDESTALの調整についての詳細は、下記のページをご覧ください。 ➡ 「マスターペDESTAL (M.PED)」 (38ページ参照)
8	[PREVIEW]ボタン	プレビューコネクターからプレビュー信号を出力します。 状態表示 点灯 : プレビュー出力ON 消灯 : プレビュー出力OFF

コネクター



1	〈CCU〉コネクター	CCUにシリアル接続するコネクターです。
2	〈LAN〉コネクター	IP接続対応のCCUおよびパーソナルコンピューターをLANケーブルで接続します。
3	〈PREVIEW〉コネクター	プレビュー信号出力コネクターです。
4	〈SIGNAL GND〉端子	システムグラウンドに接続します。

調整と設定

オートセットアップ

オートセットアップのしかた

オートセットアップの前に

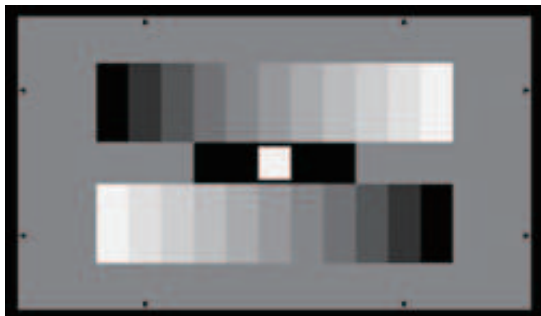
ROPメニューの[SYSTEM CAM] > [ASU MODE]で、「FULL」 / 「EASY」のモードを選択します。

➡ 「ASU MODE」 (108ページ参照)

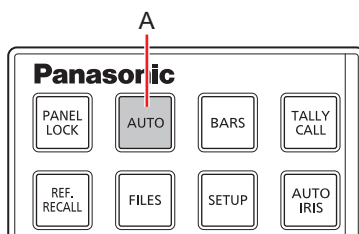
FULL	外撮チャートによる標準セットアップ
EASY	外撮チャートによる簡易セットアップ

グレースケールのくさび位置をビューファインダーの上下方向の画角に合わせてください。チャートの映す位置によっては、うまくオートセットアップできないことがありますので、チャートの映す位置を正しく合わせてください。

- 推奨グレースケール



オートセットアップのしかた



A. [AUTO]ボタン

操作手順

1. ROPメニューの[ROP SETTING] > [AUTO BUTTON]で、[AUTO]ボタンにオートセットアップを割り当てる

➡ 「AUTO BUTTON」 (114ページ参照)

2. [AUTO] (A) ボタンを押す

[AUTO]ボタンが点滅して、オートセットアップ起動準備モードが確定し、カメラのビューファインダー中央に“□”が表示されます。グレースケールの中央の白をこの“□”に合わせてください。(ここで長押しするとセットアップをキャンセルします)

3. 再度、[AUTO] (A) ボタンを押す

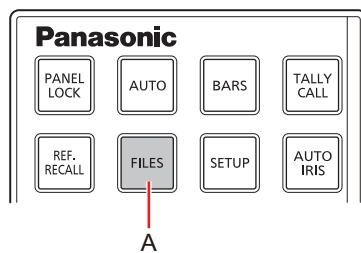
[AUTO]ボタンが点灯状態となり、オートセットアップを開始します。(オートセットアップ動作中に[AUTO]ボタンを長押しすると、オートセットアップが中断します。)

正常に終了すると、[AUTO]ボタンが消灯します。

- 約1秒間隔で[AUTO]ボタンが点灯したときは、オートセットアップが完了せずに終了したことを示します。オートセットアップ動作中、ピクチャーモニター (PM) 上にキャラクターで動作状態を表示します。
- オートセットアップが完了しなかった場合は、CCUのピクチャーモニター (PM) の表示を確認してください。

シーンファイル

シーンファイルの呼び出しかた



A. [FILES] (A) ボタン

■ 操作手順

1. [FILES]ボタン (A) を押す

前回選択したシーンファイルを呼び出します。

長押しすると、シーンファイルを選ぶメニューが液晶パネルに表示されます。

➡ 「SCENE」 (45ページ参照)

📝 NOTE

- 短押しでシーンファイル選択メニューを液晶パネルに表示することもできます。
➡ 「BUTTON SEL MODE」 (66ページ参照)

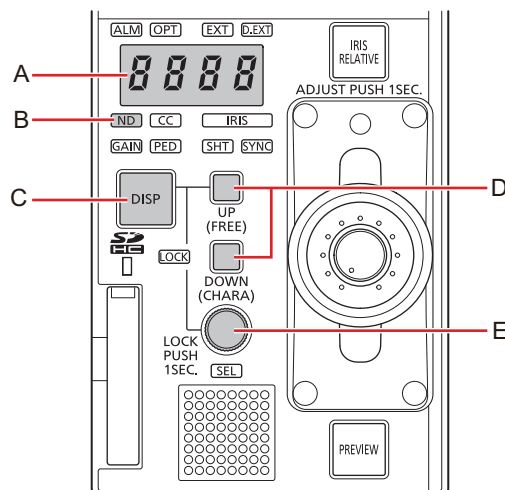
NDフィルター

NDフィルターの表示と設定のしかた

NDフィルターの調整値は、[DISP]ボタン (C) でNDフィルターを選択したとき、調整値表示部 (A) に表示されます。

ROPメニューで設定したスタンダードポジションから設定値が変更されている場合は、[ND]インジケータ (B) が黄点灯します。(緑点灯時はスタンダードポジションのままです。)

➡ 「STD POSITION ND」 (115ページ参照)



- A. 調整値表示部
- B. [ND]インジケータ
- C. [DISP]ボタン
- D. [UP (FREE)], [DOWN (CHARA)]ボタン
- E. [SEL]ダイヤル

操作手順

1. [DISP]ボタン (C) を押して、[ND]インジケータ (B) を点灯させる
ボタンを押すごとに、[ND]、[CC]、[GAIN]、[PED]、[SHT]、[SYNC]の点灯が切り替わります。
2. [UP (FREE)] または [DOWN (CHARA)] ボタン (D) を押して設定値を調整する
調整値表示部 (A) に設定した数値が表示されます。
[SEL]ダイヤル (E) でも調整できます。

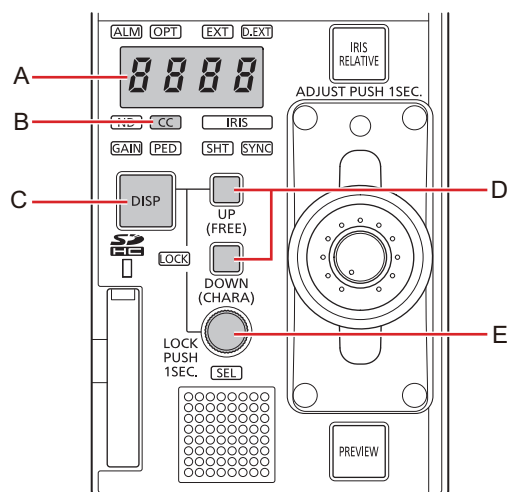
CCフィルター

CCフィルター表示、設定のしかた

CCフィルターの調整値は、[DISP]ボタン (C) でCCフィルターを選択したとき、調整値表示部 (A) に表示されます。

ROPメニューで設定したスタンダードポジションから設定値が変更されている場合は、[CC]インジケータ (B) が黄点灯します。(緑点灯時はスタンダードポジションのままです。)

➡ 「STD POSITION CC」 (115ページ参照)



- A. 調整値表示部
- B. [CC]インジケータ
- C. [DISP]ボタン
- D. [UP (FREE)], [DOWN (CHARA)]ボタン
- E. [SEL]ダイヤル

操作手順

1. [DISP]ボタン (C) を押して、[CC]インジケータ (B) を点灯させる
ボタンを押すごとに、[ND]、[CC]、[GAIN]、[PED]、[SHT]、[SYNC]の点灯が切り替わります。
2. [UP (FREE)]または[DOWN (CHARA)]ボタン (D) を押して設定値を調整する
調整値表示部 (A) に設定した数値が表示されます。
[SEL]ダイヤル (E) でも調整できます。

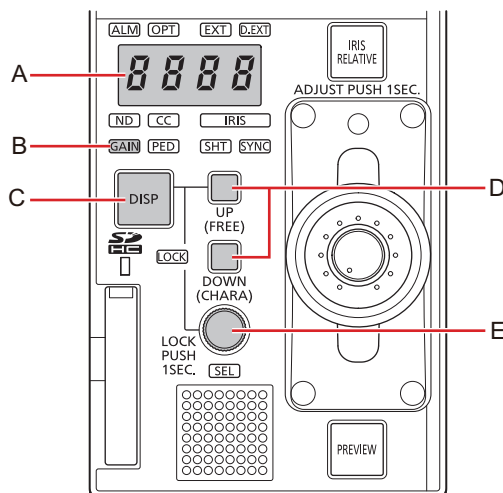
マスターゲイン (GAIN)

マスターゲイン (GAIN) の表示と設定のしかた

マスターゲイン (GAIN) の調整値は、[DISP]ボタン (C) でマスターゲインを選択したとき、調整値表示部 (A) に表示されます。

ROPメニューで設定したスタンダードポジションから設定値が変更されている場合は、[GAIN]インジケータ (B) が黄点灯になります。(緑点灯時はスタンダードポジションのままです。)

➡ 「STD POSITION M.GAIN」 (115ページ参照)



- A. 調整値表示部
- B. [GAIN]インジケータ
- C. [DISP]ボタン
- D. [UP (FREE)], [DOWN (CHARA)]ボタン
- E. [SEL]ダイヤル

操作手順

1. [DISP]ボタン (C) を押して、[GAIN]インジケータ (B) を点灯させる
ボタンを押すごとに、[ND]、[CC]、[GAIN]、[PED]、[SHT]、[SYNC]の点灯が切り替わります。
2. [UP (FREE)]または[DOWN (CHARA)]ボタン (D) を押して設定値を調整する
調整値表示部 (A) に設定した数値が表示されます。
3. [SEL]ダイヤル (E) でVARの値を調整する
値をステップ変更で調整できます。0.1 dBステップで調整します。(±2.9の範囲)

シャッター (SHT)

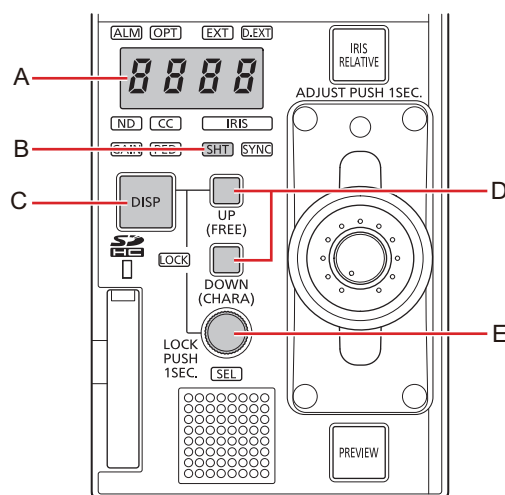
シャッター (SHT) の表示と設定のしかた

シャッターの調整値は、[DISP]ボタン (C) でシャッターを選択したとき、調整値表示部 (A) に表示されます。

ROPメニューで設定したスタンダードポジションから設定値が変更されている場合は、[SHT]インジケータ (B) が橙点灯になります。(緑点灯時はスタンダードポジションのままです。)

シャッター動作モードの「SHUT」と「SYNC」は、ROPメニューの[SHUTTER SPEED] > [SHUTTER MODE]で切り替えることができます。

➡ 「SHUTTER MODE」 (67ページ参照)



- A. 調整値表示部
- B. [SHT]インジケータ
- C. [DISP]ボタン
- D. [UP (FREE)]、[DOWN (CHARA)]ボタン
- E. [SEL]ダイヤル

操作手順

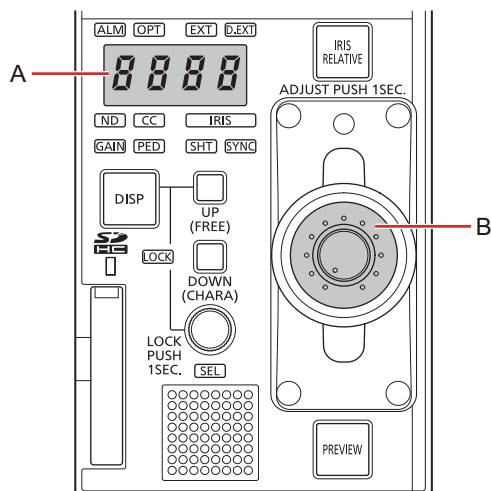
1. [DISP]ボタン (C) を押して、[SHT]インジケータ (B) を点灯させる
ボタンを押すごとに、[ND]、[CC]、[GAIN]、[PED]、[SHT]、[SYNC]の点灯が切り替わります。
2. [UP (FREE)]または[DOWN (CHARA)]ボタン (D) を押して設定値を調整する
調整値表示部 (A) に設定した数値が表示されます。
[SEL]ダイヤル (E) でも調整できます。

マスターペダスタル (M.PED)

マスターペダスタル (M.PED) の表示、設定のしかた

マスターペダスタル (M.PED) の設定値は、マスターペダスタルダイヤル (B) 操作時に、調整値表示部 (A) に表示されます。

- ROPメニューの[ROP SETTING] > [M.PED CONT]で「IRIS」が選択されているときに調整可能です。
➡ 「M.PED CONT」 (114ページ参照)



- A. 調整値表示部
- B. マスターペダスタルダイヤル

操作手順

1. マスターペダスタルダイヤル (B) を回す

マスターペダスタルの値が変更されます。

- マスターペダスタルとR、G、Bペダスタル調整は独立しており、マスターペダスタルの設定を変更してもR、G、Bペダスタルの調整値は変わりません。

アイリス (IRIS)

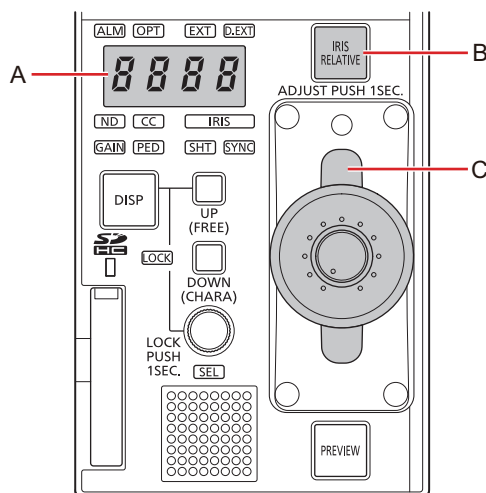
アイリス (IRIS) の表示、設定のしかた

手動調整

オートアイリスでない場合に、アイリスのマニュアル（手動）調整ができます。

アイリス値は調整値表示部（A）に表示されます。

- ROPメニューの[ROP SETTING] > [M.PED CONT]で「IRIS」が選択されているときに調整可能です。
➔ 「M.PED CONT」（114ページ参照）



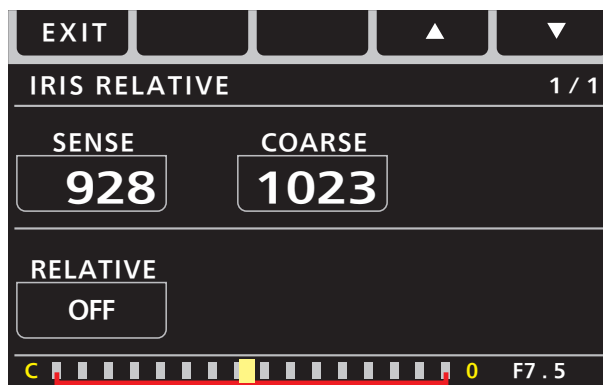
- A. 調整値表示部
- B. [IRIS RELATIVE]ボタン
- C. アイリスレバー

操作手順

1. アイリスレバー（C）でアイリスレベルを調整する

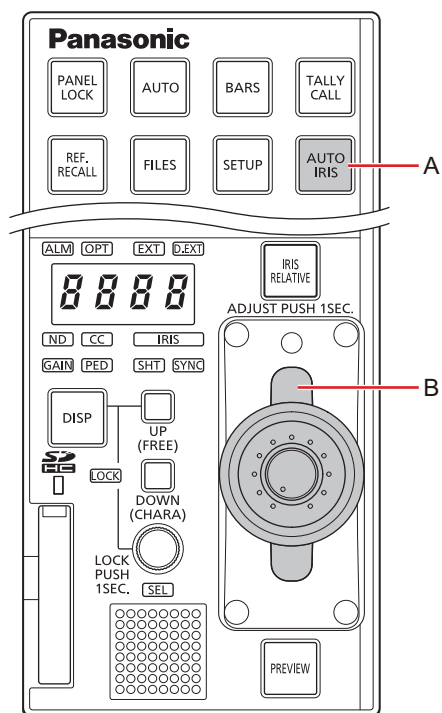
手前に動かすとCLOSE方向に、奥に動かすとOPEN方向に調整します。

- アイリスレバー（C）の可変範囲をROPメニュー[IRIS RELATIVE]の[SENSE]と[COARSE]の設定に依存するかしないかを切り替えることができます。
[IRIS RELATIVE]ボタン（B）を長押しすると、[IRIS RELATIVE]メニューが表示され、[SENSE]と[COARSE]の設定ができます。
[IRIS RELATIVE]ボタン（B）を短押しするとボタンが点灯し、ROPメニュー[IRIS RELATIVE]の[SENSE]と[COARSE]の設定にアイリスレバーが依存します。



自動設定

アイリスを自動調整します。（オートアイリス）



- A. [AUTO IRIS]ボタン
- B. アイリスレバー

■ 操作手順

1. [AUTO IRIS]ボタン (A) を押して点灯させる

オートアイリスがONになります。

- オートアイリス時は、アイリスレバー (B) でアイリスの収束レベルを調整できます。手前に動かすとCLOSE方向に、奥に動かすとOPEN方向に調整します。

ホワイトバランス、色温度、ガンマ、肌色ディテール、ペDESTAL、フレア、ブラックガンマ

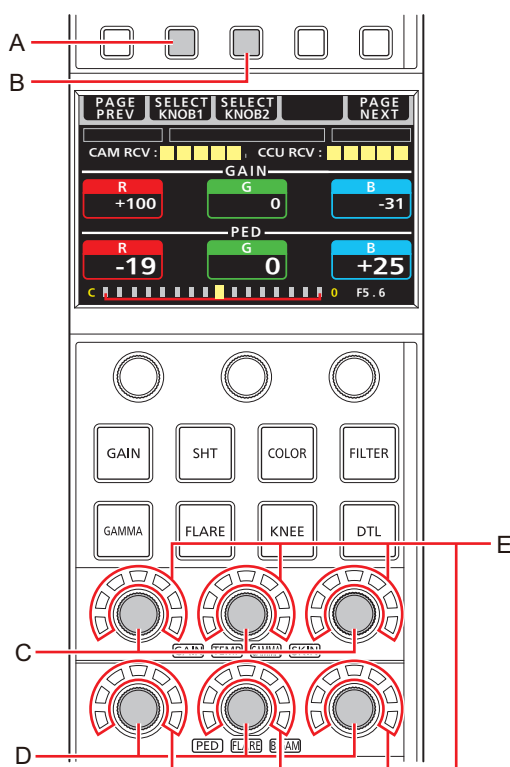
調整のしかた

ホワイトバランス、色温度、ガンマ、肌色ディテール、ペDESTAL、フレア、ブラックガンマを調整できます。調整レベルは、レベルインジケータ（E）に示されます。

インジケータ	機能
GAIN	ホワイトバランスを調整できます。
TEMP	色温度を調整できます。
GAMMA	ガンマを調整できます。
SKIN	肌色ディテールもしくは[SKIN CORRECTION]を調整できます。 どちらを調整するかは、ROPメニューの[ROP SETTING] > [SKIN VOL]で設定できます。
PED	ペDESTALを調整できます。
FLARE	フレアを調整できます。
B.GAM	通常のブラックガンマもしくはハイブリッドログガンマ方式でのブラックガンマを調整できます。 どちらを調整するかは、ROPメニューの[ROP SETTING] > [B.GAMMA VOL]で設定できます。

操作（SELECT KNOB1）ボタン（A）で[GAIN]、[TEMP]、[GAMMA]、[SKIN]を選びます。

操作（SELECT KNOB2）ボタン（B）で[PED]、[FLARE]、[B.GAM]を選びます。



- A. 操作（SELECT KNOB1）ボタン
- B. 操作（SELECT KNOB2）ボタン
- C. [GAIN]、[TEMP]、[GAMMA]、[SKIN]調整ダイヤル
- D. [PED]、[FLARE]、[B.GAM]調整ダイヤル
- E. レベルインジケータ

操作手順

1. 調整する機能を選ぶ

- ホワイトバランス、色温度、ガンマ、肌色ディテールもしくは[SKIN CORRECTION]を調整するとき：
操作（SELECT KNOB1）ボタン（A）を押して選ぶ。
ボタンを押すごとに、選択されたインジケータ（E）が点灯します。

[GAIN]点灯時	ホワイトバランス (R、G、B) を調整できます。
[TEMP]点灯時	[COLOR TEMP]メニューの色温度 ([GAIN R]、[COLOR TEMP]、[GAIN B]) を調整できます。
[GAMMA]点灯時	ガンマ ([GAMMA R]、[GAMMA MASTER]、[GAMMA B]) を調整できます。
[SKIN]点灯時	<p>ROPメニューの[ROP SETTING] > [SKIN VOL]が「HD」、「UHD」、「SD」のいずれかの場合： HDディテールまたはUHDディテールメニューの[I CENTER]、[Q PHASE]、[SKIN TONE DETAIL]を調整できます。 どのディテールを調整するかは、ROPメニューの[ROP SETTING] > [DTL BUTTON]で設定してください。 ➡ 「DTL BUTTON」 (114ページ参照)</p> <p>ROPメニューの[ROP SETTING] > [SKIN VOL]が「S.CORR」の場合： [SKIN CORRECTION]メニューの[SKIN AREA TABLE]、[SKIN AREA HUE]、[SKIN AREA TONE]を調整できます。 ➡ 「27 SKIN CORRECTION」 (99ページ参照)</p>

- ペダスタル、フレア、ブラックガンマを調整するとき：
操作 (SELECT KNOB2) ボタン (B) を押しして選ぶ。
ボタンを押すごとに、選択されたインジケータ (E) が点灯します。

[PED]点灯時	<p>マスターペダスタルまたは、[PED R]、[PED G]、[PED B]を調整できます。 どちらを調整するかは、ROPメニューの[ROP SETTING] > [G/M PED VOL]で設定してください。 ➡ 「G/M PED VOL」 (114ページ参照)</p>
[FLARE]点灯時	フレア ([FLARE R]、[FLARE G]、[FLARE B]) を調整できます。
[B.GAM]点灯時	<p>ROPメニューの[ROP SETTING] > [B.GAMMA VOL]が「SDR」の場合： [BLACK GAMMA]メニューの[BLACK GAMMA R]、[BLACK GAMMA MASTER]、[BLACK GAMMA B]を調整できます。 ➡ 「16 BLACK GAMMA」 (81ページ参照)</p> <p>ROPメニューの[ROP SETTING] > [B.GAMMA VOL]が「HDR」の場合： [HDR-PAINT]メニューの[HLG BLACK GAMMA R]、[HLG BLACK GAMMA MASTER]、[HLG BLACK GAMMA B]を調整できます。 ➡ 「45 HDR-PAINT」 (124ページ参照)</p>

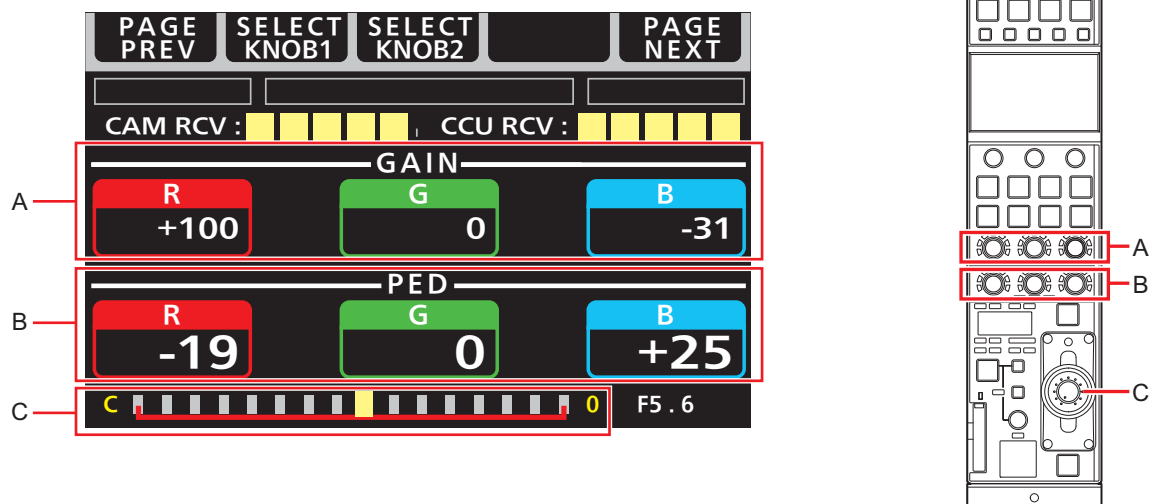
2. ダイヤル (CまたはD) で調整する

調整レベルは、レベルインジケータ (E) に示されます。

ステータス画面

ステータス画面の表示と操作

ステータス画面は、ROPメニュー（REMOTE OPERATION MENU）を使用していないとき（メニューOFFの状態）に、本機の液晶パネルに表示される画面です。

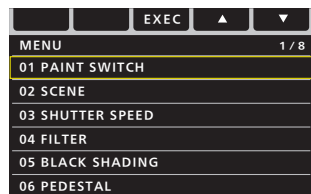


A、B：各ダイヤルの調整値が表示されます。

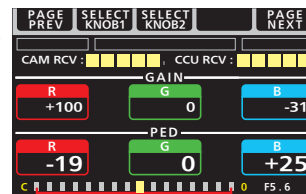
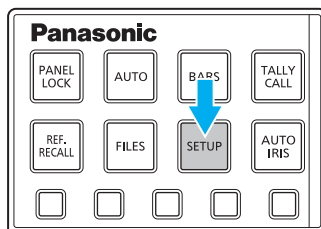
C：アイリスの調整値がスケール表示されます。（表示位置は目安）

ROPメニューが表示されているときは、[SETUP]ボタンを押してROPメニューを閉じると、ステータス画面に切り替わります。

MENU画面からの遷移



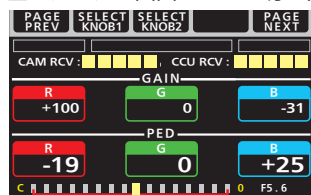
[SETUP] ボタン OFF で遷移



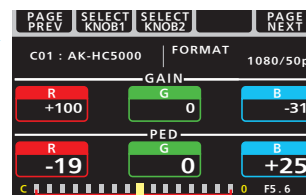
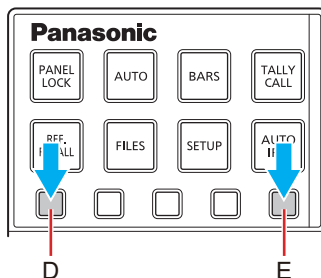
ステータス画面表示のときに、操作（PAGE NEXT）ボタン（D）または操作（PAGE PREV）ボタン（E）を押すとステータス画面の上段に表示される内容が切り替わります。

- 操作（PAGE NEXT）ボタン（D）を押すごとに、[OPT LEVEL] → [CAM INFO] → [SCENE] → [ASSIGN]の順に切り替わります。
- 操作（PAGE PREV）ボタン（E）を押すごとに、[ASSIGN] → [SCENE] → [CAM INFO] → [OPT LEVEL]の順に切り替わります。

ステータス画面のページ切り替え



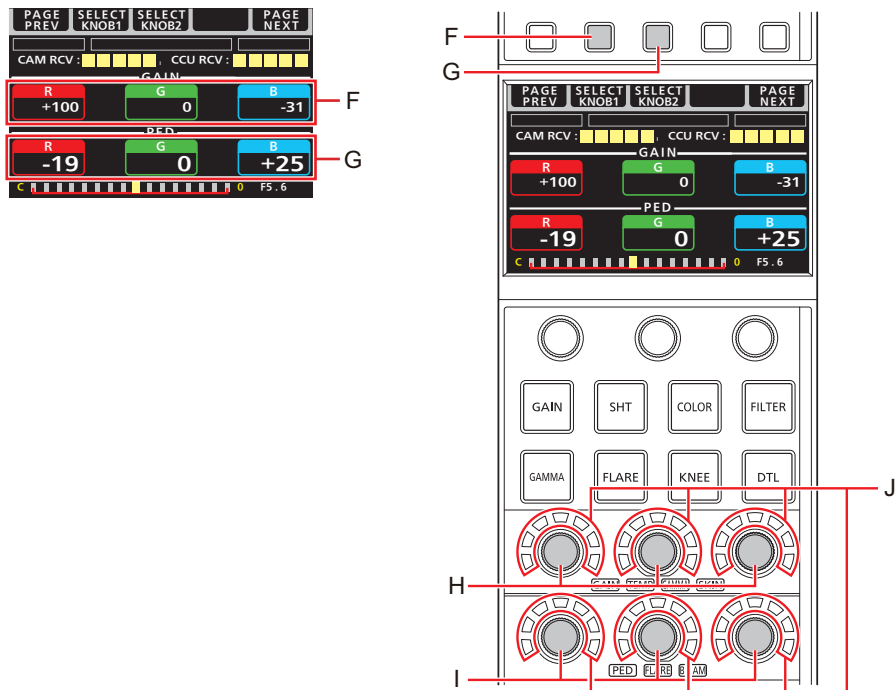
押してページ切り替え



ステータス画面のときに、操作（SELECT KNOB1）ボタン（F）または操作（SELECT KNOB2）ボタン（G）を押すとステータス画面の中段と下段に表示される内容が切り替わります。

- 操作 (SELECT KNOB1) ボタン (F) を押すごとに、画面の中段が[GAIN] → [SKIN] → [TEMP] → [GAM]の順に切り替わります。
- 操作 (SELECT KNOB2) ボタン (G) を押すごとに、画面の下端が[PED] → [FLARE] → [B.GAM]の順に切り替わります。

■ステータス画面のメニュー項目切り替え



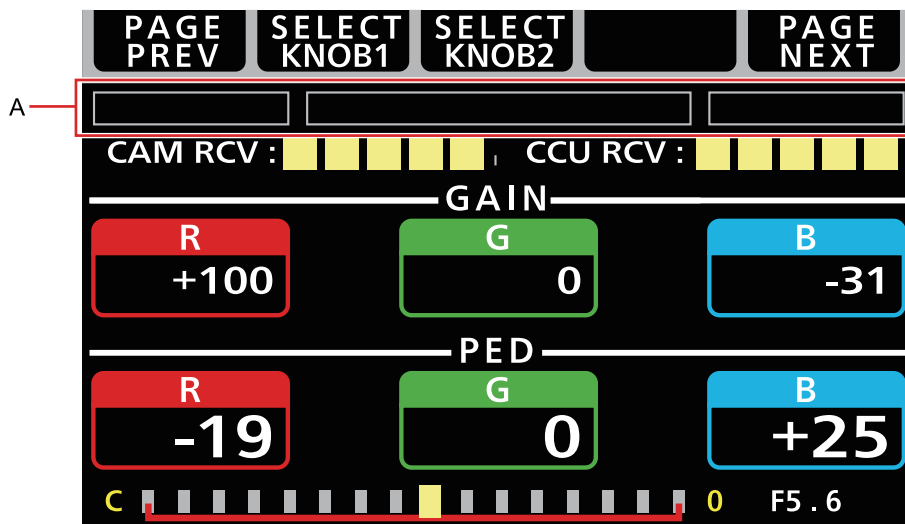
- F. 操作 (SELECT KNOB1) ボタン
- G. 操作 (SELECT KNOB2) ボタン
- H. [GAIN]、[TEMP]、[GAMMA]、[SKIN]調整ダイヤル
- I. [PED]、[FLARE]、[B.GAM]調整ダイヤル
- J. レベルインジケータ

ステータス画面に表示される項目

OPT LEVEL

光伝送の強度を表示します。

- 画面の上段はタリー表示のエリアです。両端が緑、中央が赤のタリーになります。

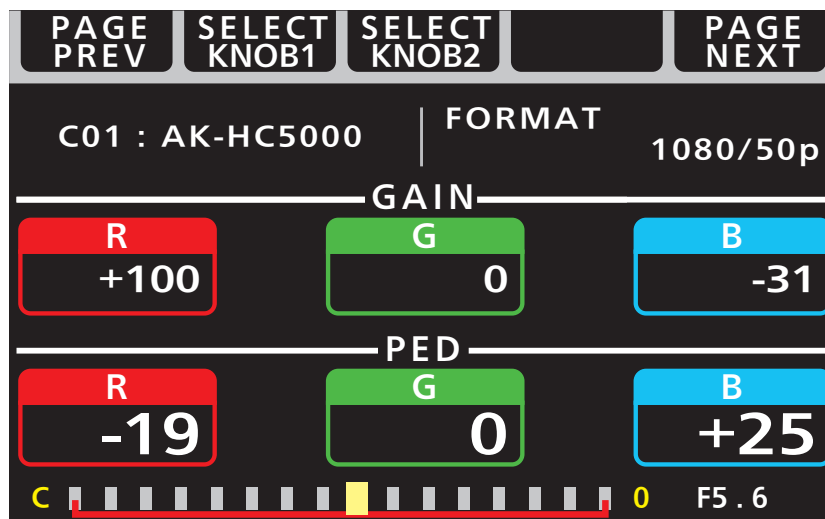


A. タリー表示エリア

表示	項目
CAM RCV	カメラ側の光伝送受信強度が表示されます。
CCU RCV	CCU側の光伝送受信強度が表示されます。

CAM INFO

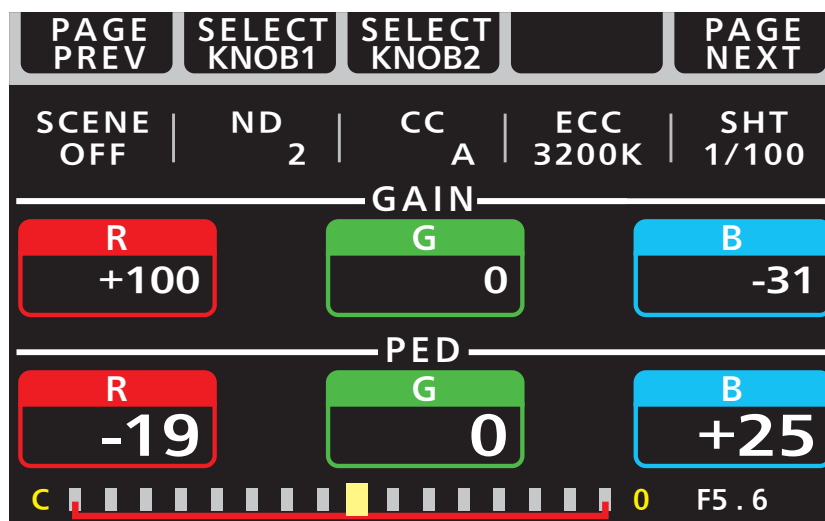
カメラ情報を表示します。



表示	項目
C**	現在選択されているカメラの名称が表示されます。
FORMAT	現在選択されているシステムフォーマットが表示されます。 ➡ 「FORMAT」 (107ページ参照)

SCENE

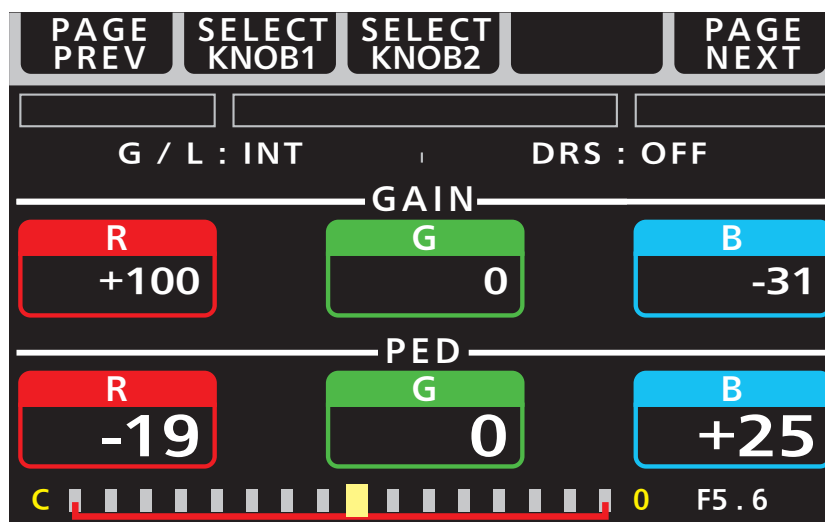
シーン設定の情報を表示します。



表示	項目
SCENE	現在設定されているシーン番号が表示されます。 ➡ 「シーンファイル」 (33ページ参照)
ND	CCUから取得したNDフィルター名が表示されます。 ➡ 「NDフィルター」 (34ページ参照)
CC	CCUから取得したCCフィルター名が表示されます。 ➡ 「CCフィルター」 (35ページ参照)
ECC	現在の、ROPメニュー[11 ECC] > [COLOR TEMP]の情報を表示します。 ➡ 「11 ECC」 (75ページ参照)
SHT	現在設定されているシャッター値を表示します。 ➡ 「シャッター (SHT)」 (37ページ参照)

ASSIGN

ASSIGNの情報を表示します。



表示	項目
G/L	GENLOCKの状態を表示します。 NG: UNLOCK: EXT: 外部同期中 INT: 内部同期中
DRS	現在の、ROPメニュー[01 PAINT SWITCH] > [DRS]の情報を表示します。 ➡ 「DRS」 (64ページ参照)

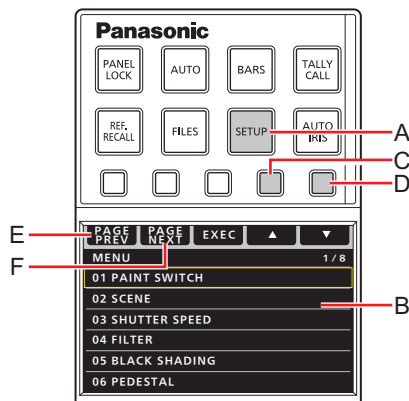
ROPメニュー

メニュー表示のしかた

本機の液晶パネルを使用して、ROPメニュー（REMOTE OPERATION MENU）を操作できます。

ROPメニューの操作は、本機をカメラまたはCCUと接続したときに有効となる機能です。

以下の手順で、ROPメニューを表示します。ROPメニューは本機の液晶パネル（B）に表示されます。



- A. [SETUP]ボタン
- B. 液晶パネル
- C. 操作（△）ボタン（カーソルを上移動）
- D. 操作（▽）ボタン（カーソルを下移動）
- E. PAGE PREV（前ページのメニューに移動）
- F. PAGE NEXT（次ページのメニューに移動）

操作手順

1. [SETUP]ボタン（A）を押す

液晶パネル（B）にROPメニューが表示されます。

- 再度、ボタンを押すと、ステータス画面に戻ります。

2. 操作ボタン（C）（D）（E）（F）でメニューを選択します。

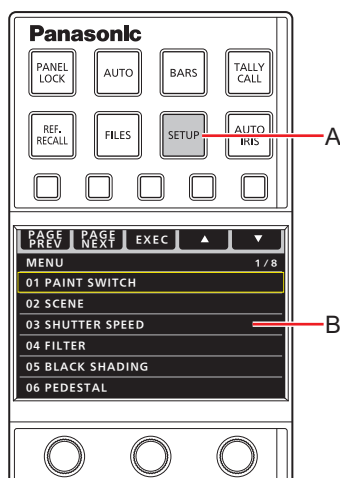
以下のメニュー項目から選択できます。

- メニューの操作方法については、下記のページを参照してください。
➡ 「基本的なメニュー操作のしかた」（48ページ参照）
- メニューの設定内容については、下記のページを参照してください。
➡ 「ROPメニュー一覧」（50ページ参照）

基本的なメニュー操作のしかた

1. [SETUP]ボタン (A) を押す

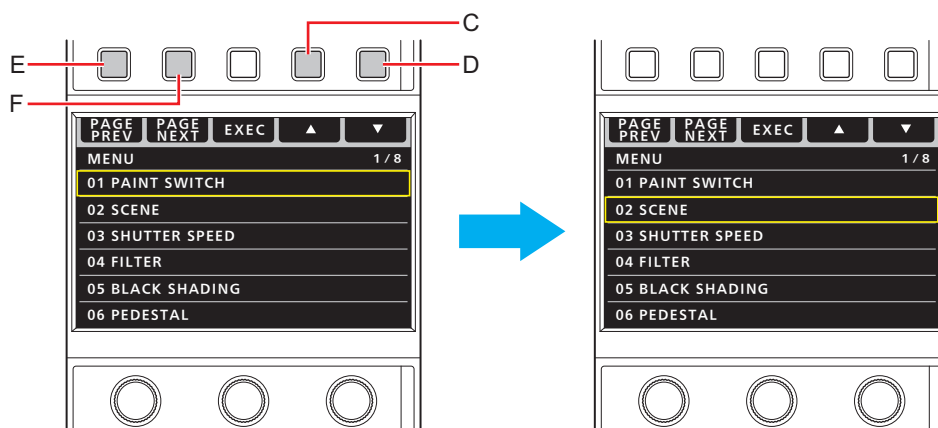
液晶パネル (B) にメニューが表示されます。(先頭行にカーソルがあります)



- A. [SETUP]ボタン
- B. 液晶パネル

2. 操作 (Δ) ボタン (C) または操作 (▽) ボタン (D) を押してカーソルを移動する

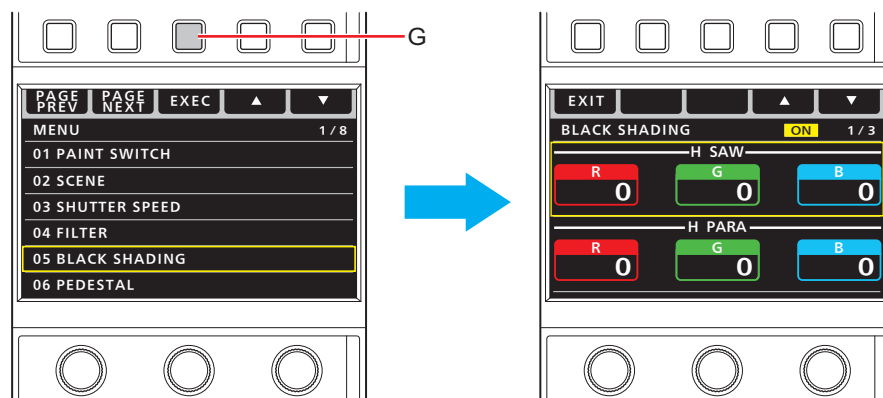
メニューのページ切り替えは、操作 (PAGE PREV) ボタン (E)、操作 (PAGE NEXT) ボタン (F) で行えます。また、先頭行または最終行でカーソルを移動してもページが切り替わります。



- C. 操作 (Δ) ボタン (カーソルを上移動)
- D. 操作 (▽) ボタン (カーソルを下移動)
- E. 操作 (PAGE PREV) ボタン (前のページに移動)
- F. 操作 (PAGE NEXT) ボタン (次のページに移動)

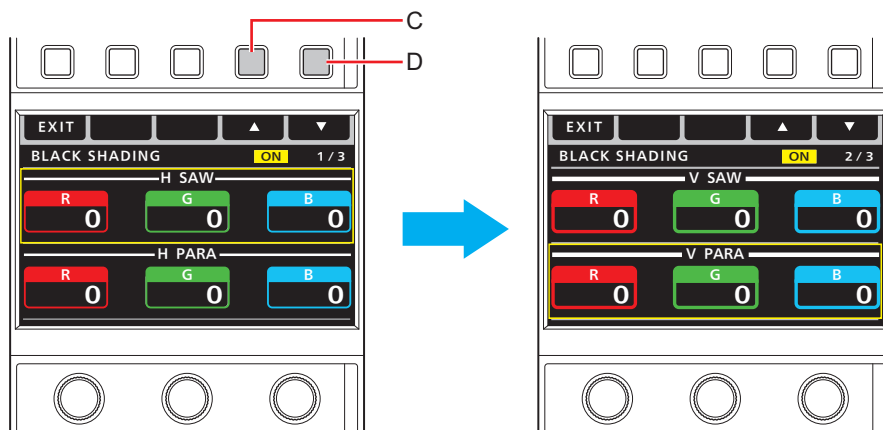
3. 操作 (EXEC) ボタン (G) を押してメニューを表示する

(以下、[BLACK SHADING]を例に説明します。)



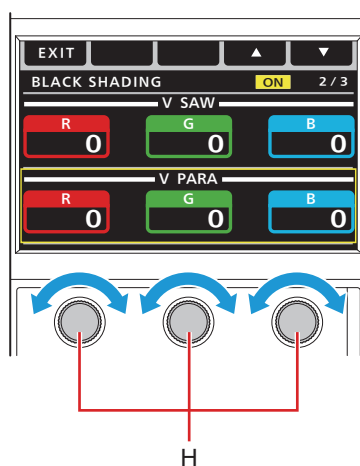
- G. 操作 (EXEC) ボタン (メニュー選択)

4. 操作 (Δ) ボタン (C) または操作 (▽) ボタン (D) を押して、設定したい項目の列にカーソルを移動する



- C. 操作 (△) ボタン (カーソルを上に移動)
- D. 操作 (▽) ボタン (カーソルを下に移動)

5. メニュー操作ダイヤル (H) を回して設定する。
画面の各項目と同じ位置のダイヤルを回します。

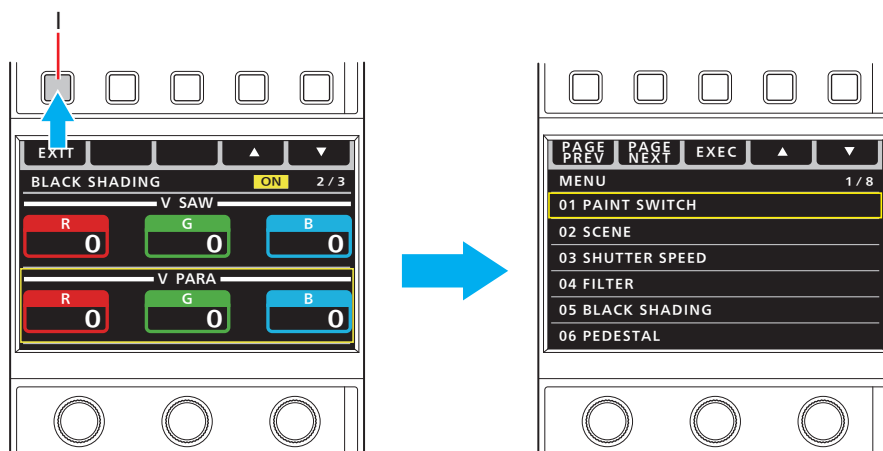


H. メニュー操作ダイヤル

その他のメニュー操作のしかた

メニュー選択画面に戻るには

1. 操作 (EXIT) ボタン (I) を押す



I. 操作 (EXIT) ボタン (メニュー選択画面に戻る)

ROPメニュー一覧

01 PAINT SWITCH	BLACK SHADING	➔ 「BLACK SHADING」 (64ページ参照)
	WHITE SHADING	➔ 「WHITE SHADING」 (64ページ参照)
	FLARE	➔ 「FLARE」 (64ページ参照)
	GAMMA	➔ 「GAMMA」 (64ページ参照)
	BLACK GAMMA	➔ 「BLACK GAMMA」 (64ページ参照)
	DRS	➔ 「DRS」 (64ページ参照)
	WHITE CLIP	➔ 「WHITE CLIP」 (64ページ参照)
	KNEE	➔ 「KNEE」 (64ページ参照)
	MATRIX	➔ 「MATRIX」 (64ページ参照)
	COLOR CORRECT	➔ 「COLOR CORRECT」 (64ページ参照)
	HD S.DTL	➔ 「HD S.DTL」 (64ページ参照)
	HD DTL	➔ 「HD DTL」 (64ページ参照)
	UHD S.DTL	➔ 「UHD S.DTL」 (64ページ参照)
	UHD DTL	➔ 「UHD DTL」 (64ページ参照)
	SD DTL	➔ 「SD DTL」 (64ページ参照)
	PRESET MATRIX	➔ 「PRESET MATRIX」 (64ページ参照)
LINEAR MATRIX	➔ 「LINEAR MATRIX」 (65ページ参照)	
02 SCENE	SCENE1	➔ 「SCENE1」 (66ページ参照)
	SCENE2	➔ 「SCENE2」 (66ページ参照)
	SCENE3	➔ 「SCENE3」 (66ページ参照)
	SCENE4	➔ 「SCENE4」 (66ページ参照)
	SCENE5	➔ 「SCENE5」 (66ページ参照)
	SCENE6	➔ 「SCENE6」 (66ページ参照)
	SCENE7	➔ 「SCENE7」 (66ページ参照)
	SCENE8	➔ 「SCENE8」 (66ページ参照)
	STORE SCENE	➔ 「STORE SCENE」 (66ページ参照)
	STORE EXECUTE	➔ 「STORE EXECUTE」 (66ページ参照)
	EXT1	➔ 「EXT1」 (66ページ参照)
	EXT2	➔ 「EXT2」 (66ページ参照)
	BUTTON SEL MODE	➔ 「BUTTON SEL MODE」 (66ページ参照)
	03 SHUTTER SPEED	SHUTTER SPEED
SHUTTER SYNCHRO		➔ 「SHUTTER SYNCHRO」 (67ページ参照)
SHUTTER SW		➔ 「SHUTTER SW」 (67ページ参照)
SHUTTER MODE		➔ 「SHUTTER MODE」 (67ページ参照)
04 FILTER	ND	➔ 「ND」 (68ページ参照)
	CC	➔ 「CC」 (68ページ参照)
	HEAD	➔ 「HEAD」 (68ページ参照)

05 BLACK SHADING	H SAW R	➔ 「H SAW R」 (69ページ参照)
	H SAW G	➔ 「H SAW G」 (69ページ参照)
	H SAW B	➔ 「H SAW B」 (69ページ参照)
	H PARA R	➔ 「H PARA R」 (69ページ参照)
	H PARA G	➔ 「H PARA G」 (69ページ参照)
	H PARA B	➔ 「H PARA B」 (69ページ参照)
	V SAW R	➔ 「V SAW R」 (69ページ参照)
	V SAW G	➔ 「V SAW G」 (69ページ参照)
	V SAW B	➔ 「V SAW B」 (69ページ参照)
	V PARA R	➔ 「V PARA R」 (69ページ参照)
	V PARA G	➔ 「V PARA G」 (69ページ参照)
	V PARA B	➔ 「V PARA B」 (69ページ参照)
	CORRECT	➔ 「CORRECT」 (69ページ参照)
06 PEDESTAL	PED R	➔ 「PED R」 (70ページ参照)
	PED G	➔ 「PED G」 (70ページ参照)
	PED B	➔ 「PED B」 (70ページ参照)
	M.PED	➔ 「M.PED」 (70ページ参照)
	M. PED ABS DISP SW	➔ 「M. PED ABS DISP SW」 (70ページ参照)
	PED OFFSET	➔ 「PED OFFSET」 (70ページ参照)
07 HD CHROMA	CHROMA LEVEL	➔ 「CHROMA LEVEL」 (71ページ参照)
	CHROMA LEVEL SW	➔ 「CHROMA LEVEL SW」 (71ページ参照)
08 UHD CHROMA	CHROMA LEVEL	➔ 「CHROMA LEVEL」 (72ページ参照)
	CHROMA LEVEL SW	➔ 「CHROMA LEVEL SW」 (72ページ参照)
09 RGB GAIN	GAIN AWB R	➔ 「GAIN AWB R」 (73ページ参照)
	GAIN AWB G	➔ 「GAIN AWB G」 (73ページ参照)
	GAIN AWB B	➔ 「GAIN AWB B」 (73ページ参照)
	GAIN OFFSET	➔ 「GAIN OFFSET」 (73ページ参照)
	GAIN ABS	➔ 「GAIN ABS」 (73ページ参照)
	G GAIN REL	➔ 「G GAIN REL」 (73ページ参照)
10 COLOR TEMP	COLOR TEMP	➔ 「COLOR TEMP」 (74ページ参照)
	GAIN R	➔ 「GAIN R」 (74ページ参照)
	AXIS G	➔ 「AXIS G」 (74ページ参照)
	GAIN B	➔ 「GAIN B」 (74ページ参照)
11 ECC	COLOR TEMP	➔ 「COLOR TEMP」 (75ページ参照)
	GAIN R	➔ 「GAIN R」 (75ページ参照)
	AXIS G	➔ 「AXIS G」 (75ページ参照)
	GAIN B	➔ 「GAIN B」 (75ページ参照)
	COLOR TEMP SW	➔ 「COLOR TEMP SW」 (75ページ参照)

12 CAM USER SW TEMP	COLOR TEMP	➔ 「COLOR TEMP」 (76ページ参照)
	GAIN R	➔ 「GAIN R」 (76ページ参照)
	AXIS G	➔ 「AXIS G」 (76ページ参照)
	GAIN B	➔ 「GAIN B」 (76ページ参照)
13 WHITE SHADING	H SAW R	➔ 「H SAW R」 (77ページ参照)
	H SAW G	➔ 「H SAW G」 (77ページ参照)
	H SAW B	➔ 「H SAW B」 (77ページ参照)
	H PARA R	➔ 「H PARA R」 (77ページ参照)
	H PARA G	➔ 「H PARA G」 (77ページ参照)
	H PARA B	➔ 「H PARA B」 (77ページ参照)
	V SAW R	➔ 「V SAW R」 (77ページ参照)
	V SAW G	➔ 「V SAW G」 (77ページ参照)
	V SAW B	➔ 「V SAW B」 (77ページ参照)
	V PARA R	➔ 「V PARA R」 (77ページ参照)
	V PARA G	➔ 「V PARA G」 (77ページ参照)
	V PARA B	➔ 「V PARA B」 (77ページ参照)
	CORRECT	➔ 「CORRECT」 (77ページ参照)
14 FLARE	FLARE R	➔ 「FLARE R」 (78ページ参照)
	FLARE G	➔ 「FLARE G」 (78ページ参照)
	FLARE B	➔ 「FLARE B」 (78ページ参照)
	M.FLARE	➔ 「M.FLARE」 (78ページ参照)
	FLARE	➔ 「FLARE」 (78ページ参照)
15 GAMMA	GAMMA R	➔ 「GAMMA R」 (79ページ参照)
	GAMMA MASTER	➔ 「GAMMA MASTER」 (79ページ参照)
	GAMMA B	➔ 「GAMMA B」 (79ページ参照)
	INITIAL GAMMA	➔ 「INITIAL GAMMA」 (79ページ参照)
	GAMMA MODE	➔ 「GAMMA MODE」 (79ページ参照)
	BLACK STRETCH	➔ 「BLACK STRETCH」 (79ページ参照)
	DYNAMIC LEVEL	➔ 「DYNAMIC LEVEL」 (79ページ参照)
	KNEE POINT	➔ 「KNEE POINT」 (79ページ参照)
	KNEE SLOPE	➔ 「KNEE SLOPE」 (79ページ参照)
	GAMMA	➔ 「GAMMA」 (79ページ参照)
	ABB	➔ 「ABB」 (80ページ参照)
	DRS EFFECT.D	➔ 「DRS EFFECT.D」 (80ページ参照)
	DRS SW	➔ 「DRS SW」 (80ページ参照)
16 BLACK GAMMA	BLACK GAMMA R	➔ 「BLACK GAMMA R」 (81ページ参照)
	BLACK GAMMA MASTER	➔ 「BLACK GAMMA MASTER」 (81ページ参照)
	BLACK GAMMA B	➔ 「BLACK GAMMA B」 (81ページ参照)
	B.GAMMA	➔ 「B.GAMMA」 (81ページ参照)

17 KNEE	POINT R	➔ 「POINT R」 (82ページ参照)
	POINT MASTER	➔ 「POINT MASTER」 (82ページ参照)
	POINT B	➔ 「POINT B」 (82ページ参照)
	SLOPE R	➔ 「SLOPE R」 (82ページ参照)
	SLOPE MASTER	➔ 「SLOPE MASTER」 (82ページ参照)
	SLOPE B	➔ 「SLOPE B」 (82ページ参照)
	KNEE	➔ 「KNEE」 (82ページ参照)
18 WHITE CLIP	WHITE CLIP LEVEL R	➔ 「WHITE CLIP LEVEL R」 (83ページ参照)
	WHITE CLIP LEVEL MASTER	➔ 「WHITE CLIP LEVEL MASTER」 (83ページ参照)
	WHITE CLIP LEVEL B	➔ 「WHITE CLIP LEVEL B」 (83ページ参照)
	HI-COLOR LEVEL	➔ 「HI-COLOR LEVEL」 (83ページ参照)
	WHITE CLIP	➔ 「WHITE CLIP」 (83ページ参照)
	HIGH COLOR	➔ 「HIGH COLOR」 (83ページ参照)
19 DRS	EFFECT DEPTH	➔ 「EFFECT DEPTH」 (84ページ参照)
	DRS	➔ 「DRS」 (84ページ参照)
20 HD DETAIL	MASTER DETAIL	➔ 「MASTER DETAIL」 (85ページ参照)
	DETAIL LV H	➔ 「DETAIL LV H」 (85ページ参照)
	DETAIL LV V	➔ 「DETAIL LV V」 (85ページ参照)
	PEAK FRQ	➔ 「PEAK FRQ」 (85ページ参照)
	V DETAIL FRQ	➔ 「V DETAIL FRQ」 (85ページ参照)
	CRISP	➔ 「CRISP」 (86ページ参照)
	LEVEL DEPENDENT	➔ 「LEVEL DEPENDENT」 (86ページ参照)
	DARK DETAIL	➔ 「DARK DETAIL」 (86ページ参照)
	DETAIL SOURCE	➔ 「DETAIL SOURCE」 (86ページ参照)
	DETAIL GAIN (+)	➔ 「DETAIL GAIN (+)」 (86ページ参照)
	DETAIL GAIN (-)	➔ 「DETAIL GAIN (-)」 (86ページ参照)
	DETAIL CLIP+	➔ 「DETAIL CLIP+」 (86ページ参照)
	DETAIL CLIP-	➔ 「DETAIL CLIP-」 (86ページ参照)
	KNEE APERTURE	➔ 「KNEE APERTURE」 (86ページ参照)
	DETAIL KNEE	➔ 「DETAIL KNEE」 (86ページ参照)
	DETAIL	➔ 「DETAIL」 (86ページ参照)
	LV DPN SW	➔ 「LV DPN SW」 (86ページ参照)
	D. DTL SW	➔ 「D. DTL SW」 (86ページ参照)

21 UHD DETAIL	MASTER DETAIL	➡ 「MASTER DETAIL」 (87ページ参照)
	DETAIL LV H	➡ 「DETAIL LV H」 (87ページ参照)
	DETAIL LV V	➡ 「DETAIL LV V」 (87ページ参照)
	PEAK FRQ	➡ 「PEAK FRQ」 (87ページ参照)
	CRISP	➡ 「CRISP」 (87ページ参照)
	DETAIL CLIP+	➡ 「DETAIL CLIP+」 (87ページ参照)
	DETAIL CLIP-	➡ 「DETAIL CLIP-」 (87ページ参照)
	KNEE APERTURE	➡ 「KNEE APERTURE」 (87ページ参照)
	DETAIL KNEE	➡ 「DETAIL KNEE」 (87ページ参照)
	LEVEL DEPENDENT	➡ 「LEVEL DEPENDENT」 (87ページ参照)
	DARK DETAIL	➡ 「DARK DETAIL」 (87ページ参照)
	DETAIL	➡ 「DETAIL」 (87ページ参照)
	LV DPN SW	➡ 「LV DPN SW」 (88ページ参照)
	D. DTL SW	➡ 「D. DTL SW」 (88ページ参照)
22 SD DETAIL	DETAIL LV H	➡ 「DETAIL LV H」 (89ページ参照)
	DETAIL LV V	➡ 「DETAIL LV V」 (89ページ参照)
	PEAK1 FRQ	➡ 「PEAK1 FRQ」 (89ページ参照)
	PEAK2 FRQ	➡ 「PEAK2 FRQ」 (89ページ参照)
	CRISP	➡ 「CRISP」 (89ページ参照)
	LEVEL DEPENDENT	➡ 「LEVEL DEPENDENT」 (89ページ参照)
	DARK DETAIL	➡ 「DARK DETAIL」 (89ページ参照)
	DETAIL	➡ 「DETAIL」 (89ページ参照)
23 HD SKIN TONE DTL	MEMORY SELECT	➡ 「MEMORY SELECT」 (90ページ参照)
	CURSOR	➡ 「CURSOR」 (90ページ参照)
	POS H	➡ 「POS H」 (90ページ参照)
	POS V	➡ 「POS V」 (90ページ参照)
	SKIN GET	➡ 「SKIN GET」 (91ページ参照)
	ZEBRA SWITCH	➡ 「ZEBRA SWITCH」 (91ページ参照)
	ZEBRA EFFECT	➡ 「ZEBRA EFFECT」 (91ページ参照)
	EFFECT MEMORY	➡ 「EFFECT MEMORY」 (91ページ参照)
	SKIN TONE CRISP	➡ 「SKIN TONE CRISP」 (91ページ参照)
	I CENTER	➡ 「I CENTER」 (91ページ参照)
	I WIDTH	➡ 「I WIDTH」 (91ページ参照)
	Q WIDTH	➡ 「Q WIDTH」 (91ページ参照)
	Q PHASE	➡ 「Q PHASE」 (91ページ参照)
	SKIN TONE DETAIL	➡ 「SKIN TONE DETAIL」 (91ページ参照)

24 UHD SKIN TONE DTL	MEMORY SELECT	➔ 「MEMORY SELECT」 (92ページ参照)
	CURSOR	➔ 「CURSOR」 (92ページ参照)
	POS H	➔ 「POS H」 (92ページ参照)
	POS V	➔ 「POS V」 (92ページ参照)
	SKIN GET	➔ 「SKIN GET」 (93ページ参照)
	ZEBRA SWITCH	➔ 「ZEBRA SWITCH」 (93ページ参照)
	ZEBRA EFFECT	➔ 「ZEBRA EFFECT」 (93ページ参照)
	EFFECT MEMORY	➔ 「EFFECT MEMORY」 (93ページ参照)
	SKIN TONE CRISP	➔ 「SKIN TONE CRISP」 (93ページ参照)
	I CENTER	➔ 「I CENTER」 (93ページ参照)
	I WIDTH	➔ 「I WIDTH」 (93ページ参照)
	Q WIDTH	➔ 「Q WIDTH」 (93ページ参照)
	Q PHASE	➔ 「Q PHASE」 (93ページ参照)
	SKIN TONE DETAIL	➔ 「SKIN TONE DETAIL」 (93ページ参照)
25 LINEAR MATRIX	PRESET MATRIX	➔ 「PRESET MATRIX」 (94ページ参照)
	LINEAR TABLE	➔ 「LINEAR TABLE」 (94ページ参照)
	COLOR CORRECT	➔ 「COLOR CORRECT」 (94ページ参照)
	MATRIX(R-G) P	➔ 「MATRIX(R-G) P」 (94ページ参照)
	MATRIX(R-G) N	➔ 「MATRIX(R-G) N」 (94ページ参照)
	MATRIX(R-B) P	➔ 「MATRIX(R-B) P」 (94ページ参照)
	MATRIX(R-B) N	➔ 「MATRIX(R-B) N」 (94ページ参照)
	MATRIX(G-R) P	➔ 「MATRIX(G-R) P」 (94ページ参照)
	MATRIX(G-R) N	➔ 「MATRIX(G-R) N」 (94ページ参照)
	MATRIX(G-B) P	➔ 「MATRIX(G-B) P」 (95ページ参照)
	MATRIX(G-B) N	➔ 「MATRIX(G-B) N」 (95ページ参照)
	MATRIX(B-R) P	➔ 「MATRIX(B-R) P」 (95ページ参照)
	MATRIX(B-R) N	➔ 「MATRIX(B-R) N」 (95ページ参照)
	MATRIX(B-G) P	➔ 「MATRIX(B-G) P」 (95ページ参照)
	MATRIX(B-G) N	➔ 「MATRIX(B-G) N」 (95ページ参照)
	MATRIX	➔ 「MATRIX」 (95ページ参照)
	COLOR CORRECT	➔ 「COLOR CORRECT」 (95ページ参照)
	LINEAR MATRIX	➔ 「LINEAR MATRIX」 (95ページ参照)

26 COLOR CORRECTION	PRESET MATRIX	➡ 「PRESET MATRIX」 (97ページ参照)
	LINEAR TABLE	➡ 「LINEAR TABLE」 (97ページ参照)
	CORRECT TABLE	➡ 「CORRECT TABLE」 (97ページ参照)
	COLOR CORRECT	➡ 「COLOR CORRECT」 (97ページ参照)
	SAT	➡ 「SAT」 (97ページ参照)
	PHASE	➡ 「PHASE」 (97ページ参照)
	SAT G	➡ 「SAT G」 (98ページ参照)
	SAT G_CY	➡ 「SAT G_CY」 (98ページ参照)
	SAT CY	➡ 「SAT CY」 (98ページ参照)
	SAT CY_B	➡ 「SAT CY_B」 (98ページ参照)
	SAT B	➡ 「SAT B」 (98ページ参照)
	SAT B_MG	➡ 「SAT B_MG」 (98ページ参照)
	SAT MG	➡ 「SAT MG」 (98ページ参照)
	SAT MG_R	➡ 「SAT MG_R」 (98ページ参照)
	SAT R	➡ 「SAT R」 (98ページ参照)
	SAT R_YE	➡ 「SAT R_YE」 (98ページ参照)
	SAT YE	➡ 「SAT YE」 (98ページ参照)
	SAT YE_G	➡ 「SAT YE_G」 (98ページ参照)
	PHASE G	➡ 「PHASE G」 (98ページ参照)
	PHASE G_CY	➡ 「PHASE G_CY」 (98ページ参照)
	PHASE CY	➡ 「PHASE CY」 (98ページ参照)
	PHASE CY_B	➡ 「PHASE CY_B」 (98ページ参照)
	PHASE B	➡ 「PHASE B」 (98ページ参照)
	PHASE B_MG	➡ 「PHASE B_MG」 (98ページ参照)
	PHASE MG	➡ 「PHASE MG」 (98ページ参照)
	PHASE MG_R	➡ 「PHASE MG_R」 (98ページ参照)
	PHASE R	➡ 「PHASE R」 (98ページ参照)
	PHASE R_YE	➡ 「PHASE R_YE」 (98ページ参照)
	PHASE YE	➡ 「PHASE YE」 (98ページ参照)
	PHASE YE_G	➡ 「PHASE YE_G」 (98ページ参照)
	CURSOR	➡ 「CURSOR」 (98ページ参照)
	POS H	➡ 「POS H」 (98ページ参照)
POS V	➡ 「POS V」 (98ページ参照)	
GET	➡ 「GET」 (98ページ参照)	
MATRIX	➡ 「MATRIX」 (98ページ参照)	
COLOR CORRECT	➡ 「COLOR CORRECT」 (98ページ参照)	
LINEAR MATRIX	➡ 「LINEAR MATRIX」 (98ページ参照)	
27 SKIN CORRECTION	SKIN AREA HUE	➡ 「SKIN AREA HUE」 (99ページ参照)
	SKIN AREA TONE	➡ 「SKIN AREA TONE」 (99ページ参照)
	SKIN AREA SW	➡ 「SKIN AREA SW」 (99ページ参照)
	SKIN AREA TABLE	➡ 「SKIN AREA TABLE」 (99ページ参照)

28 DNR	DNR LEVEL	➡ 「DNR LEVEL」 (100ページ参照)
	DNR SW	➡ 「DNR SW」 (100ページ参照)
29 IRIS RELATIVE	SENSE	➡ 「SENSE」 (101ページ参照)
	COARSE	➡ 「COARSE」 (101ページ参照)
	RELATIVE	➡ 「RELATIVE」 (101ページ参照)
30 SHUTTER SELECT	POSITION1	➡ 「POSITION1」 (102ページ参照)
	POSITION2	➡ 「POSITION2」 (102ページ参照)
	POSITION3	➡ 「POSITION3」 (102ページ参照)
	POSITION4	➡ 「POSITION4」 (102ページ参照)
	POSITION5	➡ 「POSITION5」 (102ページ参照)
	POSITION6	➡ 「POSITION6」 (102ページ参照)
	POSITION7	➡ 「POSITION7」 (102ページ参照)
	POSITION8	➡ 「POSITION8」 (102ページ参照)
	SHUTTER OFF	➡ 「SHUTTER OFF」 (102ページ参照)

31 LENS FILE/EDIT	LENS FILE SW	➔ 「LENS FILE SW」 (104ページ参照)
	FILE No.	➔ 「FILE No.」 (104ページ参照)
	FILE NAME	➔ 「FILE NAME」 (104ページ参照)
	MODE	➔ 「MODE」 (104ページ参照)
	EXECUTE	➔ 「EXECUTE」 (104ページ参照)
	EXTENDER	➔ 「EXTENDER」 (104ページ参照)
	FILE No.	➔ 「FILE No.」 (104ページ参照)
	FILE NAME	➔ 「FILE NAME」 (104ページ参照)
	FLARE R	➔ 「FLARE R」 (104ページ参照)
	FLARE G	➔ 「FLARE G」 (104ページ参照)
	FLARE B	➔ 「FLARE B」 (104ページ参照)
	GAIN R	➔ 「GAIN R」 (104ページ参照)
	GAIN B	➔ 「GAIN B」 (104ページ参照)
	W H SAW R	➔ 「W H SAW R」 (105ページ参照)
	W H SAW G	➔ 「W H SAW G」 (105ページ参照)
	W H SAW B	➔ 「W H SAW B」 (105ページ参照)
	W H PARA R	➔ 「W H PARA R」 (105ページ参照)
	W H PARA G	➔ 「W H PARA G」 (105ページ参照)
	W H PARA B	➔ 「W H PARA B」 (105ページ参照)
	W V SAW R	➔ 「W V SAW R」 (105ページ参照)
	W V SAW G	➔ 「W V SAW G」 (105ページ参照)
	W V SAW B	➔ 「W V SAW B」 (105ページ参照)
	W V PARA R	➔ 「W V PARA R」 (105ページ参照)
	W V PARA G	➔ 「W V PARA G」 (105ページ参照)
	W V PARA B	➔ 「W V PARA B」 (105ページ参照)
	STORE NUM	➔ 「STORE NUM」 (105ページ参照)
	STORE	➔ 「STORE」 (105ページ参照)
CANCEL	➔ 「CANCEL」 (105ページ参照)	
32 MONITOR	MONITOR R	➔ 「MONITOR R」 (106ページ参照)
	MONITOR G	➔ 「MONITOR G」 (106ページ参照)
	MONITOR B	➔ 「MONITOR B」 (106ページ参照)
	MONITOR SEQ	➔ 「MONITOR SEQ」 (106ページ参照)
	MONITOR ENC	➔ 「MONITOR ENC」 (106ページ参照)

33 SYSTEM CAM	FORMAT	➡ 「FORMAT」 (107ページ参照)
	TALK OFF INCOM1	➡ 「TALK OFF INCOM1」 (107ページ参照)
	TALK OFF INCOM2	➡ 「TALK OFF INCOM2」 (108ページ参照)
	MIC1 GAIN	➡ 「MIC1 GAIN」 (108ページ参照)
	MIC1 LINE LV	➡ 「MIC1 LINE LV」 (108ページ参照)
	MIC1 AMP	➡ 「MIC1 AMP」 (108ページ参照)
	MIC2 GAIN	➡ 「MIC2 GAIN」 (108ページ参照)
	MIC2 LINE LV	➡ 「MIC2 LINE LV」 (108ページ参照)
	MIC2 AMP	➡ 「MIC2 AMP」 (108ページ参照)
	SHOOTING MODE	➡ 「SHOOTING MODE」 (108ページ参照)
	CAM FAN	➡ 「CAM FAN」 (108ページ参照)
	TALLY GUARD	➡ 「TALLY GUARD」 (108ページ参照)
	ASU FILTER	➡ 「ASU FILTER」 (108ページ参照)
	ASU MODE	➡ 「ASU MODE」 (108ページ参照)
	ASU M. PED TARGET	➡ 「ASU M. PED TARGET」 (108ページ参照)
	REF.RECALL	➡ 「REF.RECALL」 (108ページ参照)
	CABLE CONNECT	➡ 「CABLE CONNECT」 (108ページ参照)
	HEAD PW	➡ 「HEAD PW」 (108ページ参照)
	VF PW	➡ 「VF PW」 (108ページ参照)
	CTRL ROTATION	➡ 「CTRL ROTATION」 (108ページ参照)
TALLY CONTROL	➡ 「TALLY CONTROL」 (108ページ参照)	
TALLY INPUT	➡ 「TALLY INPUT」 (108ページ参照)	

34 SYSTEM CCU	FORMAT	➡ 「FORMAT」 (110ページ参照)
	RETURN1 SELECT	➡ 「RETURN1 SELECT」 (110ページ参照)
	RETURN2 SELECT	➡ 「RETURN2 SELECT」 (110ページ参照)
	RETURN3 SELECT	➡ 「RETURN3 SELECT」 (110ページ参照)
	RETURN4 SELECT	➡ 「RETURN4 SELECT」 (110ページ参照)
	RETURN FS	➡ 「RETURN FS」 (110ページ参照)
	CAMERA NUMBER	➡ 「CAMERA NUMBER」 (110ページ参照)
	D/C MODE	➡ 「D/C MODE」 (110ページ参照)
	U/C MODE	➡ 「U/C MODE」 (110ページ参照)
	BARS HD	➡ 「BARS HD」 (110ページ参照)
	BARS SD	➡ 「BARS SD」 (110ページ参照)
	C/B SETUP	➡ 「C/B SETUP」 (110ページ参照)
	SDI8 OUT	➡ 「SDI8 OUT」 (110ページ参照)
	HD H COARSE	➡ 「HD H COARSE」 (110ページ参照)
	HD H FINE	➡ 「HD H FINE」 (110ページ参照)
	SD H COARSE	➡ 「SD H COARSE」 (110ページ参照)
	SD H FINE	➡ 「SD H FINE」 (110ページ参照)
	SD-HD V	➡ 「SD-HD V」 (110ページ参照)
	SCH	➡ 「SCH」 (110ページ参照)
	CABLE CONNECT	➡ 「CABLE CONNECT」 (110ページ参照)
FORMAT MODE(push)	➡ 「FORMAT MODE(push)」 (110ページ参照)	
35 CAMERA MENU CONTROL	MENU ON/OFF	➡ 「MENU ON/OFF」 (111ページ参照)
	CURSOR/PARAMETER	➡ 「CURSOR/PARAMETER」 (111ページ参照)
	EXECUTE	➡ 「EXECUTE」 (111ページ参照)
36 CCU MENU CONTROL	MENU ON/OFF	➡ 「MENU ON/OFF」 (112ページ参照)
	CURSOR/PARAMETER	➡ 「CURSOR/PARAMETER」 (112ページ参照)
	EXECUTE	➡ 「EXECUTE」 (112ページ参照)

37 ROP SETTING	IRIS LEV MODE	➔ 「IRIS LEV MODE」 (114ページ参照)
	M.PED CONT	➔ 「M.PED CONT」 (114ページ参照)
	LOCK SELECT	➔ 「LOCK SELECT」 (114ページ参照)
	AUTO BUTTON	➔ 「AUTO BUTTON」 (114ページ参照)
	G/M PED VOL	➔ 「G/M PED VOL」 (114ページ参照)
	FREE+LOCK	➔ 「FREE+LOCK」 (114ページ参照)
	CAM SEL	➔ 「CAM SEL」 (114ページ参照)
	DTL BUTTON	➔ 「DTL BUTTON」 (114ページ参照)
	SKIN VOL	➔ 「SKIN VOL」 (114ページ参照)
	LCD BRIGHT	➔ 「LCD BRIGHT」 (114ページ参照)
	PANEL BRIGHT	➔ 「PANEL BRIGHT」 (114ページ参照)
	B.GAMMA VOL	➔ 「B.GAMMA VOL」 (114ページ参照)
	BUZZER	➔ 「BUZZER」 (114ページ参照)
	PERIOD	➔ 「PERIOD」 (115ページ参照)
	CYCLE	➔ 「CYCLE」 (115ページ参照)
	STD POSITION M.GAIN	➔ 「STD POSITION M.GAIN」 (115ページ参照)
	STD POSITION VAR	➔ 「STD POSITION VAR」 (115ページ参照)
	STD POSITION ND	➔ 「STD POSITION ND」 (115ページ参照)
	STD POSITION CC	➔ 「STD POSITION CC」 (115ページ参照)
	IRIS PRIORITY	➔ 「IRIS PRIORITY」 (115ページ参照)
	ROP DATA SAVE	➔ 「ROP DATA SAVE」 (115ページ参照)
	ROP DATA LOAD	➔ 「ROP DATA LOAD」 (115ページ参照)
	SD CARD FORMAT	➔ 「SD CARD FORMAT」 (115ページ参照)
	INITIAL with NW	➔ 「INITIAL with NW」 (115ページ参照)
	INITIAL	➔ 「INITIAL」 (115ページ参照)
	UPGRADE	➔ 「UPGRADE」 (115ページ参照)
	IRIS CALIBRATION TOP	➔ 「IRIS CALIBRATION TOP」 (115ページ参照)
	IRIS CALIBRATION BOTTOM	➔ 「IRIS CALIBRATION BOTTOM」 (115ページ参照)
	SYSTEM VERSION	➔ 「SYSTEM VERSION」 (115ページ参照)
SOFT VERSION	➔ 「SOFT VERSION」 (115ページ参照)	
FPGA VERSION	➔ 「FPGA VERSION」 (115ページ参照)	
38 CONNECT SETTING	CONNECT MODE CAM1	➔ 「CONNECT MODE CAM1」 (116ページ参照)
	CONNECT MODE CAM2~CAM99	➔ 「CONNECT MODE CAM2~CAM99」 (116ページ参照)

39 ROP IP SETTING	IP ADDRESS 1	➔ 「IP ADDRESS 1」 (117ページ参照)
	IP ADDRESS 2	➔ 「IP ADDRESS 2」 (117ページ参照)
	IP ADDRESS 3	➔ 「IP ADDRESS 3」 (117ページ参照)
	IP ADDRESS 4	➔ 「IP ADDRESS 4」 (117ページ参照)
	IP ADDRESS PORT	➔ 「IP ADDRESS PORT」 (118ページ参照)
	IP ADDRESS UPLOAD	➔ 「IP ADDRESS UPLOAD」 (118ページ参照)
	SUBNET MASK 1	➔ 「SUBNET MASK 1」 (118ページ参照)
	SUBNET MASK 2	➔ 「SUBNET MASK 2」 (118ページ参照)
	SUBNET MASK 3	➔ 「SUBNET MASK 3」 (118ページ参照)
	SUBNET MASK 4	➔ 「SUBNET MASK 4」 (118ページ参照)
	SUBNET MASK UPLOAD	➔ 「SUBNET MASK UPLOAD」 (118ページ参照)
	DEFAULT GATEWAY	➔ 「DEFAULT GATEWAY」 (118ページ参照)
	DEFAULT GATEWAY UPLOAD	➔ 「DEFAULT GATEWAY UPLOAD」 (118ページ参照)
MAC ADDRESS	➔ 「MAC ADDRESS」 (118ページ参照)	
40 CAMERA IP SETTING	CAM1～CAM99 IP ADDRESS	➔ 「CAM1～CAM99 IP ADDRESS」 (119ページ参照)
	CAM1～CAM99 PORT	➔ 「CAM1～CAM99 PORT」 (119ページ参照)
	CAM1～CAM99 INF UPLOAD	➔ 「CAM1～CAM99 INF UPLOAD」 (119ページ参照)
41 SD CARD STORE	MODE	➔ 「MODE」 (120ページ参照)
	FILE SELECT	➔ 「FILE SELECT」 (120ページ参照)
	FILE NUMBER	➔ 「FILE NUMBER」 (120ページ参照)
	EXECUTE	➔ 「EXECUTE」 (120ページ参照)
42 SD CARD LOAD	FILE SELECT	➔ 「FILE SELECT」 (121ページ参照)
	GET FILE	➔ 「42 SD CARD LOAD」 (121ページ参照)
	PUT FILE	➔ 「PUT FILE」 (121ページ参照)
	EXECUTE	➔ 「EXECUTE」 (121ページ参照)
43 REFERENCE	REF.CALL(push)	➔ 「REF.CALL(push)」 (122ページ参照)
	REF.DL EXEC	➔ 「REF.DL EXEC」 (122ページ参照)
	STORE REF	➔ 「STORE REF」 (122ページ参照)
	STORE EXECUTE	➔ 「STORE EXECUTE」 (122ページ参照)
44 AUTO IRIS SETTING	WINDOW SELECT	➔ 「WINDOW SELECT」 (123ページ参照)
	PEAK RATIO	➔ 「PEAK RATIO」 (123ページ参照)
	IRIS GAIN	➔ 「IRIS GAIN」 (123ページ参照)
	IRIS SPEED	➔ 「IRIS SPEED」 (123ページ参照)
	IRIS LEVEL	➔ 「IRIS LEVEL」 (123ページ参照)
	IRIS RANGE	➔ 「IRIS RANGE」 (123ページ参照)
	LENS EXT COMP SW	➔ 「LENS EXT COMP SW」 (123ページ参照)
LENS EXT COMP LV	➔ 「LENS EXT COMP LV」 (123ページ参照)	

45 HDR-PAINT	HLG BLACK GAMMA R	➡ 「HLG BLACK GAMMA R」 (124ページ参照)
	HLG BLACK GAMMA MASTER	➡ 「HLG BLACK GAMMA MASTER」 (124ページ参照)
	HLG BLACK GAMMA B	➡ 「HLG BLACK GAMMA B」 (124ページ参照)
	HLG B.GAMMA	➡ 「HLG B.GAMMA」 (124ページ参照)
	HLG KNEE POINT	➡ 「HLG KNEE POINT」 (124ページ参照)
	HLG KNEE SLOPE	➡ 「HLG KNEE SLOPE」 (124ページ参照)
	HLG KNEE SW	➡ 「HLG KNEE SW」 (124ページ参照)
	HLG TYPE	➡ 「HLG TYPE」 (124ページ参照)
	HLG MODE	➡ 「HLG MODE」 (124ページ参照)
	SDR CNVRT MD	➡ 「SDR CNVRT MD」 (124ページ参照)
	SHOOTING MODE	➡ 「SHOOTING MODE」 (125ページ参照)
	DNR LEVEL	➡ 「DNR LEVEL」 (125ページ参照)
	DNR SW	➡ 「DNR SW」 (125ページ参照)
	SDR CONVERT GAIN	➡ 「SDR CONVERT GAIN」 (125ページ参照)
	SDR CONVERT CLIP	➡ 「SDR CONVERT CLIP」 (125ページ参照)
	SDR CONVERT BLACK	➡ 「SDR CONVERT BLACK」 (125ページ参照)
	SDR CONVERT POINT	➡ 「SDR CONVERT POINT」 (125ページ参照)
	SDR CONVERT SLOPE	➡ 「SDR CONVERT SLOPE」 (125ページ参照)
46 LENS CONTROL	FOCUS	➡ 「FOCUS」 (126ページ参照)
	FOCUS SPEED	➡ 「FOCUS SPEED」 (126ページ参照)
	ZOOM	➡ 「ZOOM」 (126ページ参照)
	ZOOM SPEED	➡ 「ZOOM SPEED」 (126ページ参照)
	CONTROL SW	➡ 「CONTROL SW」 (126ページ参照)

01 PAINT SWITCH

設定値は接続したカメラによって異なります。

PAINT SWITCH			1 / 3
BLACK SHADING	WHITE SHADING	FLARE	
ON	ON	ON	
GAMMA	BLACK GAMMA	DRS	
OFF	OFF	OFF	

PAINT SWITCH			2 / 3
WHITE CLIP	KNEE	MATRIX	
OFF	OFF	OFF	
COLOR CORRECT	HD S.DTL	HD DTL	
ON	ON	ON	

PAINT SWITCH			3 / 3
UHD S.DTL	UHD DTL	SD DTL	
OFF	ON	ON	
PRESET MATRIX	LINEAR MATRIX		
NORM	ON		

項目	設定内容
BLACK SHADING	ブラックシェーディング（ノコギリ歯状波形またはパラボラ波形）の有効/無効を設定します。
WHITE SHADING	ホワイトシェーディング（ノコギリ歯状波形またはパラボラ波形）の有効/無効を設定します。
FLARE	フレアの有効/無効を設定します。
GAMMA	ガンマの有効/無効を設定します。
BLACK GAMMA	ブラックガンマの有効/無効を設定します。
DRS	ダイナミックレンジストレッチャー機能の有効/無効を設定します。有効にするとコントラストを自動調整します。
WHITE CLIP	ホワイトクリップの有効/無効を設定します。
KNEE	ニーの有効/無効を設定します。
MATRIX	マトリックス（リニアマトリックス/12軸色補正）の有効/無効を設定します。
COLOR CORRECT	12軸色補正の有効/無効を設定します。
HD S.DTL	HDの肌色ディテールの有効/無効を設定します。
HD DTL	HDディテールの有効/無効を設定します。
UHD S.DTL	UHDの肌色ディテールの有効/無効を設定します。
UHD DTL	UHDディテールの有効/無効を設定します。
SD DTL	SDディテールの有効/無効を設定します。
PRESET MATRIX	プリセットマトリックスを設定します。

項目	設定内容
LINEAR MATRIX	リニアマトリックスの有効/無効を設定します。

02 SCENE

設定値は接続したカメラによって異なります。

SCENE 1 / 3

SCENE1 (push)	SCENE2 (push)	SCENE3 (push)
OFF	OFF	OFF

SCENE4 (push)	SCENE5 (push)	SCENE6 (push)
OFF	OFF	OFF

SCENE 2 / 3

SCENE7 (push)	SCENE8 (push)
OFF	OFF

STORE

SCENE	EXECUTE
1	(push)

SCENE 3 / 3

EXT1 (push)	EXT2 (push)
NO?	NO?

BUTTON
SEL MODE

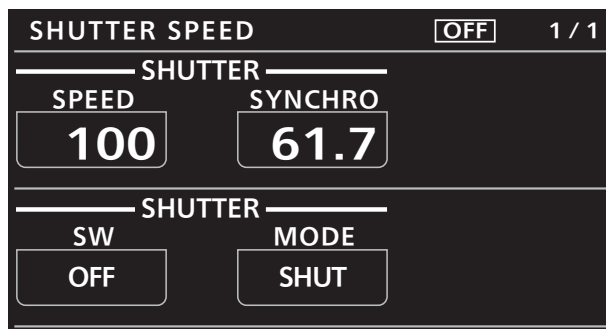
MODE1

項目	設定内容
SCENE 1	シーンファイルのON/OFFを設定します。
SCENE2	<ul style="list-style-type: none"> ● ONにすると、他のシーンファイルはOFFになります。 ● ONのシーンファイルを再度選択するとSCENE OFFになります。
SCENE3	
SCENE4	
SCENE5	
SCENE6	
SCENE7	
SCENE8	
STORE SCENE	
STORE EXECUTE	[STORE SCENE]に表示された番号のシーンファイルを実行します。
EXT 1	[SD CARD LOAD]で「EXT1」に読み込んだシーンデータを、カメラ、CCUに反映させます。この操作を行ったとき、シーンファイルはOFFになります。
EXT 2	[SD CARD LOAD]で「EXT2」に読み込んだシーンデータを、カメラ、CCUに反映させます。この操作を行ったとき、シーンファイルはOFFになります。
BUTTON SEL MODE	<p>パネルの[FILES]ボタン押下時の動作を逆にできます。</p> <p>MODE1 (デフォルト)</p> <p>短押し：シーンファイルの呼び出し 長押し：メニュー表示</p> <p>MODE2</p> <p>短押し：メニュー表示 長押し：シーンファイルの呼び出し</p>

03 SHUTTER SPEED

設定値は接続したカメラによって異なります。

設定値がリファレンスファイルと異なるときは、文字が橙色で表示されます。



項目	設定内容
SHUTTER SPEED	[SHUTTER MODE]が「SHUT」のときのシャッタースピードを設定します。
SHUTTER SYNCHRO	[SHUTTER MODE]が「SYNC」のときのシャッタースピードを設定します。
SHUTTER SW	シャッター機能の有効/無効を設定します。
SHUTTER MODE	シャッターの動作モードを選択します。 SHUT [SHUTTER SPEED]で設定されたシャッタースピードになります。 SYNC [SHUTTER SYNCHRO]で設定されたシャッタースピードになります。

04 FILTER

設定値は接続したカメラによって異なります。

設定値がリファレンスファイルと異なるときは、文字が橙色で表示されます。



項目	設定内容
ND	NDフィルターのポジションを設定します。
CC	CCフィルターのポジションを設定します。
HEAD	「ON」でカメラ側のフィルター制御を有効にします。 カメラの[FILTER LOCAL]スイッチを押して点灯させた場合も「ON」になります。

05 BLACK SHADING

設定値は接続したカメラによって異なります。

BLACK SHADING ON 1 / 3

H SAW

R
0

G
0

B
0

H PARA

R
0

G
0

B
0

BLACK SHADING ON 2 / 3

V SAW

R
0

G
0

B
0

V PARA

R
0

G
0

B
0

BLACK SHADING ON 3 / 3

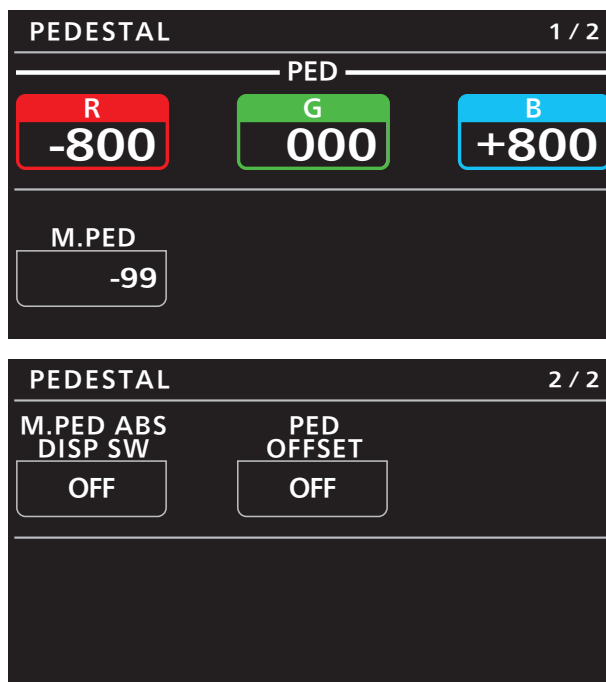
CORRECT

ON

項目	設定内容
H SAW R	R、G、Bchに対して、ノコギリ歯状波形を使って水平方向にブラックシェーディングのゲインを調整します。
H SAW G	
H SAW B	
H PARA R	R、G、Bchに対して、パラボラ波形を使って水平方向にブラックシェーディングのゲインを調整します。
H PARA G	
H PARA B	
V SAW R	R、G、Bchに対して、ノコギリ歯状波形を使って垂直方向にブラックシェーディングのゲインを調整します。
V SAW G	
V SAW B	
V PARA R	R、G、Bchに対して、パラボラ波形を使って垂直方向にブラックシェーディングのゲインを調整します。
V PARA G	
V PARA B	
CORRECT	ブラックシェーディング（のこぎり歯状波形またはパラボラ波形）の補正の有効/無効を設定します。

06 PEDESTAL

設定値は接続したカメラによって異なります。



項目	設定内容
PED R	マスターペダスタルに対して赤色の補正レベルを設定します。
PED G	マスターペダスタルに対して緑色の補正レベルを設定します。
PED B	マスターペダスタルに対して青色の補正レベルを設定します。
M.PED	設定されているマスターペダスタルの値を表示します。(設定はできません)
M. PED ABS DISP SW	マスターペダスタルの表示を設定します。 ON 絶対値 OFF 相対値
PED OFFSET	オートブラックバランスを調整したときの、Rch、Gch、Bch のペダスタルレベルを保持するかどうかを設定します。 ON [PED R]、[PED G]、[PED B]で設定した値を保持したままにします。 OFF [PED R]、[PED G]、[PED B]で設定を「0」にします。

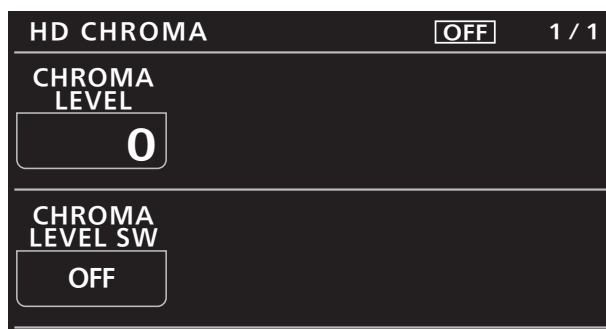
07 HD CHROMA

機器構成によって制御先が異なります。

- カメラがAK-UC4000の場合
カメラに対して制御します。
- カメラが上記以外の場合
システムフォーマットがUHDの場合は、CCUに対して制御します。それ以外の場合は、カメラに対して制御します。

設定値は接続したカメラによって異なります。

設定値がリファレンスファイルと異なるときは、文字が橙色で表示されます。



項目	設定内容
CHROMA LEVEL	クロマのゲインを調整します。
CHROMA LEVEL SW	クロマのゲイン調整の有効/無効を設定します。

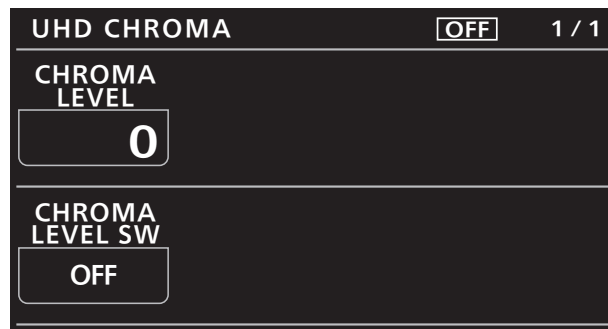
08 UHD CHROMA

機器構成によって制御先が異なります。

- カメラがAK-UC4000の場合
カメラに対して制御します。
- カメラが上記以外の場合
CCUに対して制御します。

設定値は接続したカメラによって異なります。

設定値がリファレンスファイルと異なるときは、文字が橙色で表示されます。

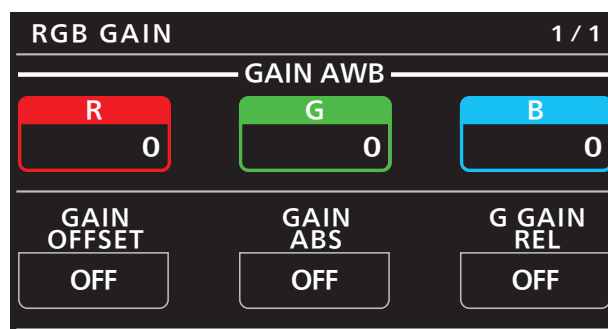


項目	設定内容
CHROMA LEVEL	クロマのゲインを調整します。
CHROMA LEVEL SW	クロマのゲイン調整の有効/無効を設定します。

09 RGB GAIN

設定値は接続したカメラによって異なります。

設定値がリファレンスファイルと異なるときは、文字が橙色で表示されます。

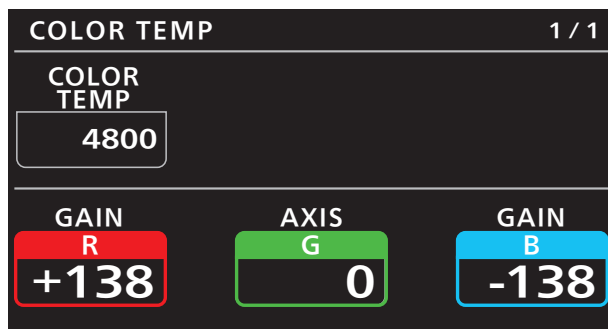


項目	設定内容
GAIN AWB R	ゲインに対して赤色の補正レベルを設定します。
GAIN AWB G	ゲインに対して緑色の補正レベルを設定します。
GAIN AWB B	ゲインに対して青色の補正レベルを設定します。
GAIN OFFSET	オートホワイトバランスを調整したときのRch、Gch、Bch のゲインレベルを保持するかどうかを設定します。 ON [GAIN AWB R]、[GAIN AWB G]、[GAIN AWB B]で設定した値を保持したままにします。 OFF [GAIN AWB R]、[GAIN AWB G]、[GAIN AWB B]の設定を「0」にします。
GAIN ABS	RGBゲインの絶対値表示をするかしないかを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 設定が「ON」の場合、[GAIN AWB R]、[GAIN AWB G]、[GAIN AWB B]の設定変更を行うと、[UNDO]ボタンは点灯しますがUNDO操作は行えませんのでご注意ください。
G GAIN REL	Gchゲインの相対値制御の有効/無効を設定します。

10 COLOR TEMP

設定値は接続したカメラによって異なります。

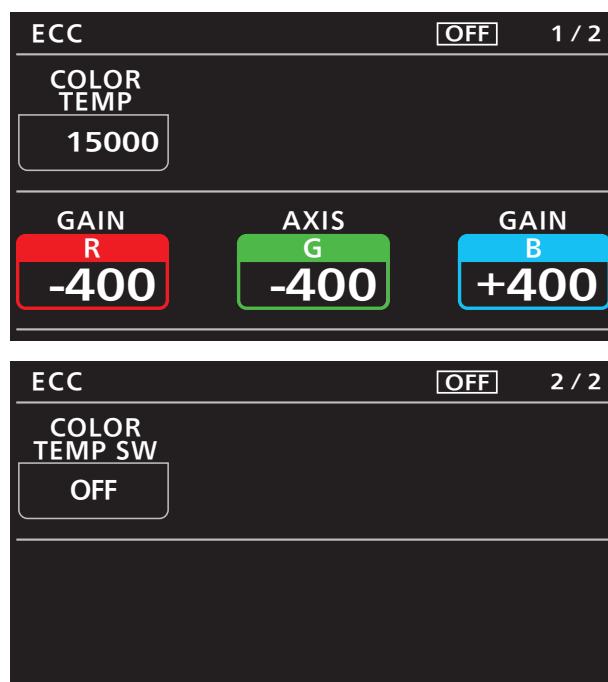
設定値がリファレンスファイルと異なるときは、文字が橙色で表示されます。



項目	設定内容
COLOR TEMP	色温度の設定を行います。
GAIN R	色温度に対して赤色の補正レベルを設定します。
AXIS G	色温度に対して緑色の補正レベルを設定します。
GAIN B	色温度に対して青色の補正レベルを設定します。

11 ECC

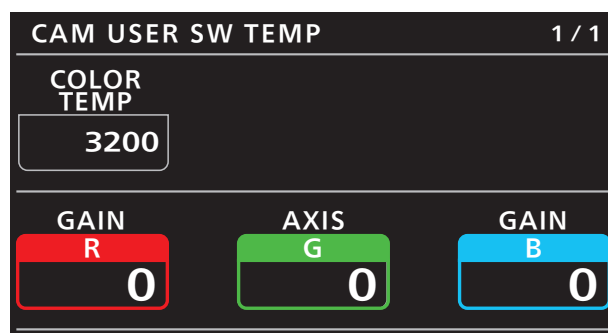
設定値は接続したカメラによって異なります。



項目	設定内容
COLOR TEMP	[COLOR TEMP SW]が「ON」のときの色温度を設定します。 高すぎたり、低すぎたりするときは、右側に矢印が表示されます。
GAIN R	色温度に対して赤色の補正レベルを設定します。
AXIS G	色温度に対して緑色の補正レベルを設定します。
GAIN B	色温度に対して青色の補正レベルを設定します。
COLOR TEMP SW	色温度を手動で調整時にONにします。

12 CAM USER SW TEMP

設定値は接続したカメラによって異なります。



項目	設定内容
COLOR TEMP	カメラの[USER 1]、[USER 2]、[USER 3]、[USER 4]ボタンのいずれかに「C.TEMP」を設定し、設定が有効になっているときの色温度を設定します。
GAIN R	色温度に対して赤色の補正レベルを設定します。
AXIS G	色温度に対して緑色の補正レベルを設定します。
GAIN B	色温度に対して青色の補正レベルを設定します。

13 WHITE SHADING

設定値は接続したカメラによって異なります。

WHITE SHADING OFF 1 / 3

H SAW

R
0

G
0

B
0

H PARA

R
0

G
0

B
0

WHITE SHADING OFF 2 / 3

V SAW

R
0

G
0

B
0

V PARA

R
0

G
0

B
0

WHITE SHADING OFF 3 / 3

CORRECT

OFF

項目	設定内容
H SAW R	R、G、Bchに対して、ノコギリ歯状波形を使って水平方向にホワイトシェーディングのゲインを調整します。
H SAW G	
H SAW B	
H PARA R	R、G、Bchに対して、パラボラ波形を使って水平方向にホワイトシェーディングのゲインを調整します。
H PARA G	
H PARA B	
V SAW R	R、G、Bchに対して、ノコギリ歯状波形を使って垂直方向にホワイトシェーディングのゲインを調整します。
V SAW G	
V SAW B	
V PARA R	R、G、Bchに対して、パラボラ波形を使って垂直方向にホワイトシェーディングのゲインを調整します。
V PARA G	
V PARA B	
CORRECT	ホワイトシェーディング（ノコギリ歯状波形またはパラボラ波形）の補正の有効/無効を設定します。

14 FLARE

設定値は接続したカメラによって異なります。

設定値がリファレンスファイルと異なるときは、文字が橙色で表示されます。

The image shows two screenshots of the FLARE menu. The top screenshot, labeled '1 / 2', shows the 'FLARE' menu with a yellow 'OFF' indicator and three sliders for R (red), G (green), and B (blue), all set to 0. Below these is an 'M.FLARE' slider also set to 0. The bottom screenshot, labeled '2 / 2', shows the 'FLARE' menu with a yellow 'OFF' indicator and a single 'FLARE OFF' toggle button.

項目	設定内容
FLARE R	Rchフレアを調整します。
FLARE G	Gchフレアを調整します。
FLARE B	Bchフレアを調整します。
M.FLARE	マスターフレアを調整します。
FLARE	フレア補正の有効/無効を設定します。

15 GAMMA

設定値は接続したカメラによって異なります。

設定値がリファレンスファイルと異なるときは、文字が橙色で表示されます。

GAMMA OFF 1 / 4

R 0 GAMMA MASTER 0.4500 **B** 0

INITIAL GAMMA 4.5

GAMMA OFF 2 / 4

GAMMA MODE HD

BLACK STRETCH 0 DYNAMIC LEVEL 500

GAMMA OFF 3 / 4

KNEE

POINT 30 SLOPE 150

GAMMA OFF ABB (push) NO?

GAMMA OFF 4 / 4

DRS

EFFECT. D 1 SW OFF

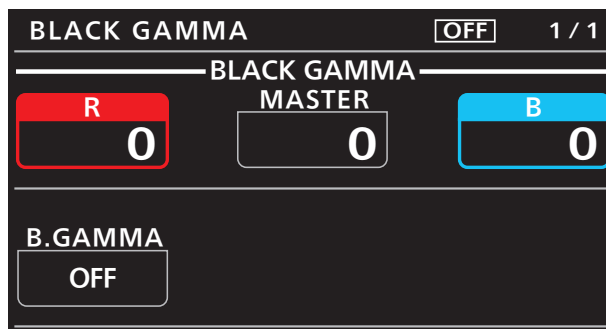
項目	設定内容
GAMMA R	マスターガンマに対して赤色のガンマ特性を調整します。
GAMMA MASTER	ガンマ特性を調整します。
GAMMA B	マスターガンマに対して青色のガンマ特性を調整します。
INITIAL GAMMA	ガンマの立ち上がり傾きを設定します。
GAMMA MODE	ガンマ特性の種類を設定します。
BLACK STRETCH	[GAMMA MODE] で「FILM REC」設定時、ガンマストレッチの位置を設定します。
DYNAMIC LEVEL	[GAMMA MODE] で「FILM REC」設定時、ダイナミックレンジを設定します。
KNEE POINT	[GAMMA MODE] で「VIDEO REC」設定時、ニーポイントを設定します。
KNEE SLOPE	[GAMMA MODE] で「VIDEO REC」設定時、ニースロープを設定します。
GAMMA	ガンマ補正の有効/無効を設定します。

項目	設定内容
ABB	[YES?]を選択すると、オートブラックバランス調整を実行します。 ブラックバランス調整中（点灯中）にボタンを長押しすると、調整を中止します。 （CCUのピクチャーモニター（PM）に「BREAK」が表示されます。）
DRS EFFECT.D	ダイナミックレンジストレッチャー機能の高輝度部の圧縮レベルを設定します。数値が大きいほど、高輝度部の圧縮レベルが大きくなります。
DRS SW	ダイナミックレンジストレッチャー機能の有効/無効を設定します。有効にするとコントラストを自動調整します。

16 BLACK GAMMA

設定値は接続したカメラによって異なります。

設定値がリファレンスファイルと異なるときは、文字が橙色で表示されます。



項目	設定内容
BLACK GAMMA R	マスターガンマに対して黒付近の赤色のガンマ特性を調整します。
BLACK GAMMA MASTER	黒付近のガンマ特性を調整します。
BLACK GAMMA B	マスターガンマに対して黒付近の青色のガンマ特性を調整します。
B.GAMMA	ブラックガンマの有効/無効を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • [PAINT SWITCH]の[DRS]が「ON」のときは設定できません。

17 KNEE

設定値は接続したカメラによって異なります。

設定値がリファレンスファイルと異なるときは、文字が橙色で表示されます。

KNEE
OFF
1 / 2

R
0.00

POINT(%)
MASTER
95.00

B
0.00

R
0

SLOPE
MASTER
130

B
0

KNEE
OFF
2 / 2

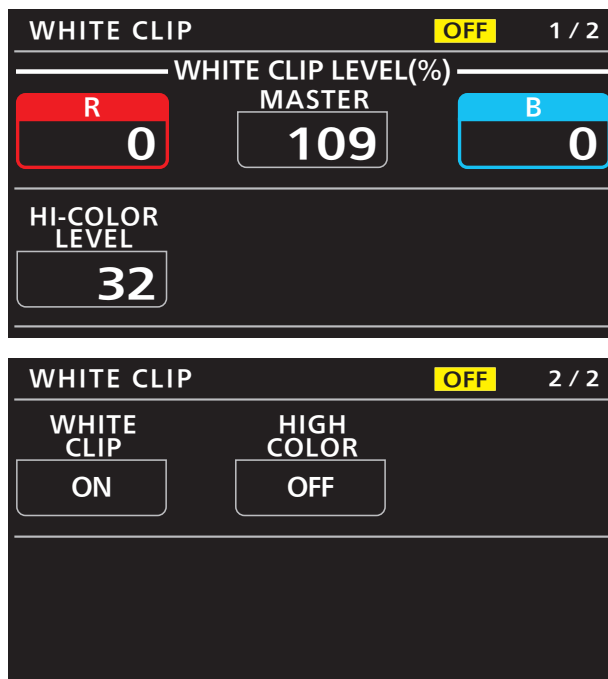
KNEE
OFF

項目	設定内容
POINT R	[POINT MASTER]に対して赤色のニーポイントを調整します。
POINT MASTER	ニーポイントの位置を設定します。
POINT B	[POINT MASTER]に対して青色のニーポイントを調整します。
SLOPE R	[SLOPE MASTER]に対して赤色のニーの傾きを調整します。
SLOPE MASTER	ニーの傾きを設定します。
SLOPE B	[SLOPE MASTER]に対して青色のニーの傾きを調整します。
KNEE	ニー機能の有効/無効を設定します。

18 WHITE CLIP

設定値は接続したカメラによって異なります。

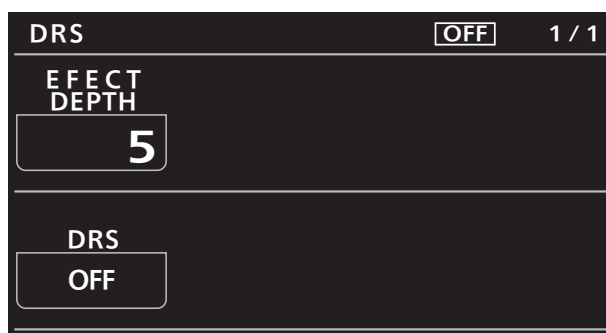
設定値がリファレンスファイルと異なるときは、文字が橙色で表示されます。



項目	設定内容
WHITE CLIP LEVEL R	[WHITE CLIP LEVEL MASTER]に対して赤色を調整します。
WHITE CLIP LEVEL MASTER	ホワイトクリップレベルを設定します。
WHITE CLIP LEVEL B	[WHITE CLIP LEVEL MASTER]に対して青色を調整します。
HI-COLOR LEVEL	色のダイナミックレンジを拡大するモードのレベルを設定します。
WHITE CLIP	ホワイトクリップの有効/無効を設定します。
HIGH COLOR	高輝度部分の色再現性を改善させるかどうかを設定します。

19 DRS

設定値は接続したカメラによって異なります。



項目	設定内容
EFFECT DEPTH	ダイナミックレンジストレッチャー機能の高輝度部の圧縮レベルを設定します。数値が大きいほど、高輝度部の圧縮レベルが大きくなります。
DRS	ダイナミックレンジストレッチャー機能の有効/無効を設定します。有効にするとコントラストを自動調整します。

20 HD DETAIL

機器構成によって制御先が異なります。

- カメラがAK-UC4000の場合
カメラに対して制御します。
- カメラが上記以外の場合
システムフォーマットがUHDの場合は、CCUに対して制御します。それ以外の場合は、カメラに対して制御します。

設定値は接続したカメラによって異なります。

設定値がリファレンスファイルと異なるときは、文字が橙色で表示されます。

HD DETAIL			OFF	1 / 4
MASTER DETAIL	DETAIL LV		H	V
0	15	15		
PEAK FRQ	V DETAIL FRQ	CRIP		
15.0	10	10		

HD DETAIL		OFF	2 / 4
LEVEL DEPENDENT	DARK DETAIL		
8	2		
DETAIL SOURCE			
(G+R)/2			

HD DETAIL		OFF	3 / 4
DETAIL			
GAIN(+)	GAIN(-)		
0	0		
DETAIL			
CLIP+	CLIP-		
0	0		

HD DETAIL			OFF	4 / 4
KNEE APERTURE	DETAIL KNEE			
5	0			
DETAIL	LV DPN SW	D.DTL SW		
OFF	OFF	OFF		

項目	設定内容
MASTER DETAIL	マスターディテールレベルを調整します。
DETAIL LV H	水平ディテールレベルを調整します。
DETAIL LV V	垂直ディテールレベルを調整します。
PEAK FRQ	水平ディテールのピーク周波数を設定します。
V DETAIL FRQ	V DETAILの周波数を設定します。

項目	設定内容
CRISP	ディテール信号のノイズ除去レベルを設定します。
LEVEL DEPENDENT	暗部のディテールを除去するレベルを設定します。
DARK DETAIL	暗部のディテールを強調するレベルを設定します。
DETAIL SOURCE	ディテール成分を作る源信号を選択します。
DETAIL GAIN (+)	ディテールの+（上）方向のレベルを変更します。
DETAIL GAIN (-)	ディテールの-（下）方向のレベルを変更します。
DETAIL CLIP+	ディテールの付きすぎによるぎらつきを抑えるため、ディテールクリップを調整します。
DETAIL CLIP-	ディテールエッジ成分のアンダーシュート部分の長さを制限します。
KNEE APERTURE	ニーの開口部のレベルを調整します。
DETAIL KNEE	ニーのディテール成分を調整します。
DETAIL	HDディテールの効果の有効/無効を設定します。
LV DPN SW	暗部のディテールを除去します。
D. DTL SW	暗部のディテールを強調します。

21 UHD DETAIL

機器構成によって制御先が異なります。

- カメラがAK-UC4000の場合
カメラに対して制御します。
- カメラが上記以外の場合
CCUに対して制御します。

設定値は接続したカメラによって異なります。

設定値がリファレンスファイルと異なるときは、文字が橙色で表示されます。

UHD DETAIL		OFF	1 / 3
MASTER DETAIL	DETAIL LV		
	H	V	
0	20	32	
PEAK FRQ	CRISP		
4	5		

UHD DETAIL		OFF	2 / 3
DETAIL			
CLIP+	CLIP-		
0	0		
KNEE APERTURE	DETAIL KNEE		
5	0		

UHD DETAIL		OFF	3 / 3
LEVEL DEPENDENT	DARK DETAIL		
8	0		
DETAIL	LV DPN SW	D.DTL SW	
OFF	OFF	OFF	

項目	設定内容
MASTER DETAIL	マスターディテールレベルを調整します。
DETAIL LV H	水平ディテールレベルを調整します。
DETAIL LV V	垂直ディテールレベルを調整します。
PEAK FRQ	輪郭補正帯域（ブースト周波数あるいはピーク周波数）を選択します。輪郭の太さが変更されます。
CRISP	ディテール信号のノイズ除去レベルの設定を行います。
DETAIL CLIP+	ディテールの付きすぎによるざらつきを抑えるため、ディテールクリップを調整します。
DETAIL CLIP-	ディテールエッジ成分のアンダーシュート部分の長さを制限します。
KNEE APERTURE	二一の開口部のレベルを調整します。
DETAIL KNEE	二一のディテール成分を調整します。
LEVEL DEPENDENT	暗部のディテールを除去します。 • [DARK DETAIL]と同時にできません。
DARK DETAIL	暗部のディテール強調のレベルを設定します。 • [LEVEL DEPENDENT]と同時に設定できません。
DETAIL	UHDディテールの効果の有効/無効を設定します。

項目	設定内容
LV DPN SW	暗部のディテールを除去します。
D. DTL SW	暗部のディテールを強調します。

22 SD DETAIL

機器構成によって制御先が異なります。

- カメラがAK-UC4000の場合
固定値が表示されます。設定変更はできません。
- カメラが上記以外の場合
CCUに対して制御します。それ以外の場合は、カメラに対して制御します。

設定値は接続したカメラによって異なります。

SD DETAIL		OFF	1 / 2
DETAIL LV			
H	V		
15	25		
PEAK1 FRQ	PEAK2 FRQ	CRISP	
4.0	OFF	0	

SD DETAIL		OFF	2 / 2
LEVEL DEPENDENT	DARK DETAIL		
0	0		
DETAIL			
OFF			

項目	設定内容
DETAIL LV H	水平ディテールレベルを調整します。
DETAIL LV V	垂直ディテールレベルを調整します。
PEAK1 FRQ	輪郭補正帯域（ブースト周波数あるいはピーク周波数）を選択します。輪郭の太さが変更されます。
PEAK2 FRQ	輪郭補正帯域（ブースト周波数あるいはピーク周波数）を選択します。輪郭の太さが変更されます。
CRISP	ディテール信号のノイズ除去レベルを設定します。
LEVEL DEPENDENT	暗部のディテールを除去するレベルを設定します。
DARK DETAIL	暗部のディテールを強調するレベルを設定します。
DETAIL	SDディテールの効果の有効/無効を設定します。

23 HD SKIN TONE DTL

機器構成によって制御先が異なります。

- カメラがAK-UC4000の場合
カメラに対して制御します。
- カメラが上記以外の場合
システムフォーマットがUHDの場合は、CCUに対して制御します。それ以外の場合は、カメラに対して制御します。

設定値は接続したカメラによって異なります。

設定値がリファレンスファイルと異なるときは、文字が橙色で表示されます。

HD SKIN TONE DTL		OFF	1 / 4
MEMORY SELECT	CURSOR	A	OFF
POS		H	V
50.00	50.00	SKIN GET (push)	

HD SKIN TONE DTL		OFF	2 / 4
ZEBRA SWITCH	ZEBRA EFFECT	OFF	A
EFFECT MEMORY		A	
SKIN TONE CRISP		+63	

HD SKIN TONE DTL		OFF	3 / 4
I CENTER	I WIDTH	87	20
Q WIDTH	Q PHASE	43	90

HD SKIN TONE DTL		OFF	4 / 4
SKIN TONE DETAIL		OFF	

項目	設定内容
MEMORY SELECT	肌色ディテールの設定値（CRISP、PHASE、WIDTH、SATURATION）を保存するメモリーを切り替えます。
CURSOR	肌色ディテールの効果対象とする彩度と色相情報を取得する位置カーソルの有効/無効を設定します。
POS H	水平方向のカーソルポジションを設定します。
POS V	垂直方向のカーソルポジションを設定します。

項目	設定内容
SKIN GET	カーソル位置から自動で彩度と色相情報を取得します。
ZEBRA SWITCH	PM出力のY信号に肌色ディテール効果をつける領域を認識できるよう、ゼブラをつけるか付けないかを設定します。
ZEBRA EFFECT	肌色ディテール効果をつけるメモリーを切り替えます。
EFFECT MEMORY	肌色ディテール効果をつけるメモリーを切り替えます。
SKIN TONE CRISP	肌色領域のディテール成分から微少のノイズ成分を除きます。
I CENTER	I 軸上の中心位置（スキントーンを効かせるエリア）を設定します。
I WIDTH	[I CENTER]を中心としたI 軸上のスキントーンを効かせるエリア幅を設定します。
Q WIDTH	肌色領域の幅を0～255の範囲で広げます。
Q PHASE	肌色領域の色相をベクトル表示0～359の範囲で変更します。
SKIN TONE DETAIL	肌色ディテール機能の有効/無効を設定します。

24 UHD SKIN TONE DTL

機器構成によって制御先が異なります。

- カメラがAK-UC4000の場合
カメラに対して制御します。
- カメラが上記以外の場合
CCUに対して制御します。

設定値は接続したカメラによって異なります。

設定値がリファレンスファイルと異なるときは、文字が橙色で表示されます。

UHD SKIN TONE DTL		OFF	1 / 4
MEMORY SELECT	CURSOR	A	OFF
POS		H	V
50.00	50.00	SKIN GET (push)	

UHD SKIN TONE DTL		OFF	2 / 4
ZEBRA SWITCH	ZEBRA EFFECT	EFFECT MEMORY	
OFF	A	A	
SKIN TONE CRISP			
+63			

UHD SKIN TONE DTL		OFF	3 / 4
I CENTER	I WIDTH		
87	20		
Q WIDTH	Q PHASE		
43	90		

UHD SKIN TONE DTL		OFF	4 / 4
SKIN TONE DETAIL			
OFF			

項目	設定内容
MEMORY SELECT	肌色ディテールの設定値（CRISP、PHASE、WIDTH、SATURATION）を保存するメモリーを切り替えます。
CURSOR	肌色ディテールの効果対象とする彩度と色相情報を取得する位置カーソルの有効/無効を設定します。
POS H	水平方向のカーソルポジションを設定します。
POS V	垂直方向のカーソルポジションを設定します。

項目	設定内容
SKIN GET	カーソル位置から自動で彩度と色相情報を取得します。
ZEBRA SWITCH	PM出力のY信号に肌色ディテール効果をつける領域を認識できるよう、ゼブラをつけるか付けないかを設定します。
ZEBRA EFFECT	肌色ディテール効果をつけるメモリーを切り替えます
EFFECT MEMORY	肌色ディテール効果をつけるメモリーを切り替えます。
SKIN TONE CRISP	肌色領域のディテール成分から微少のノイズ成分を除きます。
I CENTER	I 軸上の中心位置（スキントーンを効かせるエリア）を設定します。
I WIDTH	[I CENTER]を中心としたI 軸上のスキントーンを効かせるエリア幅を設定します。
Q WIDTH	肌色領域の幅を0～255の範囲で広げます。
Q PHASE	肌色領域の色相をベクトル表示0～359の範囲で変更します。
SKIN TONE DETAIL	肌色ディテール機能の有効/無効を設定します。

25 LINEAR MATRIX

設定値は接続したカメラによって異なります。

設定値がリファレンスファイルと異なるときは、文字が橙色で表示されます。

LINEAR MATRIX OFF 1 / 4

PRESET MATRIX	LINEAR TABLE	COLOR CORRECT
NORM	A	A

MATRIX(R-G)

P	N
0	0

LINEAR MATRIX OFF 2 / 4

MATRIX(R-B)

P	N
0	0

MATRIX(G-R)

P	N
0	0

LINEAR MATRIX OFF 3 / 4

MATRIX(G-B)

P	N
0	0

MATRIX(B-R)

P	N
0	0

LINEAR MATRIX OFF 4 / 4

MATRIX(B-G)

P	N
0	0

MATRIX	COLOR CORRECT	LINEAR MATRIX
OFF	OFF	OFF

項目	設定内容
PRESET MATRIX	プリセットマトリックスを設定します。
LINEAR TABLE	リニアマトリックスのテーブルを選択します。
COLOR CORRECT	色補正用テーブルを選択します。
MATRIX (R-G) P	赤と緑の間のリニアマトリックスを調整します。
MATRIX (R-G) N	[MATRIX]が「OFF」のときは使用できません。
MATRIX (R-B) P	赤と青の間のリニアマトリックスを調整します。
MATRIX (R-B) N	[MATRIX]が「OFF」のときは使用できません。
MATRIX (G-R) P	緑と赤の間のリニアマトリックスを調整します。
MATRIX (G-R) N	[MATRIX]が「OFF」のときは使用できません。

項目	設定内容
MATRIX (G-B) P	緑と青の間のリニアマトリックスを調整します。 [MATRIX]が「OFF」のときは使用できません。
MATRIX (G-B) N	
MATRIX (B-R) P	青と赤の間のリニアマトリックスを調整します。 [MATRIX]が「OFF」のときは使用できません。
MATRIX (B-R) N	
MATRIX (B-G) P	青と緑の間のリニアマトリックスを調整します。 [MATRIX]が「OFF」のときは使用できません。
MATRIX (B-G) N	
MATRIX	マトリックス機能の有効/無効を設定します。
COLOR CORRECT	12 軸色補正機能の有効/無効を設定します。
LINEAR MATRIX	リニアマトリックス機能の有効/無効を設定します。

26 COLOR CORRECTION

設定値は接続したカメラによって異なります。

設定値がリファレンスファイルと異なるときは、文字が橙色で表示されます。

COLOR CORRECTION			OFF	1 / 9
PRESET MATRIX	LINEAR TABLE	CORRECT TABLE		
NORM	A	A		
COLOR CORRECT	SAT	PHASE		
G	0	0		

COLOR CORRECTION			OFF	2 / 9
SAT G	PHASE G			
0	0			
SAT G_CY	PHASE G_CY			
0	0			

COLOR CORRECTION			OFF	3 / 9
SAT CY	PHASE CY			
0	0			
SAT CY_B	PHASE CY_B			
0	0			

COLOR CORRECTION			OFF	4 / 9
SAT B	PHASE B			
0	0			
SAT B_MG	PHASE B_MG			
0	0			

COLOR CORRECTION			OFF	5 / 9
SAT MG	PHASE MG			
0	0			
SAT MG_R	PHASE MG_R			
0	0			

COLOR CORRECTION OFF 6 / 9

SAT R PHASE R

SAT R_YE PHASE R_YE

COLOR CORRECTION OFF 7 / 9

SAT YE PHASE YE

SAT YE_G PHASE YE_G

COLOR CORRECTION OFF 8 / 9

CURSOR

POS

H V GET

COLOR CORRECTION OFF 9 / 9

MATRIX COLOR CORRECT LINEAR MATRIX

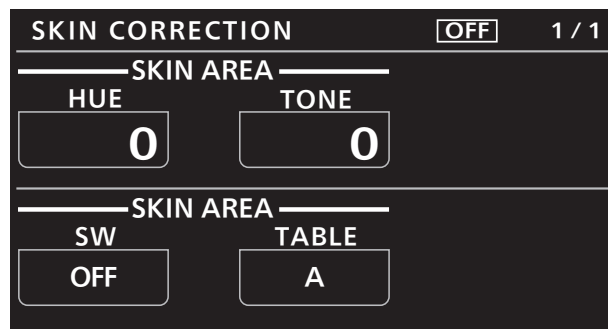
項目	設定内容
PRESET MATRIX	リニアマトリックス機能の有効/無効を設定します。
LINEAR TABLE	リニアマトリックスのテーブルを選択します。
CORRECT TABLE	色補正テーブルを選択します。
COLOR CORRECT	12軸マトリックスメモリーの調整する色成分を選択します。
SAT	[COLOR CORRECT]で選択した色成分の飽和度を調整します。
PHASE	[COLOR CORRECT]で選択した色成分の色相を調整します。

項目	設定内容
SAT G	12軸マトリックスメモリの各色成分の色飽和度を調整します。 <ul style="list-style-type: none"> • [COLOR CORRECT]が「OFF」のときは調整の効果が適用されません。
SAT G_CY	
SAT CY	
SAT CY_B	
SAT B	
SAT B_MG	
SAT MG	
SAT MG_R	
SAT R	
SAT R_YE	
SAT YE	
SAT YE_G	
PHASE G	
PHASE G_CY	
PHASE CY	
PHASE CY_B	
PHASE B	
PHASE B_MG	
PHASE MG	
PHASE MG_R	
PHASE R	
PHASE R_YE	
PHASE YE	
PHASE YE_G	
CURSOR	カメラの出力映像への、ボックスカーソルの表示/非表示を設定します。
POS H	カーソルの水平位置を調整します。
POS V	カーソルの垂直位置を調整します。
GET	カーソル位置から自動で色情報を取得し、色合せしたい軸の情報を[COLOR CORRECT]に反映します。
MATRIX	マトリックス機能の有効/無効を設定します。
COLOR CORRECT	12 軸色補正機能の有効/無効を設定します。
LINEAR MATRIX	リニアマトリックス機能の有効/無効を設定します。

27 SKIN CORRECTION

設定値は接続したカメラによって異なります。

設定値がリファレンスファイルと異なるときは、文字が橙色で表示されます。



項目	設定内容
SKIN AREA HUE	スキンエリアの色相を微調整します。
SKIN AREA TONE	スキンエリアのトーンを微調整します。
SKIN AREA SW	肌色付近の色を微調整する機能の有効/無効を設定します。
SKIN AREA TABLE	スキンエリアのテーブルを選択します。

28 DNR

設定値は接続したカメラによって異なります。

設定値がリファレンスファイルと異なるときは、文字が橙色で表示されます。

DNR	OFF	1 / 1
DNR LEVEL	3	
DNR SW	OFF	

項目	設定内容
DNR LEVEL	ノイズリダクションのレベルを設定します。
DNR SW	ノイズリダクション機能の有効/無効を設定します。

29 IRIS RELATIVE

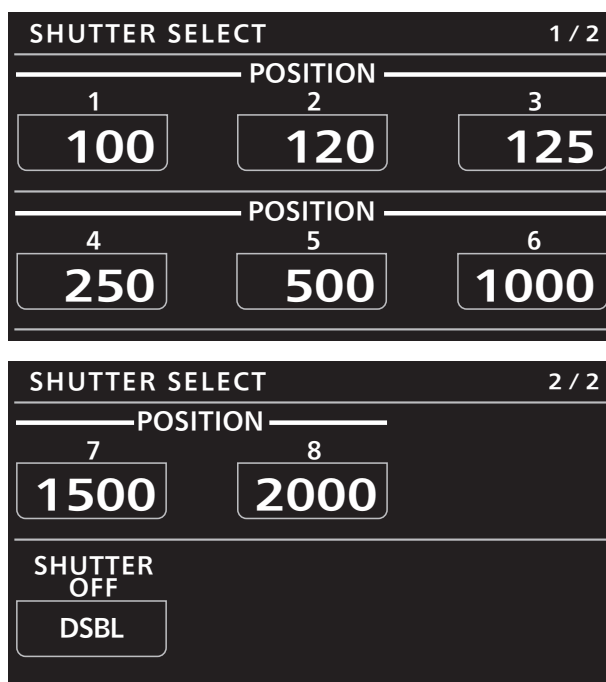
設定値は接続したカメラによって異なります。

IRIS RELATIVE		1 / 1
SENSE	0	COARSE
	0	
RELATIVE		
OFF		

項目	設定内容
SENSE	アイリスレバー中心から上端、下端に動かしたときのアイリス可変範囲を調整します。 メニュー操作ダイヤルを、押しながら回すと設定値を大きく変更できます。
COARSE	アイリスレバーを中心にしたときのアイリス値を調整します。 メニュー操作ダイヤルを、押しながら回すと設定値を大きく変更できます。
RELATIVE	「ON」のとき、アイリスレバーの可変範囲を[SENSE]および[COARSE]の設定に依存せず、OPENからCLOSEまでの全域にします。

30 SHUTTER SELECT

設定値は接続したカメラによって異なります。



項目	設定内容
POSITION1	[POSITION1]~[POSITION8]のシャッタースピードを設定します。
POSITION2	
POSITION3	
POSITION4	
POSITION5	
POSITION6	
POSITION7	
POSITION8	
SHUTTER OFF	シャッターポジションを切り替えるときに、シャッターOFFを含めるか選択します。

31 LENS FILE/EDIT

設定値は接続したカメラによって異なります。

LENS FILE/EDIT 1 / 7

LENS FILE SW OFF FILE No. OFF

FILE NAME -

LENS FILE/EDIT 2 / 7

MODE LOAD

EXECUTE NO?

LENS FILE/EDIT 3 / 7

EXTENDER x1 FILE No. OFF

FILE NAME -

LENS FILE/EDIT 4 / 7

FLARE

R 0 G 0 B 0

GAIN

R 0 B 0

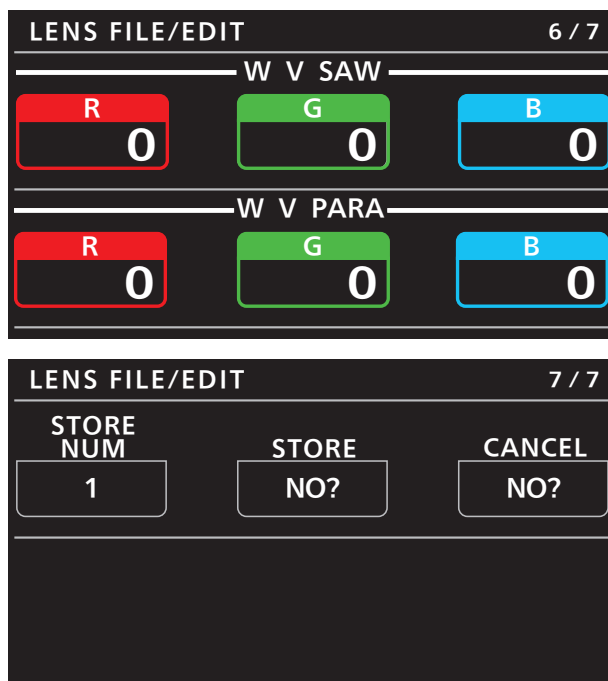
LENS FILE/EDIT 5 / 7

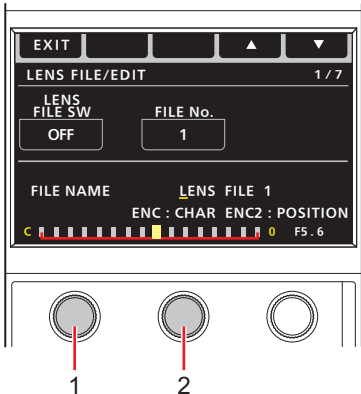
W H SAW

R 0 G 0 B 0

W H PARA

R 0 G 0 B 0

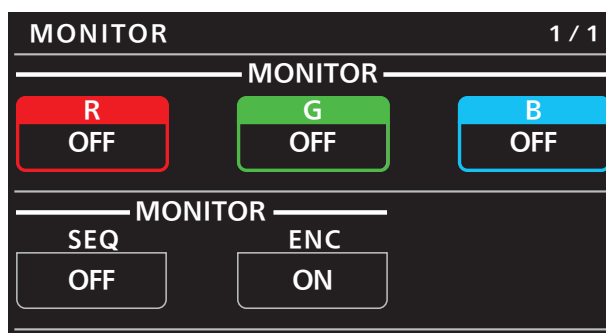


項目	設定内容
LENS FILE SW	LENSファイルの有効/無効を設定します。
FILE No.	ファイルを選択します。
FILE NAME	<p>[FILE No.]で指定した番号のファイル名が表示されます。 [MODE]の設定が「STORE」のときは、ファイル名を変更できます。 メニュー操作ダイヤル1、2でファイル名変更の操作を行います。</p>  <p>メニュー操作ダイヤル1（左端）：文字の変更を行います。 メニュー操作ダイヤル2（中央）：修正する文字を選択します。</p>
MODE	現時点のレンズファイルをカメラ内に保存（STORE）するか、またはカメラ内に保存されているレンズファイルを読み出すか（LOAD）を選択します。
EXECUTE	<p>[MODE]が「LOAD」のとき ファイルを読み出します。</p> <p>[MODE]が「STORE」のとき ファイルを保存します。</p>
EXTENDER	レンズエクステンダーの現在の倍率を設定します。
FILE No.	[FILE No.]で指定した番号のファイル名が表示されます。
FILE NAME	現在読み込み中のレンズファイルの名称を表示します。
FLARE R	表示データのRフレアを調整します。
FLARE G	表示データのGフレアを調整します。
FLARE B	表示データのBフレアを調整します。
GAIN R	表示データのRゲインを調整します。
GAIN B	表示データのBゲインを調整します。

項目	設定内容
W H SAW R	表示データのR、G、Bch ホワイトシェーディングを、ノコギリ歯状波形を使って水平方向に調整します。
W H SAW G	
W H SAW B	
W H PARA R	表示データのR、G、Bch ホワイトシェーディングを、パラボラ波形を使って水平方向に調整します。
W H PARA G	
W H PARA B	
W V SAW R	表示データのR、G、Bch ホワイトシェーディングを、ノコギリ歯状波形を使って垂直方向に調整します。
W V SAW G	
W V SAW B	
W V PARA R	表示データのR、G、Bch ホワイトシェーディングを、パラボラ波形を使って垂直方向に調整します。
W V PARA G	
W V PARA B	
STORE NUM	登録するLENSファイルの番号を指定します。
STORE	[FLARE R/G/B]、[GAIN R/B]、[W H SAW R/G/B]、[W H PARA R/G/B]、[W V SAW R/G/B]、[W V PARA R/G/B]の設定を[FILE No.]で指定したレンズファイルに保存します。
CANCEL	[FLARE R/G/B]、[GAIN R/B]、[W H SAW R/G/B]、[W H PARA R/G/B]、[W V SAW R/G/B]、[W V PARA R/G/B]の設定を破棄し、変更前の状態に戻します。

32 MONITOR

設定値は接続したCCUによって異なります。



項目	設定内容
MONITOR R	RモニターをON/OFFします。
MONITOR G	GモニターをON/OFFします。
MONITOR B	BモニターをON/OFFします。
MONITOR SEQ	SEQモニターをON/OFFします。
MONITOR ENC	ENCモニターをON/OFFします。

33 SYSTEM CAM

設定値は接続したカメラによって異なります。

SYSTEM CAM		1 / 5
FORMAT		
1080/59.94p		
TALK OFF		
INCOM1 (push)	INCOM2 (push)	

SYSTEM CAM		2 / 5
MIC1		
GAIN 60	LINE LV 0	AMP 0
MIC2		
GAIN 60	LINE LV 0	AMP 0

SYSTEM CAM		3 / 5
SHOOTING MODE NORMAL	CAM FAN NORMAL	
TALLY GUARD OFF		

SYSTEM CAM		4 / 5
ASU FILTER CURR	ASU MODE FULL	ASU M.PED TARGET 3.0
ASU REF. FILE FCTRY	REF. RECALL USER1	CABLE CONNECT HYBRID

SYSTEM CAM		5 / 5
HEAD PW (push) ON	VF PW (push) ON	CTRL ROTATION Mode1
TALLY		
CONTROL OFF	INPUT CAM1	

項目	設定内容
FORMAT	カメラのフォーマットを設定します。本機をCCUと接続している場合には、表示のみとなります。
TALK OFF INCOM1	INCOM1のTALKをOFFにします。

項目	設定内容
TALK OFF INCOM2	INCOM2のTALKをOFFにします。
MIC1 GAIN	MIC1のゲインを粗調整します。
MIC1 LINE LV	カメラの〈MIC 1〉端子への入力レベルを調整します。
MIC1 AMP	MIC1のゲインを微調整します。 (1 dB刻み)
MIC2 GAIN	MIC2のゲインを粗調整します。
MIC2 LINE LV	カメラの〈MIC 2〉端子への入力レベルを調整します。
MIC2 AMP	MIC2のゲインを微調整します。 (1 dB刻み)
SHOOTING MODE	撮影モードを設定します。
CAM FAN	カメラの空冷ファンの動作を設定します。
TALLY GUARD	ON設定ではASU、AWB、ABBの自動系動作が、タリーON中にはガードされ無効になります。
ASU FILTER	オートセットアップ起動時のND/CCフィルターの動作を設定します。 REF リファレンスファイルに設定してあるフィルターで起動します。 CURRENT 起動前のフィルター位置でオートセットアップが起動します。
ASU MODE	オートセットアップモード設定を選択します。
ASU M. PED TARGET	オートセットアップを起動したときにマスターペダスタルを収束させる位置を設定します。
REF.RECALL	[REF. RECALL]ボタンを押したときに呼び出すリファレンスファイルを設定します。
CABLE CONNECT	CCUと接続するケーブルの設定を表示します。設定変更はカメラ本体のメニューから行ってください。 HYBRID 光ファイバermalチケーブルでのCCUとの接続を意味します。 FIBER 光ファイバケーブルのみでのCCUとの接続を意味します。
HEAD PW	カメラの電源をリモート制御します。ただし、CCUおよびカメラの電源が入っていない場合は制御できません。 押すたびにカメラの電源ON/OFFが切り替わります。
VF PW	ビューファインダーの電源をリモート制御します。本機でカメラの電源をONにした場合は、ビューファインダーの電源も同時にONになります。 押すたびにビューファインダーの電源ON/OFFが切り替わります。
CTRL ROTATION	数値を基準として操作するモードと、効果を基準として操作するモードがあります。詳しくはカメラの説明書をご覧ください。
TALLY CONTROL	<PREVIEW>端子からタリーの入力があるときに、カメラに通知するかどうかを設定します。 「ON」に設定すると、[TALLY INPUT]で設定したカメラを選択時、タリーの入力があると通知します。 ● [CONNECT SETTING]で「Serial」、「LAN」、「Serial(AK)」、「LAN(AK)」以外が設定されているときに有効となります。
TALLY INPUT	[TALLY CONTROL]を「ON」に設定時、タリーの入力を通知するカメラを設定します。 ● [CONNECT SETTING]で「Serial」、「LAN」、「Serial(AK)」、「LAN(AK)」以外が設定されているときに有効となります。

34 SYSTEM CCU

設定値は接続したCCUによって異なります。

SYSTEM CCU 1 / 5

FORMAT

2160/29.97PsF

RETURN1 SELECT	RETURN2 SELECT	RETURN3 SELECT
RET1	RET2	RET3

SYSTEM CCU 2 / 5

RETURN4 SELECT	RETURN FS	CAMERA NUMBER
RET4	OFF	1
D/C MODE	U/C MODE	
SC	SC	

SYSTEM CCU 3 / 5

BARS

HD	SD
ARIB	SMPTE
C/B SETUP	SDI8 OUT
COMPST	PM

SYSTEM CCU 4 / 5

HD H

COARSE	FINE
-127	-100
SD H	
COARSE	FINE
-30	-100

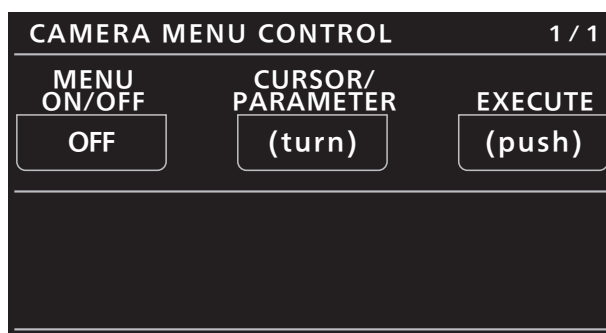
SYSTEM CCU 5 / 5

SD-HD V	SCH	CABLE CONNECT
0H	180	HYBRID
FORMAT MODE(push)		
UHD(59.94)		

項目	設定内容
FORMAT	CCUから出力するフォーマットを選択します。 ここで選択したフォーマットを元に、CCUがカメラにフォーマットを指定します。
RETURN1 SELECT	リターン信号1の入力割付を設定します。
RETURN2 SELECT	リターン信号2の入力割付を設定します。
RETURN3 SELECT	リターン信号3の入力割付を設定します。
RETURN4 SELECT	リターン信号4の入力割付を設定します。
RETURN FS	HDリターン信号の遅延モードを設定します。
CAMERA NUMBER	CCUで管理しているカメラ番号を変更します。
D/C MODE	SD SDI、VBSから出力される映像のダウンコンバート方式を選択します。
U/C MODE	SD SDIおよびVBSリターン映像に適用される映像のアップコンバート方式を選択します。
BARS HD	CCUで出力するHDのカラーバーを指定します。
BARS SD	CCUで出力するSDのカラーバーを指定します。
C/B SETUP	カラーバー出力時のSD信号の出力を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 「SD_SDI」選択時は、「SETUP7.5%」が無効になります。
SDI8 OUT	SDI8 OUTのPM/NORMALを切り替えます。
HD H COARSE	GL HD REF時のH_FINE位相を大まかに設定します。
HD H FINE	GL HD REF時のH_FINE位相を細かく設定します。
SD H COARSE	GL SD REF時のH_FINE位相を大まかに設定します。
SD H FINE	GL SD REF時のH_FINE位相を細かく設定します。
SD-HD V	ダウンコンバートSD REF時の垂直位相を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> CCUの[24PsF GL MODE]の設定が「NORMAL」の場合は、「OH」固定となります。 CCUの[24PsF GL MODE]の設定が「ADVANCE」の場合は、「OH_SD_DLAY」固定となります。 1080/59.94i(24P)の場合は、「OH」固定となります。
SCH	VBS出力のSCH位相を調整します。
CABLE CONNECT	カメラと接続するケーブルの設定を表示します。設定変更はCCU本体のメニューから行ってください。 HYBRID 光ファイバermalケーブルでのカメラとの接続を意味します。 FIBER 光ファイバケーブルのみでのカメラとの接続を意味します。
FORMAT MODE (push)	CCUのフォーマットモードを選択します。

35 CAMERA MENU CONTROL

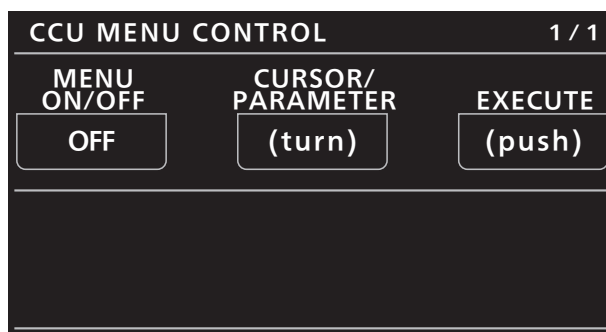
本メニューは、CCUのピクチャーモニター（PM）の設定値が720pのときには操作が行えません。



___ は、工場出荷時の設定です。

項目	設定値	設定内容
MENU ON/OFF	OFF ON	メニューのON / OFFを行います。
CURSOR/PARAMETER	-	メニューのカーソル移動もしくは設定値変更の操作を行います。
EXECUTE	-	選択された処理を決定します。

36 CCU MENU CONTROL



____ は、工場出荷時の設定です。

項目	設定値	設定内容
MENU ON/OFF	OFF ON	メニューのON / OFFを行います。
CURSOR/PARAMETER	-	メニューのカーソル移動もしくは設定値変更の操作を行います。
EXECUTE	-	選択された処理を決定します。

37 ROP SETTING

ROP SETTING 1 / 7

IRIS LEV MODE ABS	M.PED CONT IRIS	LOCK SELECT PUSH
AUTO BUTTON AWB	G/M PED VOL M . PED	FREE +LOCK SETUP

ROP SETTING 2 / 7

CAM SEL (push) CAM1	DTL BUTTON UHD	SKIN VOL UHD
LCD BRIGHT 10	PANEL BRIGHT 3	B.GAMMA VOL HDR

ROP SETTING 3 / 7

BUZZER ON	PERIOD 0	CYCLE 0.3
— STD POSITION —		
M.GAIN 0	VAR 0.0	

ROP SETTING 4 / 7

— STD POSITION —		IRIS PRIORITY
ND 2	CC A	NON
— ROP DATA —		SD CARD FORMAT
SAVE NO?	LOAD NO?	NO?

ROP SETTING 5 / 7

INITIAL with NW NO?	INITIAL NO?	
UPGRADE NO?	— IRIS CALIBRATION —	
	TOP NO?	BOTTOM NO?

ROP SETTING		6 / 7
SYSTEM VERSION	2.00-00-0.06	
SOFT VERSION	2.00-00-0.06	

ROP SETTING		7 / 7
FPGA VERSION	1.00-00-0.00	

___ は、工場出荷時の設定です。

項目	設定値	設定内容
IRIS LEV MODE	ABS RLTV	アイリス操作の制御に対して、絶対値か相対値かを選択します。 ABS：絶対値制御。 RLTV：相対値制御。
M.PED CONT	IRIS DISP	マスターペダスタルの調整を、パネルのマスターペダスタルダイヤルで行えるか行えないかを設定します。
LOCK SELECT	LOCK FREE PUSH M.PED	[SEL]ダイヤルを長押ししたときロックされる対象を設定します。
AUTO BUTTON	AWB ABB AUTO SETUP	[AUTO]ボタンを押したときに実行される機能を設定します。
G/M PED VOL	M.PED G.PED	[PED]、[FLARE]、[B.GAM]調整部でペダスタルを調整するときの内容を設定します。 「M.PED」：マスターペダスタルを調整するとき 「G.PED」：[PED R]、[PED G]、[PED B]を調整するとき
FREE+LOCK	SETUP IRIS LV PAINT	[PANEL LOCK]ボタンと[UP (FREE)]ボタンを同時に長押ししたときに部分ロックされる対象を設定します。
CAM SEL	CAM1～CAM99	接続するカメラの切り替えができます。
DTL BUTTON	UHD HD SD	パネルにあるディテール操作の制御対象を選択します。 UHD：UHDのディテールを制御します。 HD：HDのディテールを制御します。 SD：SDのディテールを制御します。
SKIN VOL	UHD HD SD S.CORR	パネルにある肌色ディテール操作の制御対象を選択します。 UHD：UHDの肌色ディテールを制御します。 HD：HDの肌色ディテールを制御します。 SD：SDの肌色ディテールを制御します。（[CONNECT SETTING]で「Serial(AK)」、「LAN(AK)」が設定されているときに有効となります。） S.CORR：[SKIN CORRECTION]の[HUE]、[TONE]、[TABLE]を制御します。
LCD BRIGHT	1～20	液晶パネルの輝度を設定します。
PANEL BRIGHT	1～5	パネルのボタンの輝度を設定します。
B.GAMMA VOL	SDR HDR	パネルにあるブラックガンマ操作の制御対象を選択します。 SDR：[BLACK GAMMA]メニューのブラックガンマを制御します。 HDR：[HDR-PAINT]メニューのブラックガンマを制御します。
BUZZER	OFF ON	ブザー音（操作音/コール音）の有効、無効を設定します。

項目	設定値	設定内容
PERIOD	0~5	[PERIOD] [CYCLE]は、[CAMERA CCU]での[CALL]が放されたときからの時間になります。
CYCLE	0.3 0.5 1.0	PERIOD：点滅時間(秒単位) CYCLE：点滅周期（1.0の場合は500 msec消灯 → 500 msec点灯の繰り返し）になります。
STD POSITION M.GAIN	-6~0~+36	マスターゲイン (M.GAIN) のスタンダードポジションを設定します。
STD POSITION VAR	-2.9~0.0~+2.9	マスターゲイン (M.GAIN) のステップ値のスタンダードポジションを設定します。
STD POSITION ND	1~2~5	NDフィルターのスタンダードポジションを設定します。
STD POSITION CC	A~E	CCフィルターのスタンダードポジションを設定します。
IRIS PRIORITY	NON Serial LAN	アイリス制御を優先するかどうかを設定します。 NON アイリス制御を優先しません。 カメラのアイリスの位置と、ROPの[IRIS]レバーの位置が不一致の場合、ROPの[IRIS]レバーの位置をカメラのアイリスの位置に合わせてください。 Serial カメラのアイリスの位置と、ROPの[IRIS]レバーの位置が不一致の場合、シリアル接続でのROPの[IRIS]レバー位置を基準に操作します。 LAN カメラのアイリスの位置と、ROPの[IRIS]レバーの位置が不一致の場合、IP接続でのROPの[IRIS]レバー位置を基準に操作します。 • 1台のカメラに対して複数のROPがIPで接続され、各ROPの[IRIS PRIORITY]の設定が「LAN」の場合、それぞれのROPからのアイリス操作がダイレクトに行なえてしまいますのでご注意ください。
ROP DATA SAVE	NO? YES?	本機の設定情報を保存します。 対象は以下のメニューです。 [ROP SETTING][CONNECT SETTING][CAMERA IP SETTING] [ROP IP SETTING] • 処理が完了するまでは、本機の電源を切ったり、SDカードを抜いたりしないでください。
ROP DATA LOAD	NO? YES?	本機の設定情報を読み込みます。 対象は以下のメニューです。 [ROP SETTING][CONNECT SETTING][CAMERA IP SETTING] [ROP IP SETTING] • 処理が完了するまでは、本機の電源を切ったり、SDカードを抜いたりしないでください。
SD CARD FORMAT	NO? YES?	SDカードの初期化を行います。
INITIAL with NW	NO? YES?	本機の設定を工場出荷時の設定に戻します。 対象は以下のメニューです。 [ROP SETTING][CONNECT SETTING][CAMERA IP SETTING] [ROP IP SETTING]
INITIAL	NO? YES?	本機の設定を初期値に戻します。 対象は以下のメニューです。 [ROP SETTING]
UPGRADE	NO? YES?	本機のソフトウェアをアップデートします。 • 処理が完了するまでは、本機の電源を切ったり、SDカードを抜いたりしないでください。
IRIS CALIBRATION TOP	-	IRIS CALIBRATIONはアイリスレバーの稼働範囲を調整します。 アイリスレバーをOPEN端まで移動した時に、[IRIS CALIBRATION TOP]を実行し、CLOSE端まで移動したときに[IRIS CALIBRATION BOTTOM]を実行します。
IRIS CALIBRATION BOTTOM		
SYSTEM VERSION	(バージョン表示)	システムのバージョンを表示します。
SOFT VERSION	(バージョン表示)	ソフトのバージョンを表示します。
FPGA VERSION	(バージョン表示)	FPGAのバージョンを表示します。

38 CONNECT SETTING

CONNECT SETTING 1 / 17

CONNECT MODE(push)

CAM1	CAM2	CAM3
Serial	NON	NON

CONNECT MODE(push)

CAM4	CAM5	CAM6
NON	NON	NON

CONNECT SETTING 2 / 17

CONNECT MODE(push)

CAM7	CAM8	CAM9
NON	NON	NON

CONNECT MODE(push)

CAM10	CAM11	CAM12
NON	NON	NON



CONNECT SETTING 17 / 17

CONNECT MODE(push)

CAM97	CAM98	CAM99
NON	NON	NON

____ は、工場出荷時の設定です。

項目	設定値	設定内容
CONNECT MODE CAM1	NON Serial LAN Serial(AK) LAN(AK) Serial(AW) LAN(AW)	カメラ1の接続方式を設定します。 設定変更後に、メニュー操作ダイヤルを押すことで変更内容を反映します。 Serial、LAN：AK-HC5000シリーズ、AK-UC3000シリーズ、AK-UC4000シリーズと接続するときに選択します。 Serial(AK)、LAN(AK)：AK-HC3500Aシリーズ、AK-HC3800シリーズと接続するときに選択します。 Serial(AW)、LAN(AW)：AK-UB300シリーズと接続するときに選択します。 <ul style="list-style-type: none"> 「Serial」、「Serial(AK)」、「Serial(AW)」は複数のカメラに設定を行えませぬ。
CONNECT MODE CAM2~CAM99	NON Serial LAN Serial(AK) LAN(AK) Serial(AW) LAN(AW)	カメラ2~99の接続方式を設定します。 設定変更後に、メニュー操作ダイヤルを押すことで変更内容を反映します。 Serial、LAN：AK-HC5000シリーズ、AK-UC3000シリーズ、AK-UC4000シリーズと接続するときに選択します。 Serial(AK)、LAN(AK)：AK-HC3500Aシリーズ、AK-HC3800シリーズと接続するときに選択します。 Serial(AW)、LAN(AW)：AK-UB300シリーズと接続するときに選択します。 <ul style="list-style-type: none"> 「Serial」、「Serial(AK)」、「Serial(AW)」は複数のカメラに設定を行えませぬ。

NOTE

- AK-UB300は、システムのバージョンが07.0A-000-00.00以降で、接続可能です。

39 ROP IP SETTING

ROP IP SETTING 1 / 4

IP ADDRESS

1 2 3

192 168 0

IP ADDRESS

4 PORT UPLOAD

130 35200 (push)

ROP IP SETTING 2 / 4

SUBNET MASK

1 2 3

255 255 255

SUBNET MASK

4 UPLOAD

0 (push)

ROP IP SETTING 3 / 4

DEFAULT GATEWAY

162 168 0

DEFAULT GATEWAY

1 UPLOAD

(push)

ROP IP SETTING 4 / 4

MAC ADDRESS **_**_**_**_**_**_**

項目	設定内容
IP ADDRESS 1	<p>本機のIPアドレスを設定します。 以下の範囲で設定できます。 (工場出荷時：192.168.0.130)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 第1オクテット：1～223 ● 第2オクテット：0～255 ● 第3オクテット：0～255 ● 第4オクテット：1～254 <p>ただし、以下のアドレスは設定不可です。 設定時に設定値をチェックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 0.***, ***.0, ***.255, 127.0.0.1 ● クラスDアドレス(224.0.0.0～239.255.255.255) ● クラスEアドレス(240.0.0.0～255.255.255.255)
IP ADDRESS 2	
IP ADDRESS 3	
IP ADDRESS 4	

項目	設定内容
IP ADDRESS PORT	本機のポートを設定します。 35200～35599の数値が設定可能です。 (工場出荷時：35200)
IP ADDRESS UPLOAD	メニュー操作ダイヤルを押すと、本機のIPアドレス、ポートが設定されます。
SUBNET MASK 1	本機のサブネットマスクを設定します。 以下の数値が設定できます。 (工場出荷時：255.255.255.0) <ul style="list-style-type: none"> ● 第1オクテット：128、192、224、240、248、252、254、255 ● 第2オクテット：0、128、192、224、240、248、252、254、255 ● 第3オクテット：0、128、192、224、240、248、252、254、255 ● 第4オクテット：0、128、192、224、240、248、252、254、255
SUBNET MASK 2	
SUBNET MASK 3	
SUBNET MASK 4	
SUBNET MASK UPLOAD	メニュー操作ダイヤルを押すと、本機のサブネットマスクが設定されます。
DEFAULT GATEWAY	本機のデフォルトゲートウェイを設定します。 以下の範囲で設定できます。 (工場出荷時：192.168.0.1) <ul style="list-style-type: none"> ● 第1オクテット：1～223 ● 第2オクテット：0～255 ● 第3オクテット：0～255 ● 第4オクテット：1～254 ただし、以下のアドレスは設定不可です。 設定時に設定値をチェックします。 <ul style="list-style-type: none"> ● 0.***、***.0、***.255、127.0.0.1 ● クラスDアドレス(224.0.0.0～239.255.255.255) ● クラスEアドレス(240.0.0.0～255.255.255.255)
DEFAULT GATEWAY UPLOAD	メニュー操作ダイヤルを押すと、本機のデフォルトゲートウェイが設定されます。
MAC ADDRESS	本機のMACアドレスが表示されます。(表示のみ)

 **NOTE**

- 設定変更後に[UPLOAD]を行うことで設定値を内部に記憶します。各画面で[UPLOAD]を行ってください。記憶した設定値は、本機を再起動することで有効となります。

40 CAMERA IP SETTING

CAMERA IP SETTING				1 / 99
CAM1 IP ADDRESS				
1	2	3		
192	168	0		
CAM1 IP ADDRESS PORT				UPLOAD
4				(push)
20	49152			

CAMERA IP SETTING				2 / 99
CAM2 IP ADDRESS				
1	2	3		
192	168	0		
CAM2 IP ADDRESS PORT				UPLOAD
4				(push)
21	49152			

}

CAMERA IP SETTING				99 / 99
CAM99 IP ADDRESS				
1	2	3		
192	168	0		
CAM99 IP ADDRESS PORT				UPLOAD
4				(push)
118	49152			

項目	設定内容
CAM1～CAM99 IP ADDRESS	<p>カメラのIPアドレスを設定します。 以下の範囲で設定できます。 (工場出荷時：CAM1を192.168.0.20とし、順に割り振っています。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 第1オクテット：1～223 ● 第2オクテット：0～255 ● 第3オクテット：0～255 ● 第4オクテット：1～254 <p>ただし、以下のアドレスは設定不可です。 設定時に設定値をチェックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 0.***、***.0、***.255、127.0.0.1 ● クラスDアドレス(224.0.0.0～239.255.255.255) ● クラスEアドレス(240.0.0.0～255.255.255.255)
CAM1～CAM99 PORT	<p>カメラのポートを設定します。 1～65535の数値が設定可能です。 (工場出荷時：49152)</p>
CAM1～CAM99 INF UPLOAD	メニュー操作ダイヤルを押すと、カメラのIPアドレス、ポートが設定されます。

 NOTE

- 設定変更後に[UPLOAD]を行うことで設定値が反映されます。各画面で[UPLOAD]を行ってください。[UPLOAD]を行わない場合には本機に反映されません。

41 SD CARD STORE

SD CARD STORE			1 / 1
MODE	SELECT	FILE	NUMBER
STORE	ALL		-
EXECUTE			
NO?			

項目	設定値	設定内容
MODE	FORMAT STORE	SDカードの初期化、読み込みまたは保存を選択します。
FILE SELECT	ALL SCENE USER LENS REF	保存するファイルの種別を選択します。 ALL シーンファイル (SCENE1～SCENE8)、ユーザーファイル (USER1～USER3)、リファレンスユーザーファイル (REF1～REF3)、レンズファイル (LENS1～LENS32) のすべてのファイルを対象とします。 SCENE シーンファイル (SCENE1～SCENE8) を対象とします。 USER ユーザーファイル (USER1～USER3) を対象とします。 LENS レンズファイル (LENS1～LENS32) を対象とします。 REF リファレンスユーザーファイル (REF1～REF3) を対象とします。
FILE NUMBER	SCENE : CURR, 1～8 USER : 1～3 LENS : 1～32 REF : 1～3	[FILE SELECT]で指定したファイル種別を元にデータを選択します。 [FILE SELECT]で「ALL」を選択した場合は選択できません。 ● 「CURR」はCURRENTを表しています。
EXECUTE	NO? YES?	「YES?」を選択すると、実行します。

NOTE

- 本機は時計機能がないため、保存したファイルの作成日時はカメラ側でファイル保存した日時で設定されます。
- 処理が完了するまでは、本機の電源を切ったり、SDカードを抜いたりしないでください。

42 SD CARD LOAD

SD CARD LOAD		1 / 1
FILE SELECT	ALL	GET FILE (push)
PUT FILE	—	EXECUTE
		NO?

項目	設定値	設定内容
FILE SELECT	ALL ALL SCENE SCENE ALL USER USER ALL LENS LENS ALL REF REF	読み込むファイルの種別を選択します。 ALL 保存時に、「ALL」で保存したデータを読み込みます。 ALL SCENE 「ALL」で保存したすべてのシーンファイル (SCENE1～SCENE8) のデータを対象とします。 SCENE 1つのシーンファイルを読み込みます。 ALL USER 「ALL」で保存したすべてのユーザーファイル (USER1～USER3) のデータを対象とします。 USER 1つのユーザーファイルのデータを読み込みます。 ALL LENS 「ALL」で保存したすべてのレンズファイル (LENS1～LENS32) のデータを対象とします。 LENS 1つのレンズファイルを読み込みます。 ALL REF 「ALL」で保存したすべてのリファレンスユーザーファイル (REF1～REF3) のデータを対象とします。 REF 1つのリファレンスユーザーファイルのデータを読み込みます。
GET FILE	-	メニュー操作ダイヤルを押すと、[FILE SELECT]で選択されている種別のデータをメモリーカードから読み込み、ファイル名の一覧が表示されます。 ファイルの一覧からファイルを選択してメニュー操作ダイヤルを押すと、元の画面に戻り[GET FILE]に選択したデータのファイル名が表示されます。
PUT FILE	CURR SCENE1～SCENE8 EXT1 EXT2 USER1～USER3 LENS1～LENS32 REF1～REF3	LOAD先の種別を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> 「CURR」はCURRENTを表しています。 [FILE SELECT]が「ALL」、「ALL SCENE」、「ALL USER」、「ALL REF」、「ALL LENS」の場合は選択できません。 [FILE SELECT]が「SCENE」の場合、「SCENE1」～「SCENE8」と「EXT1」、「EXT2」が選択できます。「EXT1」、「EXT2」を選択した場合のみ、読み込んだデータは本機に保存され、SCENE FILEの[EXT1]ボタンおよび[EXT2]ボタンを押したときにカメラ、CCUに反映されます。 ➡ 「前面パネル4」 (27ページ参照) [FILE SELECT]が「USER」の場合、「USER1」～「USER3」が選択できます。 [FILE SELECT]が「LENS」の場合、「LENS1」～「LENS32」が選択できます。 [FILE SELECT]が「REF」の場合、「REF1」～「REF3」が選択できます。
EXECUTE	NO? YES?	「YES?」を選択すると、選択したデータを読み込みます。

 **NOTE**

- 本機は時計機能がないため、保存したファイルの作成日時はカメラ側でファイル保存した日時で設定されます。
- 処理が完了するまでは、本機の電源を切ったり、SDカードを抜いたりしないでください。

43 REFERENCE



項目	設定値	設定内容
REF.CALL (push)	FCTRY USER1～USER3 REF1～REF3	基準設定情報（リファレンスファイル）を呼び出します。
REF.DL EXEC	-	ROPにリファレンスファイルのデータを読み込みます。ただしカメラとCCUは、リファレンスファイルの設定が反映されません。
STORE REF	USER1～USER3 REF1～REF3	現在の設定値を、選択したファイルに上書き保存します。
STORE EXECUTE	-	リファレンスファイルの保存を実行します。

44 AUTO IRIS SETTING

AUTO IRIS SETTING		1 / 2
WONDOW SELECT	PEAK RATIO	
FULL	50	
IRIS		
GAIN	SPEED	LEVEL
LENS	15	+50

AUTO IRIS SETTING			2 / 2
IRIS RANGE	LENS EXT COMP SW	LENS EXT COMP LV	
NORMAL	OFF	0	

項目	設定内容
WINDOW SELECT	測光範囲を設定します。
PEAK RATIO	オートアイリス測光のピーク値と平均値の割合を設定します。
IRIS GAIN	オートアイリスの測光速度の調整を、レンズのアイリスゲインボリュームから行うか、メニューから行うかを切り替えます。通常は[LENS]に設定して、レンズのアイリスボリュームで調整します。
IRIS SPEED	オートアイリススピードを設定します。
IRIS LEVEL	オートアイリスの目標値（明るさ）を調整します。
IRIS RANGE	アイリスレバーによるオートアイリスレベルの微調整範囲を設定します。
LENS EXT COMP SW	レンズエクステンダーが有効のときALC補正を設定します。
LENS EXT COMP LV	レンズエクステンダーが有効のときALC 補正量を設定します。

45 HDR-PAINT

設定値は接続したカメラによって異なります。

設定値がリファレンスファイルと異なるときは、文字が橙色で表示されます。

HDR-PAINT 1 / 4

HLG BLACK GAMMA

R 0 MASTER 0 B 0

HLG B.GAMMA OFF

HDR-PAINT 2 / 4

HLG KNEE

POINT 80.00 SLOPE 130

HLG

KNEE SW ON TYPE NORMAL

HDR-PAINT 3 / 4

HLG MODE FIX SDR CNVRT MD FIX

SHOOTING MODE NORMAL DNR LEVEL 3 SW ON

HDR-PAINT 4 / 4

SDR CONVERT

GAIN 0 CLIP - BLACK 0

SDR CONVERT

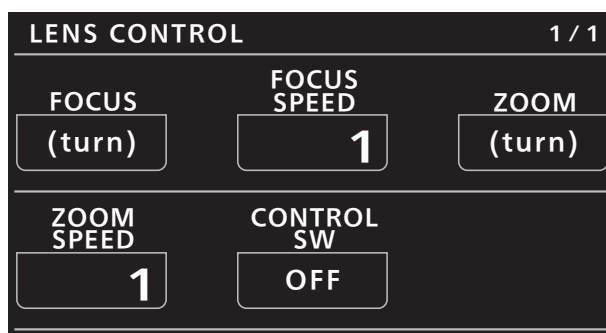
POINT 0 SLOPE 0

項目	設定内容
HLG BLACK GAMMA R	マスターガンマに対して黒付近の赤色のガンマ特性を調整します。
HLG BLACK GAMMA MASTER	黒付近のガンマ特性を調整します。
HLG BLACK GAMMA B	マスターガンマに対して黒付近の青色のガンマ特性を調整します。
HLG B.GAMMA	ブラックガンマの有効/無効を設定します。
HLG KNEE POINT	[GAMMA MODE]で「VIDEO REC」設定時、ニーポイントを設定します。
HLG KNEE SLOPE	[GAMMA MODE]で「VIDEO REC」設定時、ニースロープを設定します。
HLG KNEE SW	ニー機能の有効/無効を設定します。
HLG TYPE	HLGタイプを設定します。
HLG MODE	HLGモードを設定します。
SDR CNVRT MD	SDR CONVERTモードを設定します。

項目	設定内容
SHOOTING MODE	撮影モードを設定します。
DNR LEVEL	ノイズリダクションのレベルを設定します。
DNR SW	ノイズリダクション機能の有効/無効を設定します。
SDR CONVERT GAIN	SDRのゲインを設定します。
SDR CONVERT CLIP	SDRのクリップを設定します。 <ul style="list-style-type: none">● AK-UC4000以外のカメラと接続しているときに有効です。（AK-UC4000と接続している場合は「-」と表示されます。）
SDR CONVERT BLACK	SDR映像の黒レベルのオフセットを調整します。 <ul style="list-style-type: none">● AK-UC4000と接続しているときに有効です。（別のカメラと接続している場合は「-」と表示されます。）
SDR CONVERT POINT	SDRのポイントを設定します。 <ul style="list-style-type: none">● AK-UC4000と接続しているときに有効です。（別のカメラと接続している場合は「-」と表示されます。）
SDR CONVERT SLOPE	SDRのスロープを設定します。 <ul style="list-style-type: none">● AK-UC4000と接続しているときに有効です。（別のカメラと接続している場合は「-」と表示されます。）

46 LENS CONTROL

AK-UC4000のときに有効です。



項目	設定内容
FOCUS	手動でレンズのフォーカスを調整します。
FOCUS SPEED	フォーカスの動作速度を調整します。
ZOOM	手動でレンズのズームを調整します。
ZOOM SPEED	ズームの動作速度を調整します。
CONTROL SW	本機からのレンズの制御を有効/無効にします。 <ul style="list-style-type: none"> 「OFF」設定時はカメラ側でレンズを制御します。

ソフトウェア

IP接続

IP接続の手順について

本機とCCUをソフトウェアを使って設定する方法について説明します。

IP接続時のシステム構成については下記のページを参照してください。

➡ 「システム接続構成」 (17ページ参照)

接続の流れ

1. ソフトウェアのインストール

パーソナルコンピューターに、本機に付属の「IP簡単設定ソフトウェア」と「ROPセットアップソフトウェア」をインストールする

- 「IP簡単設定ソフトウェア」は、ROPやCCUのIPアドレスを設定するツールです。「ROPセットアップソフトウェア」は、ROPの各種設定(システム設定)を設定するツールです。
- パーソナルコンピューターによる設定を行う場合は、本機に付属の「IP簡単設定ソフトウェア」を使います。

➡ 「IP簡単設定ソフトウェア」 (129ページ参照)

➡ 「ROPセットアップソフトウェア」 (131ページ参照)

2. 機器の接続

本機とCCUをPoE対応スイッチングハブ(100base-TX)経由で、LANケーブルで接続する

- IP設定用のパーソナルコンピューターを接続する必要があるため、必ずスイッチングハブ経由で接続してください。また、本機はPoE給電で動作いたしますので、PoE対応のスイッチングハブをご使用ください。

➡ 「IP接続」 (18ページ参照)

3. パーソナルコンピューターの接続、設定

スイッチングハブ(100base-TX)にLANケーブルでパーソナルコンピューターを接続する
パーソナルコンピューターのネットワーク設定を行う

- パーソナルコンピューターのネットワーク設定は、本機、CCUと同セグメントにしてください。

➡ 「パーソナルコンピューターの接続、設定」 (127ページ参照)

4. 機器のIPアドレスを設定

接続する機器のIPアドレスを「メニューによる設定」、「IP簡単設定ソフトウェアによる設定」のいずれかの方法で設定する。

- メニューによる設定は、各機器のメニュー操作で設定してください。メニュー操作のしかたは各機器の取扱説明書を参照してください。

➡ 「機器のIPアドレスの設定」 (128ページ参照)

5. ROPの各種設定

ROPセットアップソフトウェアを使って各種設定を行う

本機に付属の「ROPセットアップソフトウェア」をパソコンにインストールしてください。

IP接続されているROPの各種設定が可能です。

- 同一システム内のROPのリスト作成
- ROPのシステム設定
- 接続認証の設定

6. 運用を開始する

IP接続の設定について

運用中にIP簡単設定ソフトウェア、ROPセットアップソフトウェアを起動させないでください。ROPの接続が切れ、運用に支障をきたすおそれがあります。

パーソナルコンピューターの接続、設定

「IP簡単設定ソフトウェア」と「ROPセットアップソフトウェア」をインストールしたパーソナルコンピューターをIP接続します。

パーソナルコンピューターのネットワーク設定を行います。

パーソナルコンピューターのネットワーク設定は、接続する機器と同一セグメントに設定してください。

推奨設定は以下のとおりです。

IPアドレス	192.168.0.200 <ul style="list-style-type: none"> 他の機器と重複している場合は変更してください。
--------	--------------------------------------------------------------------------------------------

サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.0.1

機器のIPアドレスの設定

メニュー操作による設定

本機（ROP）のIPアドレスは、ROPメニューの[ROP IP SETTING]で設定します。

➡ 「39 ROP IP SETTING」（117ページ参照）

CCUのIPアドレスは、CCUの取扱説明書を参照してください。

IP簡単設定ソフトウェアによる設定

IP簡単設定ソフトウェアを使用して各機器のIPアドレスを設定します。

➡ 「IP簡単設定ソフトウェア」（129ページ参照）

ROPの各種設定

ROPセットアップソフトウェアを使用して、各種設定を行います。

➡ 「ROPセットアップソフトウェア」（131ページ参照）

IP簡単設定ソフトウェア

ソフトウェアのインストールと起動

IP簡単設定ソフトウェア（EasyIPSetup.exe）は、付属のCD-ROMに収録されています。

付属のCD-ROM内の「Readme.txt」を必ずお読みのうえ、ソフトウェアをインストールしてください。

1. 本機に付属しているCD-ROMを、インストールするパーソナルコンピュータのCD-ROMドライブに入れる
2. CD-ROMに収録されている[EasyIPSetup]フォルダーを、フォルダーごとパーソナルコンピュータのハードディスクにコピーする
3. コピーした[EasyIPSetup]フォルダー内の[EasyIPSetup.exe]をダブルクリックする
IP簡単設定ソフトウェアが起動します。

機器のIPアドレスを設定する

IP簡単設定ソフトウェアを使用して各機器のIPアドレスを設定します。

- 本ソフトウェアでは、ROPおよびCCUもカメラとして表示されます。
- Microsoft® Windows® Vistaをご使用の場合、IP簡単設定ソフトウェアを起動すると、管理者アカウントのパスワードを要求されることがあります。この場合は、コントロールパネルから[ユーザーアカウント制御]を無効にしてください。
- IP簡単設定ソフトウェアは、ルーターを経由した異なるサブネットからは使用できません。
- IPv6には対応しておりません。

設定手順

1. IP簡単設定ソフトウェアを起動する
IP接続されている機器の一覧が表示されます。
2. 設定するROP、CCUのMACアドレスをクリックし、[ネットワーク設定]ボタンをクリックする



- IPアドレスが競合している場合、該当するカメラのMACアドレスが影付きで表示されます。
3. ネットワークの各項目を入力し、[保存]ボタンをクリックする
 - [接続モード]を「固定IP」に設定します。
 - [IPv4アドレス]、[サブネットマスク]、[デフォルトゲートウェイ]を入力します。
 - その他の設定項目については変更しないでください。

- [保存]ボタンをクリック後、CCU、ROPへの設定が完了するまで約2分かかります。設定が完了する前にACアダプターやLANケーブルを抜くと、設定内容が無効になります。再度、設定をやり直してください。
- ネットワークの設定後、同じネットワーク内に存在する他の機器とIPアドレスが重複すると、正しく動作しません。IPアドレスが重複しないように設定してください。
- 複数のIP簡単設定ソフトウェアから同時にネットワークの設定を行わないでください。

NOTE

- CCUのネットワーク設定は、CCUのメニューより設定してください。（詳細はCCUの取扱説明書を参照してください。）CCUは設定変更が完了してから再起動してください。

ファイアウォールについて

- ファイアウォール（ソフトウェア含む）を導入している場合、全ポートに対してUDPのアクセスを許可してください。
- ファイアウォールが有効に設定されている場合は、ファイアウォールによるプログラムの許可を設定してください。

1. コントロールパネルを起動し[システムとセキュリティ]をクリックする
2. [Windowsファイアウォール]の[Windowsファイアウォールによるプログラムの許可]をクリックする
3. [Internet Explorer]または[EasyIpSetup]の行を選択してから[設定の変更(N)]をクリックのうえ、[Internet Explorer]または[EasyIpSetup]にチェックを入れる
4. [OK]をクリックする

ROPセットアップソフトウェア

ROPセットアップソフトウェア (HRP1005Tool.exe) は、付属のCD-ROMに収録されています。

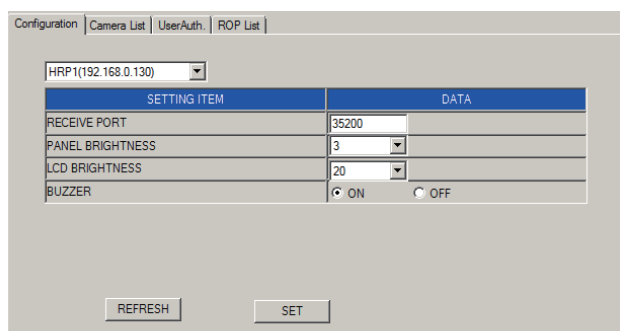
付属のCD-ROM内の「Readme.txt」を必ずお読みのうえ、ソフトウェアをインストールしてください。

1. 本機に付属しているCD-ROMを、インストールするパーソナルコンピューターのCD-ROMドライブに入れる
2. CD-ROMに収録されている[ROPSetup]フォルダーを、フォルダーごとパーソナルコンピューターのハードディスクにコピーする
3. コピーした[ROPSetup]フォルダー内の[HRP1005Tool.exe]をダブルクリックする
ROPセットアップソフトウェアが起動します。

ROPセットアップソフトウェアを使用して、本機の各種設定を行います。

はじめに、[ROP List]タブの画面でROPセットアップソフトウェアへ本機の登録を行います。

登録が完了すると、[Configuration]タブ、[Camera List]タブ、[UserAuth.]タブの画面で各種設定ができます。



ROPセットアップソフトウェアを起動したときは、[Configuration]タブが最初に表示されます。必要なタブをクリックして切り替え、登録や設定を行ってください。

ROPセットアップソフトウェアのご使用に関するお知らせ

ROPセットアップソフトウェアを使ってパーソナルコンピューターで設定を行っているときは、以下の内容にご注意ください。

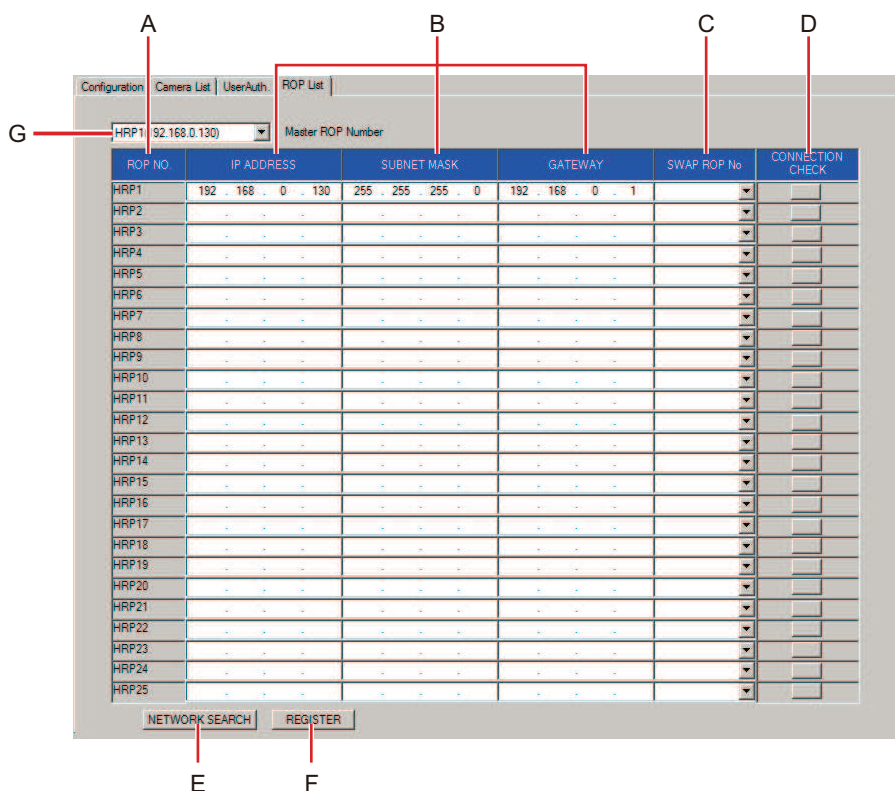
- 本機がセットアップモード中はROPセットアップソフトウェアを起動できません。
- 同一ネットワーク上の他のパーソナルコンピューターで、ROPセットアップソフトウェアを起動させないでください。
- セットアップソフトウェアで接続設定を行った場合、設定データをバックアップすることをお勧めします。
➡ 「ROP DATA SAVE」 (115ページ参照)

ROPセットアップソフトウェアへ本機を登録する[ROP List]

[ROP List]タブで、ROPセットアップソフトウェアから設定を行う本機のIPアドレスを、[HRP1]に登録します。

本機をネットワークに複数台接続する場合は、1台を[HRP1]に登録後、ネットワークに接続されている他のROP (AK-HRP1005) を登録します。

ここで登録したROPは、[Camera List]タブのリストボックスから選択することができます。最大25台まで登録することができます。



- A. ROP NO.欄[ROP NO.]
- B. IPアドレス欄[IP ADDRESS] [SUBNET MASK] [GATEWAY]
- C. SWAP ROP No.欄[SWAP ROP No]
- D. CONNECTION CHECKボタン[CONNECTION CHECK]
- E. NETWORK SEARCHボタン[NETWORK SEARCH]
- F. REGISTERボタン[REGISTER]
- G. 設定対象選択リストボックス[Master ROP Number]

設定手順

1. [HRP1]のIPアドレスを設定する

1. [ROP NO.]欄 (A) の[HRP1]の行に、登録する本機のIPアドレスを入力する
2. [REGISTER]ボタン (F) をクリックして、[HRP1]の設定を確定する

2. 複数台の接続を設定する

次の2通りの設定方法があります。

- [HRP1]の設定と同じ手順で、設定されているIPアドレスをIPアドレス欄[IP ADDRESS] [SUBNET MASK] [GATEWAY] (B) に入力する。
- [NETWORK SEARCH]ボタン (E) をクリックして同一セグメント上にあるROPの情報を取得する。
[HRP2]～[HRP25]に一覧が表示されます。

それぞれ、接続の情報が正しければ、[REGISTER]ボタン (F) をクリックして、情報を確定します。[Master ROP Number] (G) のリストボックスに、設定されたROPが表示されます。

- 一覧のROP NO.を変更したい場合は、下記のページをご覧ください。
➡ 「一覧のROP NOを変更する」 (132ページ参照)

3. ネットワークでROPの接続確認をする

確認するROP NO.の行にある[CONNECTION CHECK]ボタン (D) をクリックします。

- 正常に通信ができているときは、該当するROPのタリーディスプレイのレッドタリーが、約3秒間点滅します。点滅しない場合は、設定や接続を確認してください。

一覧のROP NOを変更する

上記の手順2で、一覧のROP NO.を変更したい場合は、2つのROP NO.の間で接続先として設定されているROPを入れ替えます。

1. [SWAP ROP No]欄 (C) の▼をクリックする

ROP NO.[HRP2]～[HRP25]が表示されます。

2. 入れ替えを行いたいROP NO.を選択する

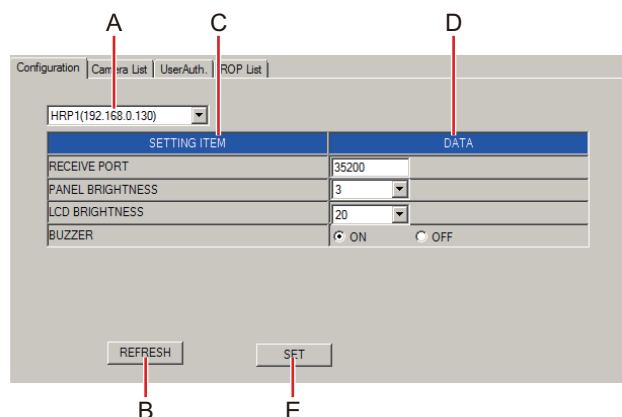
3. [REGISTER]ボタン (F) をクリックして変更を確定する

- [REGISTER]ボタン (F) を押した後の設定に必要な時間は、接続しているROPの台数によって増加します。25台接続時は、最大10分かかります。

本機の機器設定を行う [Configuration]

[Configuration]タブで本機の機器設定を行います。

本機にパーソナルコンピュータを初めて接続したときは、まず[REFRESH]ボタン (B) をクリックし、本機に設定されている値を取得してください。



- A. 設定対象選択リストボックス [Master ROP Number]
- B. REFRESHボタン [REFRESH]
- C. 設定項目 [SETTING ITEM]
- D. DATA欄 [DATA]
- E. SETボタン [SET]

設定手順

1. 設定する本機 (ROP) を選択する。
[Master ROP Number] (A) の▼をクリックすると、設定を行うことができるROPのIPアドレスのリストが表示されます。この中から、設定を行いたいROPのIPアドレスを選択します。
リストは、[ROP List]タブで登録したROPが選択対象となります。
2. [Configuration]タブの表示を更新する。
[REFRESH]ボタン (B) をクリックし、本機に設定されている接続情報をパーソナルコンピュータに取り込み、[Configuration]タブの表示を更新します。
3. 機器設定を行う。
手順1で選択したROPの設定項目 [SETTING ITEM] (C) が表示されます。
[DATA]欄 (D) で必要な項目の設定を行ってください。

RECEIVE PORT	受信ポートを設定します。
PANEL BRIGHTNESS	パネル面LED表示の輝度を設定します。
LCD BRIGHTNESS	液晶画面の輝度を設定します。
BUZZER	ブザー音 (操作音/コール音) の有効、無効を設定します。

- 上記項目は、本体のセットアップモードでも設定可能です。

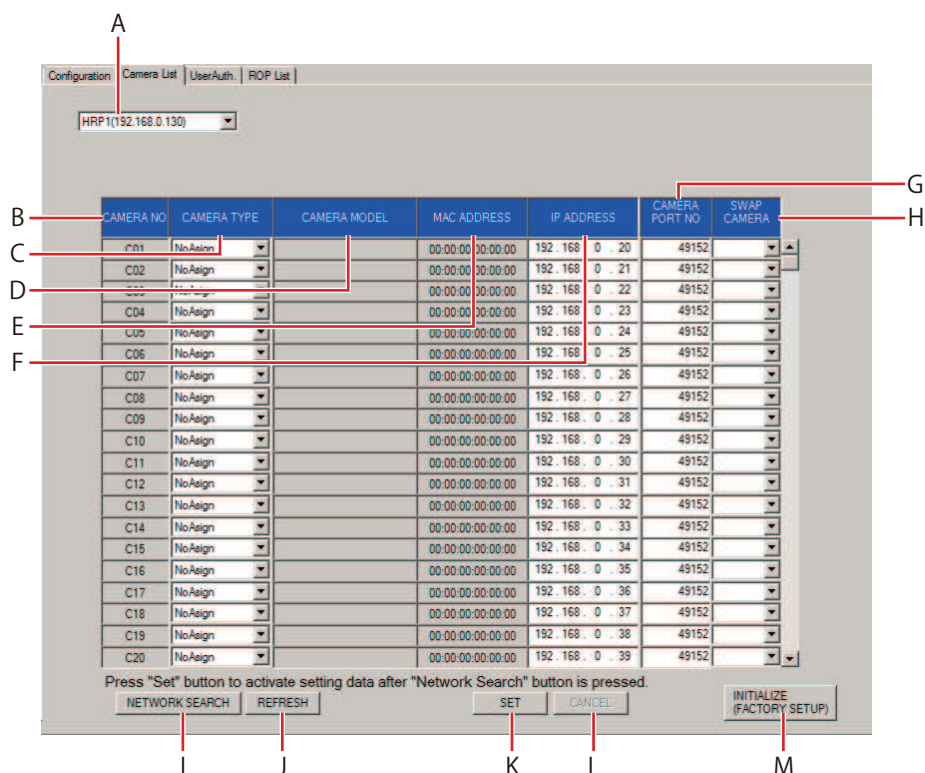
4. 設定した内容を確定する。
設定が終了したら[SET]ボタン (E) を押して内容を確定してください。
[Do you agree to rebooting after data transfer?]のメッセージが表示されますので、[OK]ボタンをクリックしてください。
[CANCEL]ボタンをクリックすると設定内容は本機に反映されません。

カメラとの接続設定をする [Camera List]

[Camera List]タブで、ネットワークに接続されているROPとカメラとの接続設定を行います。

本機にパーソナルコンピュータを初めて接続したときは、まず[Master ROP Number] (A) で設定するROPを選択し、[REFRESH]ボタン (J) をクリックしてください。[Master ROP Number] (A) で選択したROPに設定されている値を取得します。

[C01]~[C19]の各行に、各カメラ番号の接続設定情報が一覧で表示されます。



- A. 設定対象選択リストボックス [Master ROP Number]
- B. CAMERA NO欄 [CAMERA NO]
- C. CAMERA TYPE欄 [CAMERA TYPE]
- D. CAMERA MODEL欄 [CAMERA MODEL]
- E. MAC ADDRESS欄 [MAC ADDRESS]
- F. IP ADDRESS欄 [IP ADDRESS]
- G. CAMERA PORT NO欄 [CAMERA PORT NO]
- H. SWAP CAMERA欄 [SWAP CAMERA]
- I. NETWORK SEARCHボタン [NETWORK SEARCH]
- J. REFRESHボタン [REFRESH]
- K. SETボタン [SET]
- L. CANCELボタン [CANCEL]
- M. INITIALIZE (FACTORY SETUP)ボタン [INITIALIZE (FACTORY SETUP)]

設定手順

1. 接続設定を行うROPを選択する。
 [Master ROP Number] (A) の▼をクリックすると、設定可能なROPのIPアドレスリストが表示されます。この中から、設定を行うIPアドレスのROPを選択します。
 [ROP List]タブで登録したROPが選択対象となります。
2. [Camera List]タブの表示を更新する。
 [REFRESH]ボタン (J) をクリックし、[Master ROP Number] (A) で設定されているROPの接続情報をパーソナルコンピュータに取り込み、[Camera List]タブの表示を更新します。
3. 接続設定を行う。
 手順1で選択したROPの接続設定情報が表示されます。
 必要な項目の設定を行ってください。

接続設定

CAMERA NO	CAMERA TYPE	CAMERA MODEL	MAC ADDRESS	IP ADDRESS	CAMERA PORT NO	SWAP CAMERA
C01	NoAssign		00:00:00:00:00:00	192.168.0.20	49152	
C02	NoAssign		00:00:00:00:00:00	192.168.0.21	49152	
C04	NoAssign		00:00:00:00:00:00	192.168.0.22	49152	
C06	NoAssign		00:00:00:00:00:00	192.168.0.25	49152	
C07	NoAssign		00:00:00:00:00:00	192.168.0.26	49152	
C08	NoAssign		00:00:00:00:00:00	192.168.0.27	49152	
C09	NoAssign		00:00:00:00:00:00	192.168.0.28	49152	
C10	NoAssign		00:00:00:00:00:00	192.168.0.29	49152	
C11	NoAssign		00:00:00:00:00:00	192.168.0.30	49152	
C12	NoAssign		00:00:00:00:00:00	192.168.0.31	49152	
C13	NoAssign		00:00:00:00:00:00	192.168.0.32	49152	
C14	NoAssign		00:00:00:00:00:00	192.168.0.33	49152	
C15	NoAssign		00:00:00:00:00:00	192.168.0.34	49152	
C16	NoAssign		00:00:00:00:00:00	192.168.0.35	49152	
C17	NoAssign		00:00:00:00:00:00	192.168.0.36	49152	
C18	NoAssign		00:00:00:00:00:00	192.168.0.37	49152	
C19	NoAssign		00:00:00:00:00:00	192.168.0.38	49152	
C20	NoAssign		00:00:00:00:00:00	192.168.0.39	49152	

Press "Set" button to activate setting data after "Network Search" button is pressed.

NETWORK SEARCH REFRESH SET CANCEL INITIALIZE (FACTORY SETUP)

B	CAMERA NO欄	カメラ番号が表示されます。
C	CAMERA TYPE欄	<p>▼をクリックして接続種別を選択します。 接続種別は、本体のROPメニューにある[CONNECT SETTING]と同じ内容です。</p> <p>「Serial」、「NetWork」 AK-HC5000シリーズ、AK-UC3000シリーズ、AK-UC4000シリーズと接続するときに選択します。 「Serial」：シリアル接続、「NetWork」：IP接続</p> <p>「Serial(AK)」、「NetWork(AK)」 AK-HC3500Aシリーズ、AK-HC3800シリーズと接続するときに選択します。 「Serial(AK)」：シリアル接続、「NetWork(AK)」：IP接続</p> <p>「Serial(AW)」、「NetWork(AW)」 AK-UB300シリーズと接続するときに選択します。 「Serial(AW)」：シリアル接続、「NetWork(AW)」：IP接続</p> <p>「NoAssign」 設定なし（初期設定）</p> <ul style="list-style-type: none"> 「Serial」、「Serial(AK)」、「Serial(AW)」は、複数のカメラに設定を行えません。
D	CAMERA MODEL欄	<p>[NETWORK SEARCH]ボタン (I) で取得された接続機器を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> シリアル接続しているCCUは表示されません。
E	MAC ADDRESS欄	<p>本機のカメラ番号 [CAMERA NO] (B) とリンク設定されているカメラのMACアドレスを表示します。 [NETWORK SEARCH]ボタン (I) で取得されたカメラ番号の機器のMACアドレスが表示対象になります。</p>
F	IP ADDRESS欄	<p>接続先とするCCUのIPアドレスを指定します。入力した後、[SET]ボタン (K) をクリックして、変更内容を反映させてください。</p>
G	CAMERA PORT NO欄	<p>接続先とするCCUのポート番号を設定します。 入力した後、[SET]ボタン (K) をクリックして、変更内容を反映させてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定可能な範囲 1～65535 ただし、この範囲の値であっても以下の値を設定することはできません。 20、21、23、25、42、53、67、68、69、110、123、161、162、995、10669、10670 通常時の設定 通常は以下のとおり設定します。ただしカメラ側で変更されている場合には、その設定にあわせる必要があります。 <ul style="list-style-type: none"> CCU IP：49152

H	SWAP CAMERA欄	2つのカメラ番号間で、接続先として設定されているカメラを入れ替えます。▼をクリックすると、カメラ番号「C01」～「C99」が表示されます。この中から、入れ替えを行いたいカメラ番号を選択します。変更後は、[SET]ボタン (K) をクリックして、変更内容を反映させてください。
I	NETWORK SEARCHボタン	ボタンをクリックして[NETWORK SEARCH]を実行すると、新たに検出したリンク設定の対象のカメラ (CAMERA NO) が黄色で表示されます。 [SET]ボタン (K) をクリックすると設定が確定し、本機の接続先IPアドレスが更新されます。 [CANCEL] (L) ボタンをクリックすると、設定は反映されません。 <ul style="list-style-type: none"> • [NETWORK SEARCH]を実行してもカメラが検出されなかった場合は、一度[SET]ボタン (K) を押してから手動設定をしてください。その後、再度[SET]ボタン (K) を押して設定を確定してください。 • [NETWORK SEARCH]中にDuplicationエラーが発生した場合は、画面上のIPアドレスを変更してください。画面上に表示されている2台以上のカメラのIPが重複している場合や、画面上に表示されているカメラと、新たにネットワーク上に追加しようとしているカメラのIPが重複している場合、Duplicationエラーが表示されます。エラーが出ているIPアドレスを変更して本機に登録後、[NETWORK SEARCH]を実施してください。
J	REFRESHボタン	本機に設定されている接続情報をパーソナルコンピュータに取り込み、[Camera List]タブの表示を更新します。
K	SETボタン	[Camera List] タブで行った変更内容を確定し、本機の設定値を更新します。 [Do you agree to rebooting after data transfer?]のメッセージが表示されますので、[OK]ボタンをクリックしてください。 [CANCEL]ボタン (L) をクリックすると設定内容は本機に反映されません。
L	CANCELボタン	[NETWORK SEARCH]ボタン (I) 実施後の変更内容をキャンセルします。
M	INITIALIZE (FACTORY SETUP) ボタン	[INITIALIZE (FACTORY SETUP)]ボタン (M) をクリックすると、本機の設定が初期化されます。 IPアドレスも初期化 (工場出荷値 : 192.168.0.130) されます。

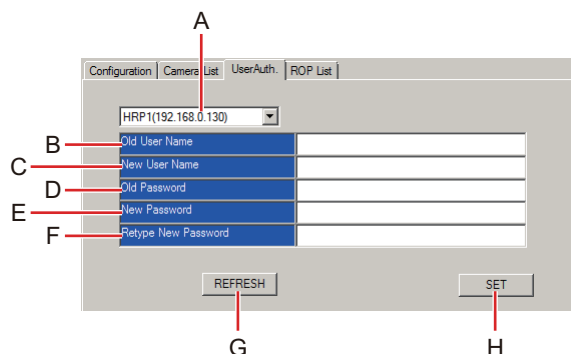
カメラ番号設定時のご注意

各AK-HRP1005の[Camera List]の設定において、以下の点に注意してください。

- 各カメラの番号を先に決定し、[Camera List]はそれぞれのカメラ番号がすべてのROP設定で同一となるように設定してください。
例えば、CCU、ROPそれぞれ2台をシリアル接続、IP接続する場合、HRP1の[Camera List]は、[C01]をシリアル接続、[C02]をIP接続と設定してください。HRP2の[Camera List]は、[SWAP CAMERA]を用いて[C01]をIP接続、[C02]をシリアル接続に設定してください。
- [NETWORK SEARCH]で検索を行うと、同一セグメント上のカメラ、CCUがすべて (C01、C02) 検出されますが、シリアル接続で設定済みのカメラは「NoAssign」に変更してください。

ユーザー認証の設定を行う [UserAuth.]

ユーザー認証機能が有効になっているCCUを制御するためには、ユーザー名とパスワードを本機に設定する必要があります。この設定は、本ソフトウェアの[User Auth.]タブで行います。ユーザー認証機能は、IP接続したCCUを制御するときのみ有効です。CCUの取扱説明書もあわせて参照してください。



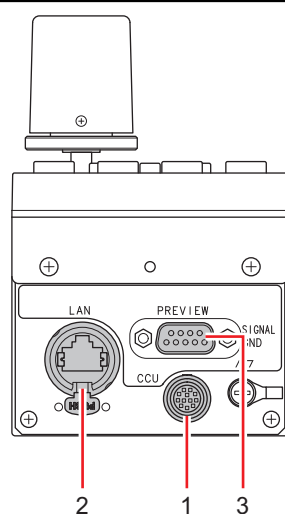
- 設定対象選択リストボックス [Master ROP Number]
- Old User Nameボックス [Old User Name]
- New User Nameボックス [New User Name]
- Old Passwordボックス [Old Password]
- New Passwordボックス [New Password]
- Retype New Passwordボックス [Retype New Password]
- REFRESHボタン [REFRESH]
- SETボタン [SET]

設定手順

1. **[Master ROP Number] (A) で、接続設定を行うROPを選択する**
▼をクリックすると、設定可能なROPのIPアドレスリストが表示されます。この中から設定するIPアドレスのROPを選択します。
[ROP List]タブで登録したROPが選択対象となります。
2. **[REFRESH]ボタン (G) をクリックする**
[Master ROP Number] (A) で選択したROPに設定されているユーザー名が[Old User Name] (B) に表示されます。
 - 工場出荷時のROPは、「admin」が設定されています。
3. **[New User Name] (C) に、新たに設定するユーザー名を入力する**
4. **[Old Password] (D) に、選択されたROPに設定されているパスワードを入力する**
 - 入力された文字は「*」で表示されます。
5. **[New Password] (E) に、新たに設定するパスワードを入力する**
 - 入力された文字は「*」で表示されます。
6. **[Retype New Password] (F) に、手順5.で入力したパスワードと同じパスワードを入力する**
 - 入力された文字は「*」で表示されます。
7. **[SET] ボタン (H) をクリックする**
[Master ROP Number] (A) で選択されたROPに、ユーザー名とパスワードが設定されます。
 - ユーザー認証機能が有効になっているカメラを制御するときは、ここで設定したユーザー名とパスワードが用いられます。
接続先で設定したユーザーIDとパスワードを設定してください。

資料

コネクタピンアサイン表



1 〈CCU〉コネクタ

(ヒロセ電機製：HR10A-10R-10PC (71))

ピン番号	機能	極性	信号の流れ
1	CAM DATA (H)	+	CAM→ROP
2	CAM DATA (L)	-	CAM→ROP
3	CAM CONT (H)	+	ROP→CAM
4	CAM CONT (L)	-	ROP→CAM
5	CAM No.A		
6	CAM No.B		
7	CAM No.C		
8	CAM No.D		
9	12 V		
10	GND		

2 〈LAN〉コネクタ

100base-TX準拠です。

PoE規格対応のネットワーク機器 (IEEE802.3af準拠) と接続できます。

3 〈PREVIEW〉コネクタ

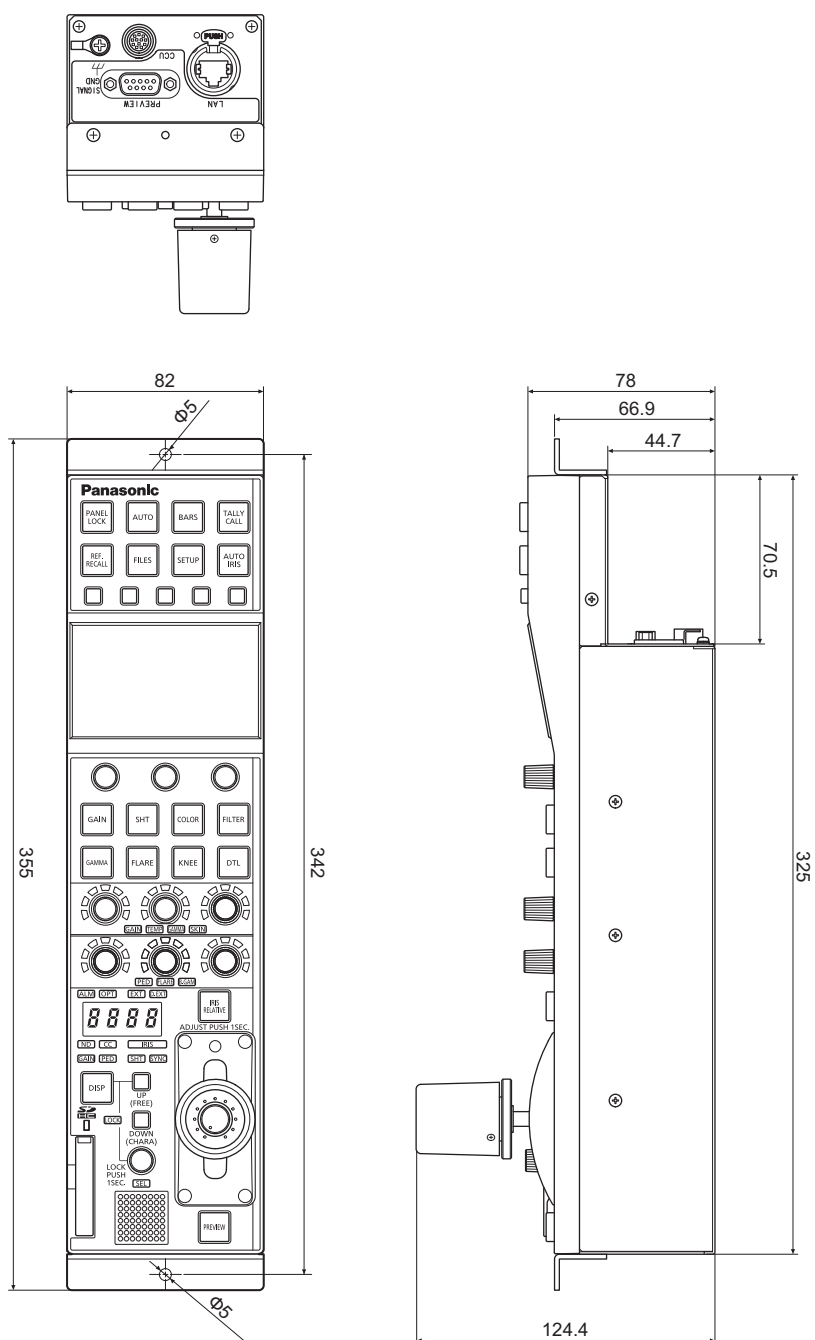
(日本圧着端子製造製：JEY-9S-1A3F(LF))

ピン番号1、2は、プレビュー信号を出力するコネクタです。アイリスレバーを押している間、接点出力します。無電圧マーク接点です。

ピン番号	機能	信号の流れ	備考
1	P.VIEW COM	ROP→外部制御	無電圧マーク
2	P.VIEW1		
8	TALLY IN	TALLY→ROP	無電圧マーク
9	GND		

外形寸法図

単位：mm



保証とアフターサービス（よくお読みください）

故障・修理・お取扱い・メンテナンスなどのご相談は、
まず、**お買い上げの販売店**へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社（裏表紙）までご連絡ください。

※内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますので、ご了承ください。

■ 保証書（同梱印刷物に添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめのうえ、お買い上げの販売店からお受け取りください。

内容をよくお読みいただいたうえ、大切に保管してください。

万一、保証期間内に故障が生じた場合には、保証書記載内容に基づき、無料修理させていただきます。

保証期間: お買い上げ日から本体1年間

■ 補修用性能部品の保有期間 [8年]

当社は、リモートオペレーションパネルの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8年保有しています。

※ 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 保守・点検

- 保守・点検は機器の機能を常に良好な状態に維持し、お客様が安心してご使用していただくためのものです。
- 部品の劣化、ごみ、ほこりの付着などにより突発的な故障、トラブルを未然に防ぐとともに、安定した機能、性能の維持のために、定期的な保守・点検を行ってください。
- 保守・点検（有料）についての詳しい内容は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 修理、保守、点検時には、情報漏えいしては困る本体設定情報はあらかじめ削除し、SDメモリーカードを外して、ご依頼ください。

修理を依頼されるとき

この取扱説明書を再度ご確認くださいのうえ、お買い上げの販売店までご連絡ください。

■ 保証期間中の修理は、...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。詳しくは、保証書を参照してください。

■ 保証期間経過後の修理は、...

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡いただきたい内容	
品名	リモートオペレーションパネル
品番	AK-HRP1005G
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

定格

総合

電源	DC (≒) 12 V (カメラ給電DC10 V - 16 V) DC (≒) 42 V - 57 V (PoE電源)
消費電力	0.44 A (カメラ給電DC10 V - 16 V) 0.11 A (PoE電源)

 は安全項目です。

カメラ/CCU制御	コントロール信号 (カメラ本体 / CCU制御) 電源給電 DC16 V (CCU接続時) *1、DC12 V (カメラ接続時) *1
制御ケーブル最大延長距離	カメラ本体接続時 : 20 m CCU接続時 : 50 m
動作温度	0℃~40℃
保存温度	-20℃~60℃
湿度	90%以下
外形寸法 (幅×高さ×奥行)	82 mm x 355 mm x 124.4 mm
質量	約1.5 kg

*1 : CCUから給電可

索引

- **A**
 - ALMインジケータ 28
 - ASSIGN 46
 - AUTOボタン 20
 - AUTO IRIS SETTING 123
 - AUTO IRISボタン 21
- **B**
 - B.GAM調整部 27
 - BLACK GAMMA 81
 - BLACK SHADING 69
 - BARSボタン 20
- **C**
 - CAM INFO 45
 - CAM USER SW TEMP 76
 - CAMERA IP SETTING 119
 - CAMERA MENU CONTROL 111
 - CCU MENU CONTROL 112
 - CCUコネクタ 31, 138
 - CCインジケータ 28
 - CCフィルター 35
 - CHARAボタン 29
 - COLOR CORRECTION 96
 - COLOR TEMP 74
 - CONNECT SETTING 116
 - COLORボタン 24
- **D**
 - D.EXTインジケータ 28
 - DNR 100
 - DRS 84
 - DISPボタン 29
 - DOWNボタン 29
 - DTLボタン 26
- **E**
 - ECC 75
 - EXTインジケータ 28
- **F**
 - FLARE 78
 - FLAREボタン 25
 - FILESボタン 21
 - FILTER 68
 - FILTERボタン 24
 - FLARE調整部 27
 - FREEボタン 29
- **G**
 - GAMMA 79
 - GAIN 36
 - GAINインジケータ 29
 - GAINボタン 23
 - GAIN調整部 27
 - GAMMAボタン 25
 - GAMMA調整部 27
- **H**
 - HD CHROMA 71
 - HD DETAIL 85
 - HD SKIN TONE DTL 90
 - HDR-PAINT 124
- **I**
 - IP簡単設定ソフトウェア 129
 - IP接続 127
 - IRIS 39
 - IRIS RELATIVE 101
 - IRIS RELATIVEボタン 30
 - IRISインジケータ 29
- **K**
 - KNEE 82
 - KNEEボタン 26
- **L**
 - LANコネクタ 31, 138
 - LENS CONTROL 126
 - LENS FILE/EDIT 103
 - LINEAR MATRIX 94
 - LOCKインジケータ 29
- **M**
 - M.PED 38
 - MONITOR 106
- **N**
 - NDインジケータ 28
 - NDフィルター 34
- **O**
 - OPT LEVEL 45
 - OPTインジケータ 28
- **P**
 - PAINT SWITCH 64

PEDESTAL	70	WHITE SHADING	77
PREVIEWコネクター	31, 138	あ	
PREVIEWボタン	30	アイリス	39
PANEL LOCKボタン	19	色温度	41
PEDインジケータ	29	液晶パネル	22
PED調整部	27	オートセットアップ	32
R		アイリスレバー	30
REF. RECALLボタン	20	か	
REFERENCE	122	カメラナンバー/タリーディスプレイ	30
RGB GAIN	73	ガンマ	41
ROP IP SETTING	117	さ	
ROP SETTING	113	シーンファイル	33
ROPセットアップソフトウェア	131	シャッター	37
ROPメニュー		シリアル接続	17
操作	48	ステータス画面	43
表示	47	操作ボタン	22
S		た	
SCENE	45, 66	トルク調整ねじ	30
SD CARD LOAD	121	調整値表示部	28
SD CARD STORE	120	は	
SD DETAIL	89	ブラックガンマ	41
SHUTTER SELECT	102	フレア	41
SHUTTER SPEED	67	ペDESTアル	41
SIGNAL GND端子	31	ホワイトバランス	41
SKIN CORRECTION	99	肌色ディテール	41
SYNCインジケータ	29	ま	
SYSTEM CAM	107	マスターゲイン	36
SYSTEM CCU	109	マスターペDestアル	38
SELダイヤル	29	メモリーカードアクセスインジケータ	30
SETUPボタン	21	メモリーカードスロット	30
SHT	37	マスターペDestアルダイヤル	30
SHTインジケータ	29	メニュー操作ダイヤル	22
SHTボタン	23	ら	
SKIN調整部	27	ラックマウント	15
T			
TALLY/CALLボタン	20		
TALLY/CALLランプ	20		
TEMP調整部	27		
U			
UHD CHROMA	72		
UHD DETAIL	87		
UHD SKIN TONE DTL	92		
UPボタン	29		
W			
WHITE CLIP	83		

パナソニック株式会社 コネクティッドソリューションズ社

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎(06)6901-1161

© Panasonic Corporation 2016